

WAVE PTX オンクラウド

ディストリビュータ

# ポータル ユーザー ガイド

WP2024.12.1

# 知的財産および規制に関するご注意

## 著作権

本書に記載されている Motorola Solutions 製品には、著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みコンピュータ プログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。したがって、本書で説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムも、Motorola Solutions からの書面による明確な許可なしに、いかなる方法においても複製または複写してはなりません。

本書のいかなる部分についても、いかなる形式であろうと、いかなる手段によっても、Motorola Solutions, Inc. からの事前の書面による許可なしに複製、転送、情報検索システムへの格納、あらゆる言語への翻訳、コンピュータ言語への変換をしてはいけません。

## 商標

MOTOROLA, MOTO, MOTOROLA SOLUTIONS, and the Stylized M Logo are trademarks or registered trademarks of Motorola Trademark Holdings, LLC and are used under license. All other trademarks are the property of their respective owners.

## ライセンスの権利

Motorola Solutions 製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola Solutions の著作権、特許または特許申請の対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生じる通常の非独占的、ロイヤルティ不要の使用ライセンスについては、この限りではありません。

## オープンソースコンテンツ

この製品には、ライセンスの下で使用されるオープンソースソフトウェアが含まれている場合があります。オープンソースの法的通知および帰属の内容については、製品のインストールメディアを参照してください。

## 欧州連合 (EU) および英国 (UK) の電気電子廃棄物 (WEEE) 指令



■ 欧州連合の WEEE 指令および英国の WEEE 規制では、EU 諸国および英国に販売される製品 (場合によってはパッケージ) にキャスター付きゴミ箱への投入禁止ラベルを貼ることを要求しています。WEEE 指令で定義されるとおり、このキャスター付きゴミ箱への投入禁止ラベルは、EU 諸国と英国の顧客とエンドユーザーが、電気および電子機器またはアクセサリを生活廃棄物として廃棄してはならないことを意味します。

EU 諸国と英国の顧客またはエンドユーザーは、自国の廃棄物収集システムについて、地元の機器販売代理店またはサービスセンターに問い合わせる必要があります。

## 免責条項

特定のシステムに対して、本書で説明する特定の機能、設備、性能が適用されない、またはライセンス付与されない場合や、特定のモバイルサブスクリバユニットの特性や特定のパラメータの設定に依存する場合があることに注意してください。詳細については、Motorola Solutions の担当者にご確認ください。

© 2025 Motorola Solutions, Inc. All Rights Reserved

# お問い合わせ

集中管理サポートセンター (CMSO) は、Motorola Solutions とお客様の組織のサービス契約に含まれているテクニカル サポートの主連絡先となります。お客様の問題への迅速な対応を可能にするため、Motorola Solutions は世界中の複数の国からサポートを提供しています。

サービス契約のお客様は、契約内のお客様の責任に記載されている状況 (たとえば、次のような状況) になった場合はいずれの状況でも、CMSO に必ずご連絡ください。

- アクションをとる前に、トラブルシューティングの結果と分析を確認する

組織には、地域およびサービス契約に適したサポート電話番号およびその他の連絡先情報が提供されています。その連絡先情報を使用するのが最も効率的な対応方法です。ただし、必要に応じて、Motorola Solutions の Web サイトで一般的なサポート連絡先情報を、次の手順に従って検索することもできます。

1. ブラウザで、「[motorolasolutions.com](https://motorolasolutions.com)」と入力します。
2. お客様の組織の国または地域がページに表示されていることを確認します。地域の名前をクリックまたはタップして、地域を変更できます。
3. [motorolasolutions.com](https://motorolasolutions.com) ページで [サポート] を選択します。

## コメント

ユーザー ドキュメントに関するご質問やご意見は、[documentation@motorolasolutions.com](mailto:documentation@motorolasolutions.com) までお送りください。

ドキュメントの不備を報告する場合は、次の情報を提供してください。

- ドキュメントのタイトルと部品番号
- 不備のあるセクションのページ番号またはタイトル
- 不備に関する説明

Motorola Solutions では、システムの習得を支援するためのさまざまなコースを提供しています。詳細については、<https://learning.motorolasolutions.com> にアクセスして、最新のコース内容とテクノロジー パスを参照してください。

# 文書履歴

バージョン	説明	日付
MN009310A01-011	アップデート: <a href="#">WAVE PTX デバイスの編集 ページ 107</a> <a href="#">[デバイス情報] のパラメータ ページ 108</a> <a href="#">[設定] のパラメータ ページ 109</a> <a href="#">[アラート トーン] のパラメータ ページ 110</a> <a href="#">[メニューの表示] のパラメータ ページ 110</a> <a href="#">ローンワーカー パラメータ ページ 111</a> <a href="#">[フォール アラート] のパラメータ ページ 112</a> <a href="#">[PTT アプリの設定] のパラメータ ページ 112</a> <a href="#">[アクセサリ ボタン] のパラメータ ページ 113</a> <a href="#">[プログラマブル GPIO] のパラメータ ページ 114</a> <a href="#">音声パラメータ ページ 114</a> <a href="#">[ソフトウェア] のパラメータ ページ 115</a> <a href="#">[診断] のパラメータ ページ 115</a> <a href="#">[レポート ステータス] のパラメータ ページ 115</a>	2024 年 12 月
MN009310A01-010	関連する URL <a href="#">LMR 統合のためのネットワークのセットアップ ページ 146</a> を更新 <a href="#">必要な無線機情報 ページ 130</a> を更新しました <a href="#">ユーザーとグループの管理 ページ 54</a> を更新しました <a href="#">モバイル、タブレット、または WAVE PTX 管理コンソール ユーザーの追加 ページ 54</a> を更新しました	2024 年 10 月
MN009310A01-009	次のエンタープライズ Wi-Fi 設定フローを更新 <a href="#">Enterprise Wi-Fi の構成 ページ 73</a> <a href="#">証明書管理 ページ 74</a> <a href="#">Wi-Fi ネットワークの詳細の設定 ページ 76</a> 設定するエンタープライズ セキュリティ プロトコル: <a href="#">PEAP-MSCHAPV2 ページ 78</a> 設定するエンタープライズ セキュリティ プロトコル: <a href="#">EAPTTLS-MSCHAPV2 ページ 79</a> 設定するエンタープライズ セキュリティ プロトコル: <a href="#">EAP-TLS (SCEP) ページ 80</a> <a href="#">LMR 統合のためのネットワークのセットアップ ページ 146</a> の URL を更新 次のサポート地域のリストにインドを追加。 <a href="#">レンタル ビジネス ページ 32</a> <a href="#">月額サブスクリプションを年間に変更する ページ 42</a>	2024 年 8 月
MN009310A01-008	<a href="#">WAVE PTX PTT トライアルを開始する ページ 20</a> および <a href="#">グループを管理する ページ 63</a> でグループ タイプの説明を更新。 <a href="#">WAVE PTX デバイスの編集 ページ 107</a> の「メニューの表示」セクションで機能名をフォール アラートに更新	2024 年 4 月

バージョン	説明	日付
MN009310A01-007	<p>個々のデバイスのブルートゥース アクセサリの管理 ページ 116 で、ブルートゥース アクセサリ管理を更新</p> <p>次のセクションで命名ガイドラインを追加。</p> <p>モバイル、タブレット、または WAVE PTX 管理コンソール ユーザーの追加 ページ 54</p> <p>MOTOTRBO ユーザーの追加 ページ 55</p> <p>グループの作成 ページ 64</p> <p>WAVE PTX デバイスの追加 ページ 87</p> <p>スプレッドシートから WAVE PTX デバイスをインポートする ページ 90</p> <p>EVOLVE デバイスの登録 ページ 93</p> <p>EVOLVE デバイスの編集 ページ 96</p> <p>ION デバイスの追加 ページ 102</p> <p>WAVE PTX デバイスの編集 ページ 107</p> <p>WAVE PTX デバイス ユーザーの編集 ページ 117</p> <p>Connect Plus 無線システム (製造中止製品) の登録 ページ 131</p> <p>Capacity Plus 無線システムの登録 ページ 132</p> <p>Capacity Max 無線システムの登録 ページ 134</p> <p>IPSite 無線システムの登録 ページ 136</p> <p>無線サブスクライバの追加 ページ 139</p> <p>WAVE PTX ゲートウェイの作成 ページ 150</p> <p>WAVE PTX デバイスの編集 ページ 107 および WAVE PTX デバイスで使用可能なアクションの表示 ページ 105 で、ブルートゥース アクセサリ管理を更新。ブルートゥース アクセサリの一括管理 ページ 106 および個々のデバイスのブルートゥース アクセサリの管理 ページ 116 を追加。</p>	2024 年 3 月
MN009310A01-006	<p>次のように、選択した顧客向けに MFA 機能を追加: MFA のアクティブ化 (オプション) ページ 22、WAVE PTX ポータルへのサインイン ページ 23</p> <p>IPSite 無線システムの登録 ページ 136、無線システムとグループの関連付け ページ 139、および 無線サブスクライバの追加 ページ 139 をスロット D 機能で更新。</p>	2024 年 2 月
MN009310A01-005	<p>有料サブスクリプションへのアップグレード ページ 24 および サブスクリプションのユーザー数を増やす ページ 25 でサブスクリプション リストを更新。</p> <p>無線システムの追加 ページ 128 セクションをアップデート。</p> <p>次のように、IPSite システムタイプのサポートを追加: IPSite 無線システムの登録 ページ 136、個別通信サポート用の IPSite システムの構成 ページ 138、および ワイドおよびローカル グループ サポートの構成 ページ 141。</p> <p>地域関連のコンテンツを更新。</p>	2023 年 12 月

バージョン	説明	日付
	<p>TLK 25 WiFi 固有の情報を含むように <a href="#">WAVE PTX デバイスの追加 ページ 87</a> および <a href="#">WAVE PTX デバイスの編集 ページ 107</a> を更新。</p> <p>次を追加:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● <a href="#">割り当てられたゲートウェイのアップデート ページ 142</a></li><li>● <a href="#">ゲートウェイのアップデート ページ 151</a></li></ul>	
MN009310A01-004	TLK 110 のサポートを追加。	2023 年 1 月
MN009310A01-003	EVOLVE マルチゾーン サポートを追加	2022 年 6 月
MN009310A01-002	契約管理を追加	2022 年 5 月
MN009310A01-001	初版	2022 年 2 月

# 目次

知的財産および規制に関するご注意.....	2
お問い合わせ.....	3
文書履歴.....	4
図の一覧.....	12
表の一覧.....	15
手順の一覧.....	16
<b>第 1 章: 開始する.....</b>	<b>19</b>
1.1 無料試用版へのサインアップ.....	19
1.2 パスワードのリセット.....	20
1.3 WAVE PTX PTT トライアルを開始する.....	20
1.4 WAVE PTX ブロードバンドの利用を始める.....	21
1.4.1 WAVE PTX クライアントのインストール.....	21
1.4.2 MFA のアクティブ化 (オプション).....	22
1.4.3 WAVE PTX ポータルへのサインイン.....	23
1.4.4 送信のテスト.....	23
1.5 サブスクリプションのタイプ.....	23
1.5.1 WAVE PTX の購入.....	24
1.5.2 有料サブスクリプションへのアップグレード.....	24
1.5.3 サブスクリプションのユーザー数を増やす.....	25
1.5.4 サブスクリプションとライセンスのキャンセル.....	27
1.5.5 請求情報の更新.....	27
1.5.6 契約管理 (米国地域のみ).....	27
1.5.6.1 [契約を管理] ページ.....	29
1.5.6.2 30 か月契約ライセンス.....	29
1.5.6.3 新しい契約ライセンスの追加.....	30
1.5.6.4 期限切れになった契約ライセンス.....	31
<b>第 2 章: レンタル ビジネス.....</b>	<b>32</b>
2.1 レンタル ディストリビュータの追加.....	32
2.2 ディストリビュータ従業員の追加.....	32
2.3 ディストリビュータ従業員の編集.....	33
2.4 [パートナー] 作業領域で使用できるアクション.....	33
2.4.1 パートナーのアクティブ化.....	34
2.4.2 パートナーの非アクティブ化.....	34
2.4.3 パートナーの削除.....	34
2.5 レンタル ディストリビュータの有効化または無効化.....	35
2.6 サブスクリプション管理 - レンタル ディストリビュータ.....	35

2.6.1 サブスクリプションとライセンスの追加.....	35
<b>第 3 章: パートナー ナビゲーション.....</b>	<b>37</b>
3.1 パートナーの役割について.....	37
3.2 レンタル パートナーの追加.....	38
3.3 パートナーの追加.....	39
3.4 パートナー従業員のナビゲーション.....	40
3.5 顧客のパートナーによるブロードバンド トライアルの作成.....	40
3.6 月額サブスクリプションを年間に変更する.....	42
3.7 請求書の表示.....	42
<b>第 4 章: 顧客の管理.....</b>	<b>44</b>
4.1 顧客の追加.....	44
4.2 顧客従業員の追加.....	45
4.3 顧客の編集.....	46
4.4 顧客の削除.....	47
4.5 パートナー従業員を顧客に関連付ける.....	47
4.6 パートナーによる顧客のサインアップ.....	48
4.7 顧客にアカウントのアクティブ化を依頼する.....	49
4.8 顧客の非アクティブ化.....	49
4.9 顧客の再アクティブ化.....	49
4.10 ユーザーまたは WAVE PTX デバイスの顧客へのレンタル.....	50
4.11 ユーザーまたは WAVE PTX デバイスの顧客からの取り消し.....	51
4.12 ユーザーまたは WAVE PTX デバイスのパートナーまたは顧客へのレンタル.....	51
4.13 ユーザーまたは WAVE PTX デバイスのパートナーまたは顧客からの取り消し.....	52
<b>第 5 章: ユーザーとグループの管理.....</b>	<b>54</b>
5.1 モバイル、タブレット、または WAVE PTX 管理コンソール ユーザーの追加.....	54
5.2 MOTOTRBO ユーザーの追加.....	55
5.3 連絡先の割り当て.....	56
5.4 連絡先の削除.....	56
5.5 機能の承認.....	57
5.6 ユーザーへの機能の許可.....	58
5.7 ユーザーへの連絡先の追加.....	59
5.8 アクティベーション コード.....	60
5.9 タブレット ユーザーのアクティブ化.....	60
5.10 ユーザーの削除.....	60
5.11 ユーザーのパッケージまたはティアの変更.....	61
5.12 ユーザー パスワードの再設定.....	62
5.13 ユーザー CSV ファイルのアップロード.....	62
5.14 CSV ファイルを使用してユーザーをアップロードする.....	62
5.15 スプレッドシートの修正.....	63
5.16 グループを管理する.....	63



5.16.1 グループの作成.....	64
5.16.2 グループのインポート.....	65
5.16.3 グループのエクスポート.....	65
5.16.4 1名のユーザーをグループから削除する.....	66
5.16.5 グループから複数のメンバーを削除する.....	67
5.16.6 グループの削除.....	67
5.17 ユーザーをグループに関連付ける.....	68
5.18 連絡先と機能の管理.....	68
<b>第 6 章: WAVE PTX デバイスの管理.....</b>	<b>70</b>
6.1 WAVE PTX デバイスの顧客向け説明書.....	70
6.2 WAVE PTX デバイスの使用.....	71
6.2.1 無線機の電源のオン.....	72
6.2.2 Wi-Fi の構成.....	72
6.2.3 Enterprise Wi-Fi の構成.....	73
6.2.3.1 証明書管理.....	74
6.2.3.2 Wi-Fi ネットワークの詳細の設定.....	76
6.2.3.2.1 設定するエンタープライズ セキュリティ プロトコル: PEAP-MSCHAPV2.....	78
6.2.3.2.2 設定するエンタープライズ セキュリティ プロトコル: EAP-TLS-MSCHAPV2.....	79
6.2.3.2.3 設定するエンタープライズ セキュリティ プロトコル: EAP-TLS (SCEP).....	80
6.2.3.2.4 設定するエンタープライズ セキュリティ プロトコル: EAP-TLS (手動 - サイドロ ーディング).....	83
6.2.4 グループ通信の発信.....	84
6.2.4.1 グループの変更.....	84
6.2.5 個別通信の発信.....	85
6.2.6 個別通信の受信.....	85
6.2.7 ステータス インジケータについて.....	86
6.2.8 バッテリ インジケータについて.....	87
6.3 WAVE PTX デバイスの追加.....	87
6.3.1 スプレッドシートから WAVE PTX デバイスをインポートする.....	90
6.3.2 WAVE PTX デバイスのクローン作成.....	91
6.4 EVOLVE デバイス.....	93
6.4.1 Nitro データ サービスの有効化.....	93
6.4.2 EVOLVE デバイスの登録.....	93
6.4.3 Nitro データ プランの変更.....	94
6.4.4 EVOLVE デバイスの交換.....	95
6.4.5 EVOLVE デバイスの編集.....	96
6.4.6 EVOLVE マルチゾーン サポート.....	98
6.4.6.1 デバイスのマルチゾーン サポートへの変換.....	99
6.4.6.2 デバイスのクローン機能.....	101
6.4.6.3 デフォルトのマルチゾーン サポートを含んだ新しい EVOLVE デバイス登録.....	101

6.5 ION デバイス (非レンタル顧客向け – 米国およびカナダ地域).....	102
6.5.1 ION デバイスの追加.....	102
6.5.2 ION デバイスのクローンの作成.....	104
6.5.2.1 ION デバイスのクローンの作成.....	104
6.6 自動チャネル割り当て.....	105
6.7 WAVE PTX デバイスで使用可能なアクションの表示.....	105
6.7.1 ブルートゥース アクセサリの一括管理.....	106
6.8 WAVE PTX デバイスの編集.....	107
6.8.1 [デバイス情報] のパラメータ.....	108
6.8.2 [設定] のパラメータ.....	109
6.8.3 [アラート トーン] のパラメータ.....	110
6.8.4 [メニューの表示] のパラメータ.....	110
6.8.5 ローンワーカー パラメータ.....	111
6.8.6 [フォール アラート] のパラメータ.....	112
6.8.7 [PTT アプリの設定] のパラメータ.....	112
6.8.8 [アクセサリ ボタン] のパラメータ.....	113
6.8.9 [プログラマブル ボタン] のパラメータ.....	114
6.8.10 [プログラマブル GPIO] のパラメータ.....	114
6.8.11 音声パラメータ.....	114
6.8.12 [ソフトウェア] のパラメータ.....	115
6.8.13 [診断] のパラメータ.....	115
6.8.14 [レポート ステータス] のパラメータ.....	115
6.8.15 [ステータス レポート] のパラメータ.....	116
6.8.16 個々のデバイスのブルートゥース アクセサリの管理.....	116
6.9 WAVE PTX デバイス ユーザーの編集.....	117
6.10 グループを管理する.....	118
6.11 デバイスのクローン作成 – デバイス登録後.....	119
<b>第 7 章: グループの関連付けの管理.....</b>	<b>121</b>
7.1 通信許可の変更.....	121
7.2 通信受信許可の変更.....	121
7.3 通信許可の変更.....	121
7.4 Location Watcher の管理.....	122
7.5 グループ内のスーパーバイザーの管理.....	122
7.6 グループ位置の管理.....	122
7.7 ディスパッチャとユーザーをグループに関連付ける.....	122
<b>第 8 章: ユーザーと WAVE PTX デバイスの表示.....</b>	<b>124</b>
<b>第 9 章: WAVE PTX アプリケーションのダウンロード.....</b>	<b>126</b>
<b>第 10 章: 無線システムの追加.....</b>	<b>128</b>
10.1 Capacity Max ハードウェアへの接続.....	128

10.2 必要な無線機情報.....	130
10.3 Connect Plus 無線システム (製造中止製品) の登録.....	131
10.4 Capacity Plus 無線システムの登録.....	132
10.5 Capacity Max 無線システムの登録.....	134
10.6 IPSite 無線システムの登録.....	136
10.6.1 個別通信サポート用の IPSite システムの構成.....	138
10.7 無線システムとグループの関連付け.....	139
10.8 無線サブスクリバの追加.....	139
10.8.1 ワイドおよびローカル グループ サポートの構成.....	141
10.9 割り当てられたゲートウェイのアップデート.....	142
10.10 無線送信機能のテスト.....	142
<b>第 11 章: プライバシー キーの作成と割り当て.....</b>	<b>143</b>
11.1 拡張プライバシーのためのプライバシー キーの追加.....	143
11.2 グループへのプライバシー キーの割り当て.....	143
<b>第 12 章: ユニバーサル ゲートウェイ (UGW) ポータルへの同期.....</b>	<b>145</b>
<b>第 13 章: WAVE PTX ゲートウェイ.....</b>	<b>146</b>
13.1 LMR 統合のためのネットワークのセットアップ.....	146
13.2 WAVE PTX ゲートウェイのセットアップ.....	147
13.2.1 無線リピータのアップグレード (オプション).....	148
13.2.2 WAVE PTX ゲートウェイへの接続.....	148
13.3 WAVE PTX ゲートウェイの仕様.....	150
13.4 WAVE PTX ゲートウェイの作成.....	150
13.5 ゲートウェイのアップデート.....	151
<b>付録 A: XRT 9000/9100 ゲートウェイへのアクセス.....</b>	<b>153</b>
A.1 Connect Plus (シングルサイトおよびマルチサイト) 無線システムの接続.....	153

## 図の一覧

図 1: [グループ] タブ - 送信テスト.....	23
図 2: 契約を管理.....	28
図 3: サブスクリプションから契約を管理.....	28
図 4: [契約を管理] ページ.....	29
図 5: 30 か月契約ライセンス.....	30
図 6: 30 か月契約ライセンスを含んだサブスクリプション.....	30
図 7: 新しいライセンスを追加.....	31
図 8: 契約ライセンスのサマリ.....	31
図 9: ディストリビュータ従業員 - 設定.....	33
図 10: ディストリビュータ従業員の追加.....	33
図 11: ディストリビュータ アカウントをアクティブ化または非アクティブ化する.....	35
図 12: サブスクリプションの管理.....	36
図 13: サブスクリプションおよびライセンス.....	36
図 14: パートナーの役割 (通常フロー).....	37
図 15: レンタル パートナーの追加.....	38
図 16: 基本情報の追加 - レンタル パートナー.....	39
図 17: パートナーの追加.....	39
図 18: パートナー従業員のナビゲーション.....	40
図 19: 価格と製品ページ.....	41
図 20: アカウント設定.....	42
図 21: 他のトランザクション.....	43
図 22: 顧客従業員 - 設定.....	45
図 23: 顧客従業員を追加.....	46
図 24: 顧客の編集.....	47
図 25: パートナー従業員を顧客に関連付ける.....	48
図 26: 電子メール アドレスの追加 - 顧客のサインアップ.....	48
図 27: 顧客の非アクティブ化.....	49
図 28: 顧客の再アクティブ化.....	50
図 29: ユーザーまたは WAVE PTX デバイスの顧客へのレンタル.....	50
図 30: 顧客 ID - 顧客へのレンタル.....	50
図 31: ユーザーを取り消す.....	51
図 32: ユーザーおよび WAVE PTX デバイスをパートナーまたは顧客にレンタルする.....	52
図 33: 顧客またはパートナー ID.....	52
図 34: ユーザーまたは WAVE PTX デバイスのパートナーまたは顧客からの取り消し.....	53
図 35: ユーザーを追加するために使用可能なライセンス.....	55
図 36: ユーザーに連絡先を追加する.....	59

図 37: アクティベーション コードの生成.....	60
図 38: ユーザーの削除.....	61
図 39: グループのインポート.....	65
図 40: グループをエクスポート.....	66
図 41: グループから 1 名のユーザーを削除する.....	66
図 42: グループから複数のユーザーを削除する.....	67
図 43: 削除するユーザーを選択します.....	67
図 44: グループの削除.....	68
図 45: TLK デバイス.....	71
図 46: TLK100.....	72
図 47: Wi-Fi の構成.....	73
図 48: 構成された Wi-Fi の確認.....	73
図 49: WPA - エンタープライズ ネットワーク認証.....	74
図 50: エンタープライズ Wi-Fi フロー - SCEP 登録.....	75
図 51: エンタープライズ Wi-Fi フロー - 手動サイド ローディング.....	76
図 52: [アクション] ドロップダウン.....	77
図 53: Wi-Fi エンタープライズ セキュリティ プロトコル: PEAP-MSCHAPV2.....	78
図 54: Wi-Fi エンタープライズ セキュリティ プロトコル: EAPTTLS-MSCHAPV2.....	79
図 55: Wi-Fi エンタープライズ セキュリティ プロトコル: EAP-TLS (SCEP).....	80
図 56: Wi-Fi エンタープライズ セキュリティ プロトコル: EAP-TLS (SCEP).....	81
図 57: Wi-Fi エンタープライズ セキュリティ プロトコル: EAP-TLS (手動 - サイド ローディング).....	83
図 58: ステータス インジケータについて.....	86
図 59: バッテリ インジケータについて.....	87
図 60: WAVE PTX デバイスの IMEI.....	88
図 61: WAVE PTX デバイスの追加.....	91
図 62: グループと連絡先の設定.....	92
図 63: グループと連絡先の設定.....	92
図 64: Nitro データ プランの変更.....	95
図 65: EVOLVE デバイスの交換.....	96
図 66: ION デバイスの追加.....	102
図 67: ION デバイスの追加.....	103
図 68: グループと連絡先の設定.....	104
図 69: グループ構成の管理.....	118
図 70: グループ構成の管理.....	118
図 71: [デバイスをクローン] ホーム ページ.....	119
図 72: 連絡先の複製.....	120
図 73: ユーザーをグループに関連付ける.....	123
図 74: フィルタとカスタマイズ - [ユーザー] ページ.....	124
図 75: カスタマイズ - WAVE PTX ページ.....	124

図 76: Capacity Max ハードウェア.....	129
図 77: 光学ジャック.....	129
図 78: 代替スイッチ - Capacity Max.....	130
図 79: 無線送信テスト.....	140
図 80: グループ ID をグループにリンクする.....	140
図 81: 無線システムを編集します.....	140
図 82: 無線サブスクリバの追加.....	140
図 83: ベーシック プライバシー キー インデックス.....	143
図 84: グループへのプライバシー キーの割り当て.....	144
図 85: ゲートウェイと無線システムの間スイッチの配置.....	148
図 86: WAVE PTX ゲートウェイと Capacity Max 無線システム ハードウェアの接続.....	148
図 87: デバイス コード.....	149
図 88: IP アドレスの変更 - ネットワーク カードの構成.....	149
図 89: IP アドレスの変更 - 静的 IP.....	150

# 表の一覧

表 1: CPS ツールのリピータ パラメータ.....	130
------------------------------	-----

# 手順の一覧

無料試用版へのサインアップ .....	19
パスワードのリセット .....	20
WAVE PTX クライアントのインストール .....	21
MFA のアクティブ化 (オプション) .....	22
WAVE PTX ポータルへのサインイン .....	23
送信のテスト .....	23
WAVE PTX の購入 .....	24
有料サブスクリプションへのアップグレード .....	24
サブスクリプションのユーザー数を増やす .....	25
サブスクリプションとライセンスのキャンセル .....	27
請求情報の更新 .....	27
レンタル ディストリビュータの追加 .....	32
ディストリビュータ従業員の追加 .....	32
ディストリビュータ従業員の編集 .....	33
パートナーのアクティブ化 .....	34
パートナーの非アクティブ化 .....	34
パートナーの削除 .....	34
レンタル ディストリビュータの有効化または無効化 .....	35
サブスクリプションとライセンスの追加 .....	35
レンタル パートナーの追加 .....	38
パートナーの追加 .....	39
パートナー従業員のナビゲーション .....	40
顧客のパートナーによるブロードバンド トライアルの作成 .....	40
月額サブスクリプションを年間に変更する .....	42
請求書の表示 .....	42
顧客の追加 .....	44
顧客従業員の追加 .....	45
顧客の編集 .....	46
顧客の削除 .....	47
パートナー従業員を顧客に関連付ける .....	47
パートナーによる顧客のサインアップ .....	48
顧客にアカウントのアクティブ化を依頼する .....	49
顧客の非アクティブ化 .....	49
顧客の再アクティブ化 .....	49
ユーザーまたは WAVE PTX デバイスの顧客へのレンタル .....	50
ユーザーまたは WAVE PTX デバイスの顧客からの取り消し .....	51



ユーザーまたは WAVE PTX デバイスのパートナーまたは顧客へのレンタル .....	51
ユーザーまたは WAVE PTX デバイスのパートナーまたは顧客からの取り消し .....	52
モバイル、タブレット、または WAVE PTX 管理コンソール ユーザーの追加 .....	54
MOTOTRBO ユーザーの追加 .....	55
連絡先の割り当て .....	56
連絡先の削除 .....	56
ユーザーへの機能の許可 .....	58
ユーザーへの連絡先の追加 .....	59
タブレット ユーザーのアクティブ化 .....	60
ユーザーの削除 .....	60
ユーザーのパッケージまたはティアの変更 .....	61
ユーザー パスワードの再設定 .....	62
ユーザー CSV ファイルのアップロード .....	62
CSV ファイルを使用してユーザーをアップロードする .....	62
スプレッドシートの修正 .....	63
グループの作成 .....	64
グループのインポート .....	65
グループのエクスポート .....	65
1名のユーザーをグループから削除する .....	66
グループから複数のメンバーを削除する .....	67
グループの削除 .....	67
ユーザーをグループに関連付ける .....	68
Wi-Fi の構成 .....	72
Wi-Fi ネットワークの詳細の設定 .....	76
設定するエンタープライズ セキュリティ プロトコル: PEAP-MSCHAPV2 .....	78
設定するエンタープライズ セキュリティ プロトコル: EAPTTLS-MSCHAPV2 .....	79
設定するエンタープライズ セキュリティ プロトコル: EAP-TLS (SCEP) .....	80
設定するエンタープライズ セキュリティ プロトコル: EAP-TLS (手動 - サイド ローディング) .....	83
グループ通信の発信 .....	84
個別通信の発信 .....	85
個別通信の受信 .....	85
WAVE PTX デバイスの追加 .....	87
スプレッドシートから WAVE PTX デバイスをインポートする .....	90
WAVE PTX デバイスのクローン作成 .....	91
Nitro データ サービスの有効化 .....	93
EVOLVE デバイスの登録 .....	93
Nitro データ プランの変更 .....	94
EVOLVE デバイスの交換 .....	95
EVOLVE デバイスの編集 .....	96

デバイスのマルチゾーン サポートへの変換 .....	99
ION デバイスの追加 .....	102
ION デバイスのクローンの作成 .....	104
WAVE PTX デバイスで使用可能なアクションの表示 .....	105
ブルートゥース アクセサリの一括管理 .....	106
WAVE PTX デバイスの編集 .....	107
個々のデバイスのブルートゥース アクセサリの管理 .....	116
WAVE PTX デバイス ユーザーの編集 .....	117
グループを管理する .....	118
デバイスのクローン作成 - デバイス登録後 .....	119
通信許可の変更 .....	121
通信受信許可の変更 .....	121
通信許可の変更 .....	121
Location Watcher の管理 .....	122
グループ内のスーパーバイザーの管理 .....	122
ディスパッチャとユーザーをグループに関連付ける .....	122
WAVE PTX アプリケーションのダウンロード .....	126
無線システムの追加 .....	128
Connect Plus 無線システム (製造中止製品) の登録 .....	131
Capacity Plus 無線システムの登録 .....	132
Capacity Max 無線システムの登録 .....	134
IPSite 無線システムの登録 .....	136
個別通信サポート用の IPSite システムの構成 .....	138
無線システムとグループの関連付け .....	139
無線サブスクリバの追加 .....	139
ワイドおよびローカル グループ サポートの構成 .....	141
割り当てられたゲートウェイのアップデート .....	142
無線送信機能のテスト .....	142
拡張プライバシーのためのプライバシー キーの追加 .....	143
グループへのプライバシー キーの割り当て .....	143
ユニバーサル ゲートウェイ (UGW) ポータルへの同期 .....	145
WAVE PTX ゲートウェイへの接続 .....	148
WAVE PTX ゲートウェイの作成 .....	150
ゲートウェイのアップデート .....	151
XRT 9000/9100 ゲートウェイへのアクセス .....	153

## 第 1 章

# 開始する

WAVE PTX ポータルでは、ユーザーはデバイスの登録とオンボード、MSI サービスのサブスクリプション、契約、請求、または発送情報の管理が行えます。ポータルから、PTT デバイスの設定、サービスのアップグレードまたはダウングレード、デバイス機能の制御、アプリケーションまたはデバイスの無効化を行うことができます。WAVE PTX ポータルでは、すべてのデバイスと PTT アプリケーションが PTT サーバーに接続され、動作するかを確認できます。

## ブラウザ要件

WAVE PTX ポータルでは、Google Chrome がサポートされています。ブラウザを最新の安定したバージョンで更新してください。

### 1.1

## 無料試用版へのサインアップ

顧客は、メイン ページから無料の WAVE PTX ポータル試用版アカウントにサインアップできます。試用版アカウントは 30 日間有効で、WAVE PTX Web Communicator および WAVE PTX Mobile Communicator クライアントを介した WAVE PTX ブロードバンド通信を体験できます。試用版アカウントには、最大 10 人のユーザーが同時に通信できる 10 のユーザー ライセンスが含まれます。無料アカウントはいつでもアップグレードして、サポートされている Motorola 無線システムと統合でき、任意の人数のユーザーに対応できます。

**使用条件:** WAVE PTX ポータルにサインアップするには、次の手順に従います。

### 手順:

1. ブラウザで [www.waveptx.com](http://www.waveptx.com) に移動し、ドロップダウンから地域を選択します。
2. メイン ページで **[料金とプランを表示]** をクリックします。WAVE PTX PTT のメイン ページが表示されます。
3. 下にスクロールして [WAVE PTX PTT 無料試用版] セクションまで移動し、**[サインアップ]** をクリックします。
4. [無料試用版登録] フォームに次の詳細を入力します。
  - a. **[名]** に名を入力します。
  - b. **[姓]** フィールドに姓を入力します。
  - c. **[会社名]** に会社名を入力します。この会社名は WAVE PTX の顧客アカウントです。
  - d. **[会社の別名]** に、WAVE PTX ブロードバンド ユーザーに対して会社を表す短いコードを入力します。
  - e. **[電子メール]** に、会社の電子メール アドレスを入力します。
  - f. **[電話番号]** に、連絡先の電話番号を入力します。
  - g. **[パスワード]** に、電子メール アドレスで使用するパスワードを入力して、アカウントの WAVE PTX ポータルにサインインします。
  - h. **[パスワードの確認]** に、入力したパスワードを入力して、パスワードが正しいかどうかを確認します。
  - i. **[続行]** をクリックします。[サインアップ完了] ページが開きます。
5. **[ホーム ダッシュボードに移動]** をクリックして、新しい WAVE PTX アカウントのホーム ページを開きます。

6. 試用版アカウントには、<https://waveptx.com/Account/Login> でログインできます。
7. 試用版の顧客には、WAVE PTX PTT 無料試用版を開始するために必要なすべての詳細情報を記載した電子メールがシステムから送信されます。

## 1.2

# パスワードのリセット

パスワードを忘れた場合、WAVE PTX ポータルのサインイン ページにある「パスワードを忘れた場合」リンクをクリックして、パスワードをリセットできます。

**使用条件:** パスワードをリセットするには、次の手順に従います。

### 手順:

1. サインイン ページで、**[パスワードを忘れた場合]** リンクをクリックします。[パスワードを忘れた場合] のメイン ページが表示されます。
2. 表示されたフィールドに電子メール、ユーザー ID、または電話番号を入力し、**[送信]** をクリックします。
3. リセット リンクが電子メールまたは電話番号に送信されます。
4. 受信したリンクをクリックします。
5. 新しいパスワードを入力し、同じパスワードを再入力して同じであることを確認します。
6. **[次へ]** をクリックします。

## 1.3

# WAVE PTX PTT トライアルを開始する

WAVE PTX トライアルを最大限に活用するため、ユーザーを追加し、オプションでグループを追加してください。WAVE PTX ポータルでは、ここで説明するように、3 種類のユーザーとグループを追加できます。

## ユーザーのタイプ

- **モバイルまたはタブレット**  
モバイル デバイス (携帯電話接続と電話番号を使用) またはタブレット デバイス (Wi-Fi のみ) の標準ユーザーです。モバイル ユーザーまたはタブレット ユーザーは、任意のグループに割り当てることができます。
- **ION**  
ION タイプのユーザーです。
- **MOTOTRBO クライアント**  
MOTOTRBO タイプのユーザーです。
- **WAVE 管理コンソール**  
ブラウザ プラグインとしてインストールされている WAVE PTX 管理コンソール クライアントのユーザー用です。ディスパッチャは、管理コンソールまたはブロードキャスト タイプのグループにのみ割り当てることができます。

## グループのタイプ

### 標準グループ

標準グループは、任意のタイプのグループで使用でき、1 名以上のスーパーバイザーを割り当てることができます。少なくとも 2 人のメンバーが必要です。

ユーザーは、最大 3000 人のメンバーを持つ大規模な (標準のみの) グループを作成することもできます。地域に基づく大規模グループは、限られた数だけ作成できます。大規模なグループを作成するには、顧客

が SafeGuard パッケージを購入している必要があり、大規模なグループ機能をアカウント レベルで有効にする必要があります。詳細については、[wavesupport@motorolasolutions.com](mailto:wavesupport@motorolasolutions.com) までお問い合わせください。

### 管理コンソール グループ

管理コンソール グループは、標準グループにディスパッチャを割り当てる機能を追加したグループです。グループのメンバーは、フリート メンバーと呼ばれます。ディスパッチ ユーザーを含む、少なくとも 2 人のメンバーが必要です。グループを使用するには、ディスパッチャを割り当てる必要があります。

### ブロードキャスト グループ

ブロードキャスト グループは、グループのブロードキャスタからメンバーへの通信が一方である特殊なタイプのグループです。ブロードキャスタを含む、少なくとも 2 人のメンバーが必要です。ブロードキャスト グループには、ブロードキャスタを含む最大 500 人のメンバーを含められます。これらのタイプのグループにより、ブロードキャスタは一般的に重要な通知に使用される優先度の高い通信を行えます。

## 1.4

# WAVE PTX ブロードバンドの利用を始める

このトピックでは、WAVE PTX アカウントを最近開始したお客様のため (試用版または有料)、ブロードバンド操作を行えるように顧客アカウントを設定する初期手順を説明します。このセクションの手順を完了すると、WAVE PTX アプリケーションを使用して、Android または iOS の複数のデバイス (スマートフォン) で通信できるようになります。ブロードバンド サービスを開始するには、次の手順を実行します。

1. ユーザーを追加します。「[モバイル、タブレット、または WAVE PTX 管理コンソール ユーザーの追加 ページ 54](#)」および「[MOTOTRBO ユーザーの追加 ページ 55](#)」を参照してください。
2. グループを作成します。[グループの作成 ページ 64](#) を参照してください。
3. ユーザーとグループを関連付けます。[ユーザーをグループに関連付ける ページ 68](#) を参照してください。
4. WAVE PTX Mobile Communicator クライアントをインストールします。[WAVE PTX クライアントのインストール ページ 21](#) を参照してください。
5. WAVE PTX にサインインします。[WAVE PTX ポータルへのサインイン ページ 23](#) を参照してください。
6. 送信をテストします。[送信のテスト ページ 23](#) を参照してください。

### 1.4.1

## WAVE PTX クライアントのインストール

### 手順:

1. 電子メールに記載されている指示に従うか、アプリストアで WAVE PTX Push-to-Talk を検索します。Wave PTT アプリは、iOS と Android の両方で使用でき、それぞれのストアからダウンロードできます。
2. アプリケーションをダウンロードして起動します。
3. メッセージが表示されたら、アプリケーションにオーディオの録音、デバイスの位置情報へのアクセス、連絡先へのアクセス、電話の発信と管理、写真、メディア、ファイルへのアクセス、デバイスの SMS メッセージの送信と表示を許可する必要があります。WAVE PTX では、クライアントから連絡先に電話をかける機能を提供するために、連絡先にアクセスする必要があります。WAVE PTX では、電話にアクセスして連絡先に電話をかけ、携帯電話からの着信時の処理を最小化する必要があります。WAVE PTX では、メディア ファイルにアクセスして、アプリケーション経由で転送できるようにする必要があります。
4. メッセージが表示されても、バッテリーの使用は最適化しないでください。この操作は、バックグラウンド操作の妨げになります。

5. [エンド ユーザー使用許諾契約 (EULA)] ページが表示されます。電話機で PTT サービスをアクティブ化するには、EULA を読み、同意してください。
6. **[はい]** をクリックしてアクティブ化を確認します。

プロンプトが表示されたら、管理者またはオペレータから提供されたアクティベーション コードを入力して、PTT アプリケーションをアクティブにします。アクティベーション コードは、電子メールまたは SMS で入手できます。アクティベーション パスコードを受け取っていない場合は、このアカウントを所有している管理者に連絡し、アクティベーション パスコードを生成するように依頼します。
7. WAVE PTX PTT アプリケーションは、サーバーに接続して、ログインする前に連絡先とグループ (存在する場合) を取得します。情報通知を受け取った場合は、手順 8 を参照してください。情報通知を受け取っていない場合は手順 9 に進みます。

電話番号がシステムに存在しない場合は、試用版アカウントを作成するように求められます。
8. 自分自身が顧客として無料試用版アカウントを開始する場合は、**[無料試用版]** をクリックし、画面の指示に従います。30 日間の無料試用版ライセンスが付与され、独自のグループを作成して、独自のユーザーを招待できます。
9. **[無料試用版]** をクリックします。
10. 必要な情報を入力し、**[サインアップ]** ボタンをクリックします。
11. 顧客アカウント管理者の場合は、最大 10 人のユーザーを招待できます。ユーザーを招待するには、ユーザーの電話番号を入力して、**[招待]** ボタンをクリックします。ユーザーとしてアカウントに登録するための SMS の指示が送信されます。
12. アカウントの WAVE PTX カスタマー ポータルを開くには、**[ホーム ダッシュボードに移動]** をクリックします。
13. WAVE PTX アプリケーションが起動すると、使い方ヒントを表示できます。

**[使い方ヒントのスキップ]** をクリックすると、アプリケーションのメイン ページが表示されます。使い方ヒントは、メニューからいつでも起動できます。
14. アプリケーションが起動すると、画面上部に「利用可能」と表示されます。これで、WAVE PTX Communicator の使用を開始する準備ができました。

#### 1.4.2

## MFA のアクティブ化 (オプション)

アプリケーションが、オプションの多要素認証 (MFA) を提供します。ユーザーは、顧客またはパートナー ハブから MFA を有効にすることができます。

#### 手順:

1. **[サインイン]** ウィンドウで、ユーザー ID を入力します。
2. **[続行]** をクリックします。

**[パスワードで確認]** ウィンドウが表示されます。
3. **[パスワード]** ドロップダウンをスクロールし、**[2 ステップの確認を管理]** をクリックします。
4. サインイン手順を実行します。ユーザー ID とパスワードを入力します。

**[アカウント]** ページに移動します。
5. **[プロファイルの編集]** をクリックします。
6. **[個人情報]** の横にある **[編集]** をクリックします。
7. **[2 ステップの確認]** ドロップダウンから、次のいずれかを選択します。
  - **有効 (電子メールは 2 番目の検証ステップ)**

- 無効

### 1.4.3

## WAVE PTX ポータルへのサインイン

地域によっては、WAVE PTX ポータルにアクセスするためのログイン ID とパスワードが表示されます。アプリケーションが、オプションの多要素認証 (MFA) を提供します ([MFA のアクティブ化 \(オプション\) ページ 22](#) を参照)。

#### 手順:

1. WAVE PTX ポータル リンクをクリックします。領域選択ページが表示されます。
2. ドロップダウンから地域を選択して、**[続行]** をクリックします。 **[WAVE へようこそ]** ページが表示されるので、サインインします。
3. **[サインイン]** をクリックします。アカウントのログイン ページが表示されます。
4. サインインの資格情報を入力して、**[サインイン]** をクリックします。

MFA を有効にした場合、ログインするたびに電子メールで確認コードが届きます。これを入力してサインインします。

### 1.4.4

## 送信のテスト

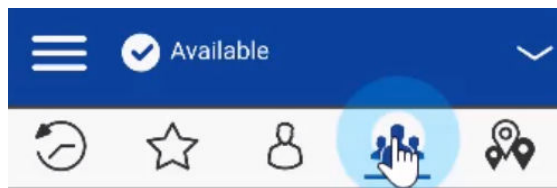
送信をテストすることで、デバイスが他のデバイスとの間で音声を効果的に送受信するかどうかを検証できます。テストすることにより、デバイスの適切な動作や、音声の品質が保証されます。

**使用条件:** 送信をテストするには、次の手順に従います。

#### 手順:

1. 別のデバイスを使用して、WAVE PTX Mobile Communicator から WAVE PTX にサインインします。
2. **[グループ]** タブで、グループの名前をタップします。

図 1: **[グループ]** タブ - 送信テスト



3. 他のデバイスも同じグループに属するように、手順 2 を繰り返します。
4. 一方のデバイスで、**PTT** ボタンを押し続けます。
5. 短いビープ音が鳴ったら、マイクに向かって話します。

もう一方のデバイスでは音声クリアな状態で再生されるはずですが、送信の記録が **[フィード]** 画面に表示されます。

### 1.5

## サブスクリプションのタイプ

パートナーは、顧客が WAVE PTX 通信サービスを使用するために 2 種類のサブスクリプションを選択できます。顧客は Collaboration パッケージまたは SafeGuard パッケージのいずれかを選択できます。顧客が有料サブスクリプションを開始する際には、Collaboration パッケージまたは SafeGuard パッケージ両方のライセンス

ンスを混在させて、マッチさせることができます (たとえば、5 つの Collaboration パッケージと 5 つの SafeGuard ライセンスのサブスクリプション)。

#### Collaboration パッケージ (年間および月次課金)

顧客は、年 1 回および月 1 回のブロードバンド請求を同時に行うことができます。この場合、顧客は、ブロードバンド機能を備えた各サブスクリプションについて、2 つの請求書または明細書を受け取ります。

#### SafeGuard パッケージ (年間および月次課金)

パートナーは、月単位および年単位の請求サイクルとして、顧客向け SafeGuard サブスクリプションを選択できます。SafeGuard には、ブロードバンド機能に加えて、緊急通信とアラート、リモートユーザーチェック、周辺音モニタ、通信モニタ、サービスからのユーザーの有効化/無効化、およびエリアベースの通信などの機能も備えています。

### 1.5.1

## WAVE PTX の購入

WAVE PTX アカウントを購入してプランを選択し、メイン ページから PTT 通信を開始できます。

**使用条件:** WAVE PTX プランを購入するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. ブラウザで [www.waveptx.com](http://www.waveptx.com) に移動します。
2. **[地域]** ドロップダウンから国を選択し、**[続行]** をクリックします。
3. メイン ページで **[料金とプランを表示]** ボタンをクリックします。
4. ページを下にスクロールして、組織の通信要件に最適なバンドルを決定します。
5. 目的のバンドルを決定したら、バンドルの下にある **[プランの表示]** ボタンをクリックします。
6. 必要なプランを決定したら、**[プラス]** ボタンをクリックして、プランのユーザー数を追加します。
7. **[カートに追加]** ボタンをクリックします。
8. カートに追加したアイテムを表示し、**[確認]** ボタンをクリックします。
9. アイテムの購入を確認したら、ページ右上の **ショッピング カート** アイコンをクリックします。
10. ショッピング カート内のプランの詳細を確認して、**[確認とチェックアウト]** ボタンをクリックします。
11. WAVE PTX にサインインしていない場合は、**[ログインしてチェックアウト]** をクリックします。
12. ID と支払い方法を入力するには、指示に従ってください。

### 1.5.2

## 有料サブスクリプションへのアップグレード

**使用条件:** サブスクリプションとライセンスをアップグレードするには、次の手順を実行します。

**手順:**

1. <https://waveptx.com/Account/Login> にアクセスします
2. 電子メール アドレスとパスワードでログインします。
3. **[設定]** アイコンをクリックします。
4. **[アカウント]** を選択します。
5. **[アカウント]** ページで **[サブスクリプションを管理]** を選択し、**[サブスクリプションの詳細]** ページの **[プランをアップグレード]** ボタンをクリックします。
6. 使用可能な製品プランと価格が表示されます。表示されるプランは、地域に応じて異なります。適切なプランを選択します。



### プランの設定 - 有料サブスクリプションへのアップグレード (北米を除く)

次の有料サブスクリプションを使用できます。

WAVE PTX モバイル アプリ  
WAVE PTX モバイル アプリおよび SafeGuard  
WAVE PTX 管理コンソール  
Wave PTX 管理コンソールおよび Safeguard  
WAVE PTX MOTOTRBO  
WAVE PTX TLK 100/TLK 150 (標準パッケージ)  
WAVE PTX TLK 100/TLK 150 (SafeGuard パッケージ)  
WAVE PTX TLK 25 WiFi  
WAVE PTX TLK 25 WiFi および SafeGuard  
ION WAVE PTX  
ION WAVE PTX および SafeGuard  
WAVE PTX TLK 110 Wave PTX SIM フリー  
WAVE PTX TLK 110 Wave PTX SIM フリーおよび Safeguard  
WAVE PTX ストリーミング ビデオ  
WAVE PTX 管理コンソール ストリーミング ビデオ  
WAVE PTX LMR Interop アドオン

### プランの設定 - 有料サブスクリプションへのアップグレード (米国およびカナダ)

次の有料サブスクリプションを使用できます。

ION WAVE  
ION WAVE および Safeguard  
WAVE 管理コンソール  
WAVE 管理コンソールおよび Safeguard  
WAVE モバイル アプリ  
WAVE モバイル アプリおよび Safeguard  
WAVE MOTOTRBO  
WAVE 双方向無線  
WAVE 双方向無線および Safeguard  
WAVE ストリーミング ビデオ  
WAVE 管理コンソール ストリーミング ビデオ  
WAVE LMR Interop アドオン

7. プランを選択した状態で、クレジットカードと請求の詳細を入力します。
8. ユーザー数を入力し、利用規約に同意してください。
9. 支払い完了ページが表示されます。

#### 1.5.3

## サブスクリプションのユーザー数を増やす

試用版アカウントには 10 ライセンスが無料で付属しています。有料アカウントでは、任意の数のユーザーをサポートできます。請求金額は、購入したライセンスの数によって異なります。MOTOTRBO のプランには無線の統合が含まれており、追加のハードウェアを考慮に入れて、ライセンス料金がいくらか高くなっています。有料アカウントをお持ちの場合は、いつでもライセンス数を更新できます。また、ビデオ ストリーミングが可能なライセンスの数を更新することもできます。

WAVE PTX の各ブロードバンド ユーザーは、サブスクリプションのライセンスを表します。



**注:** ビデオ ストリーミング ライセンスのフィールドは、サブスクライバが SafeGuard パッケージを購入した場合にのみ表示されます。

**手順:**

1. パートナーまたは顧客アカウントを使用して WAVE PTX にサインインします。
2. **[設定]** アイコンをクリックして、**[アカウント]** を選択します。
3. **[サブスクリプション]** セクションで、**[サブスクリプションを管理]** をクリックします。
4. **[サブスクリプション]** セクションで **[ライセンスの追加]** をクリックします。

[ライセンスの追加] ページが表示されます。表示されるプランは、地域に応じて異なります。

**プランの設定 - 有料サブスクリプションへのアップグレード (北米を除く)**

次の有料サブスクリプションを使用できます。

WAVE PTX モバイル アプリ  
WAVE PTX モバイル アプリおよび SafeGuard  
WAVE PTX 管理コンソール  
Wave PTX 管理コンソールおよび Safeguard  
WAVE PTX MOTOTRBO  
WAVE PTX TLK 100/TLK 150 (標準パッケージ)  
WAVE PTX TLK 100/TLK 150 (SafeGuard パッケージ)  
WAVE PTX TLK 25 WiFi  
WAVE PTX TLK 25 WiFi および SafeGuard  
ION WAVE PTX  
ION WAVE PTX および SafeGuard  
WAVE PTX TLK 110 Wave PTX SIM フリー  
WAVE PTX TLK 110 Wave PTX SIM フリーおよび Safeguard  
WAVE PTX ストリーミング ビデオ  
WAVE PTX 管理コンソール ストリーミング ビデオ  
WAVE PTX LMR Interop アドオン

**プランの設定 - 有料サブスクリプションへのアップグレード (米国およびカナダ)**

次の有料サブスクリプションを使用できます。

ION WAVE  
ION WAVE および Safeguard  
WAVE 管理コンソール  
WAVE 管理コンソールおよび Safeguard  
WAVE モバイル アプリ  
WAVE モバイル アプリおよび Safeguard  
WAVE MOTOTRBO  
WAVE 双方向無線  
WAVE 双方向無線および Safeguard  
WAVE ストリーミング ビデオ  
WAVE 管理コンソール ストリーミング ビデオ  
WAVE LMR Interop アドオン

5. [**<n>** ライセンスをいくつ追加しますか?] フィールドに、数値を入力します。  
<n> は、目的のライセンス数です。
6. 番号を入力したら、**[更新]** をクリックします。  
新しいプランと追加ライセンスはすぐに有効化されます。

#### 1.5.4

## サブスクリプションとライセンスのキャンセル

### 手順:

1. 認証情報を使用して、レンタル ディストリビュータ アカウントにサインインします。
2. [ホーム] ページの右上隅にある [設定] アイコンをクリックします。
3. [設定] ドロップダウンから [アカウント] を選択します。
4. [サブスクリプションを管理] をクリックします。
5. 必要なライセンスを削除するには [ライセンスの削除] をクリックします。
6. すべてのサブスクリプションをキャンセルするには、[すべてのサブスクリプションをキャンセルする] をクリックします。
7. 新しいサブスクリプションの詳細が [ディストリビュータ] ホーム ページに表示されます。
8. アカウント ページで [他のトランザクション] をクリックすると、アカウントのトランザクション履歴が表示されます。
9. サブスクリプションの詳細とアカウントの残りの残高を表示するには、[マイアカウントを管理] をクリックします。

#### 1.5.5

## 請求情報の更新

### 手順:

1. [WAVE PTX アカウント] にログインします
2. [設定] で [アカウント] をクリックします。
3. [マイアカウントを管理] をクリックします。
4. [支払いの変更] をクリックします。
5. 請求情報と支払い情報を入力します。
6. [更新] ボタンをクリックします。

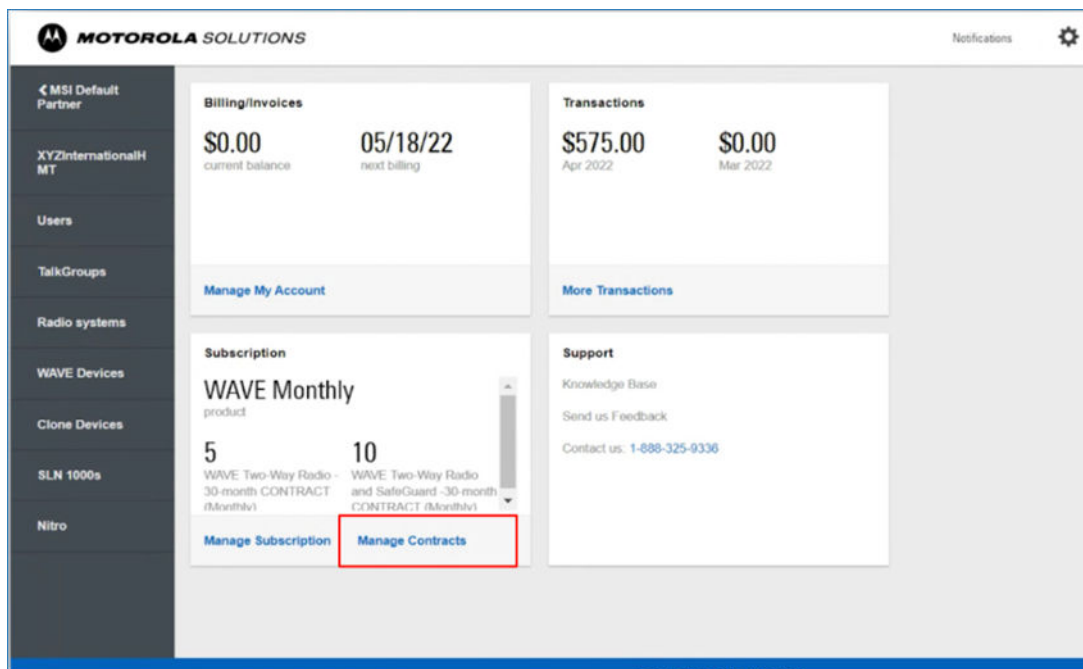
#### 1.5.6

## 契約管理 (米国地域のみ)

米国地域のディストリビュータ、パートナー、および顧客は、1 か所から WAVE PTX 契約ライセンスを管理できます。

顧客によって購入された WAVE PTX 契約ライセンスを管理するには、右上隅にある設定アイコンの下の [アカウント] をクリックして、サブスクリプション管理ページに移動します。

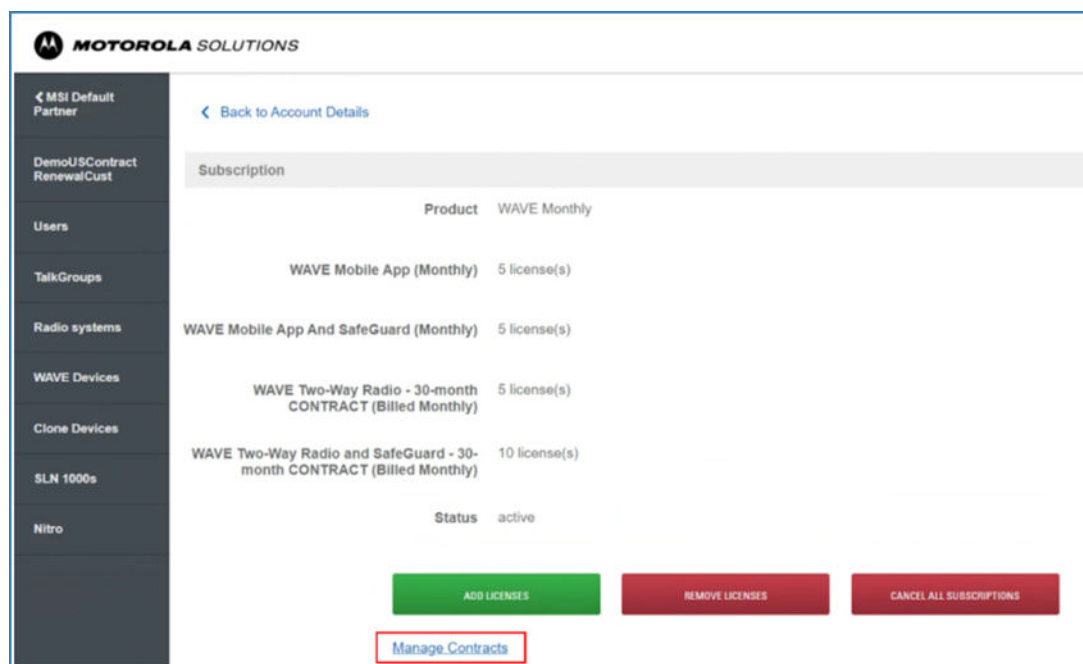
図 2: 契約を管理



[サブスクリプション] カードの [契約を管理] をクリックして、顧客によって購入された契約のリストにアクセスします。

また、[サブスクリプションを管理] リンクから [連絡先の管理] ページに移動し、下部にある [契約を管理] リンクをクリックすることもできます。

図 3: サブスクリプションから契約を管理



⚠ **重要:** 今後は、[サブスクリプション] ページでは、非契約ライセンスのみに関連するライセンス サブスクリプションの追加、削除、およびキャンセルのみを行うことができます。契約ライセンスを追加または削除する場合は、「[契約を管理] ページ ページ 29」に移動する必要があります。

### 1.5.6.1

## [契約を管理] ページ

[契約を管理] ページを使用すると、すべての契約ライセンスを 1 か所で管理できます。

今後は、契約ライセンスの追加または削除は [契約を管理] ページでのみ行うことができます。

図 4: [契約を管理] ページ

	LICENSE NAME ▲	START DATE	END DATE
<input type="checkbox"/>	WAVE Two-Way Radio and SafeGuard - 30-month CONTRACT (Billed Monthly)	04-12-2022	04-13-2022
<input type="checkbox"/>	WAVE Two-Way Radio - 30-month CONTRACT (Billed Monthly)	04-26-2022	04-27-2022
<input type="checkbox"/>	WAVE Two-Way Radio and SafeGuard - 30-month CONTRACT (Billed Monthly)	04-14-2022	10-14-2024
<input type="checkbox"/>	WAVE Two-Way Radio and SafeGuard - 30-month CONTRACT (Billed Monthly)	04-14-2022	10-14-2024
<input type="checkbox"/>	WAVE Two-Way Radio - 30-month CONTRACT (Billed Monthly)	04-29-2022	10-29-2024
<input type="checkbox"/>	WAVE Two-Way Radio and SafeGuard - 30-month CONTRACT (Billed Monthly)	04-29-2022	10-29-2024

[契約を管理] ページからは、すべての契約のリストに加えて、契約の [開始日] と [終了日] にもアクセスできます。24 か月契約の場合、このページで [開始日] と [終了日] の情報をすぐには入手できない場合があります。契約のステータスを確認するには、WAVE PTX サポートにお問い合わせください。

### 1.5.6.2

## 30 か月契約ライセンス

30 か月契約ライセンスが使用可能になりました (米国のエージェントのみ)。

24 か月契約ライセンスは削除されました。ライセンスを追加するページに、新しい 30 か月契約ライセンスが表示されるようになりました。

図 5: 30 か月契約ライセンス

Motorola Solutions WAVE	Plan Summary
WAVE Dispatch And SafeGuard (Monthly) <input type="text" value="0"/> x \$42.00	Recurring Fee (every 1 month) \$0.00
WAVE Mobile App (Monthly) <input type="text" value="0"/> x \$6.00	WAVE Two-Way Radio - 30-month CONTRACT (Billed Monthly): 5 TLK100 Licenses \$175.00
WAVE Mobile App And SafeGuard (Monthly) <input type="text" value="0"/> x \$10.00	WAVE Two-Way Radio and SafeGuard - 30-month CONTRACT (Billed Monthly): 5 TLK100 Licenses \$200.00
<b>WAVE Two-Way Radio - 30-month CONTRACT (Billed Monthly) <input type="text" value="5"/> x \$35.00</b> 25\$ for Service and 10\$ for Handset	<b>Today's Total \$375.00</b> then \$375.00 (plus applicable taxes) at first renewal on 06/04/2022
WAVE Two-Way Radio (Monthly) <input type="text" value="0"/> x \$35.00	
<b>WAVE Two-Way Radio and SafeGuard - 30-month CONTRACT (Billed Monthly) <input type="text" value="5"/> x \$40.00</b> 30\$ for Service and 10\$ for Handset	

図 6: 30 か月契約ライセンスを含んだサブスクリプション

Motorola Solutions

MSI Default Partner

DemouContract RenewalCust

Users

TalkGroups

Radio systems

WAVE Devices

Clone Devices

SLN 1000s

Nitro

Back to Account Details

Subscription

Product	Quantity
WAVE Monthly	
WAVE Mobile App (Monthly)	5 license(s)
WAVE Mobile App And SafeGuard (Monthly)	5 license(s)
<b>WAVE Two-Way Radio - 30-month CONTRACT (Billed Monthly)</b>	<b>5 license(s)</b>
<b>WAVE Two-Way Radio and SafeGuard - 30-month CONTRACT (Billed Monthly)</b>	<b>10 license(s)</b>

Status active

ADD LICENSES REMOVE LICENSES CANCEL ALL SUBSCRIPTIONS

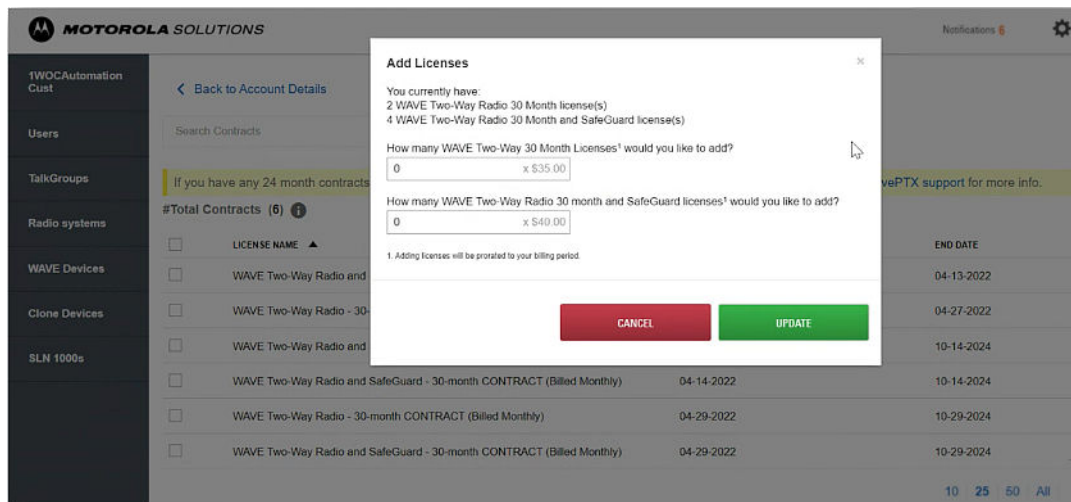
Manage Contracts

### 1.5.6.3

## 新しい契約ライセンスの追加

顧客管理者は、[契約] ページにある [ライセンスを追加] ボタンをクリックし、[ライセンスを追加] ウィンドウに契約ライセンスの数を入力することで、新しい契約ライセンスを追加できます。

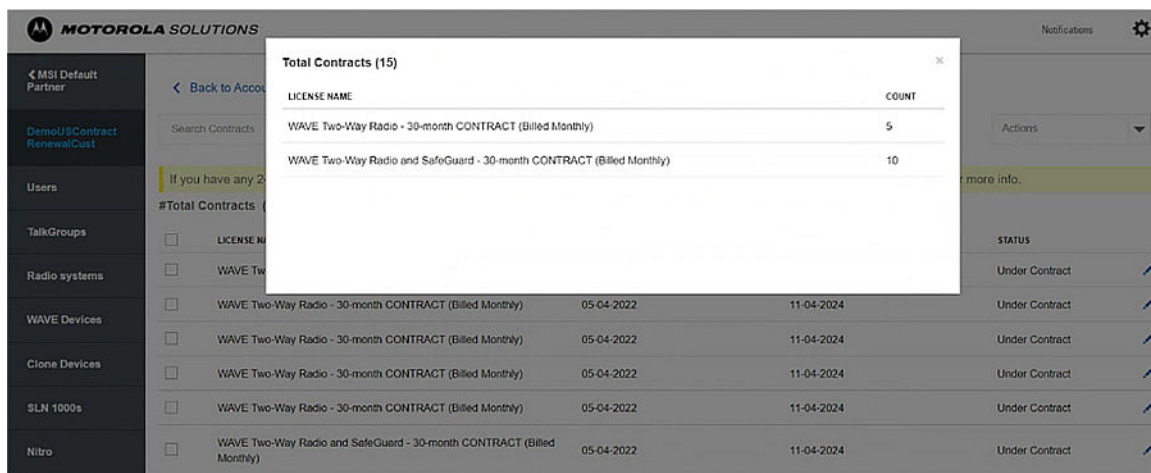
図 7: 新しいライセンスを追加



顧客管理者のみが、新しい契約ライセンス（つまり、30 か月契約のみ）を追加できます。新しい契約ライセンスを顧客アカウントに追加するには、ポータル ユーザーに顧客管理者の役割/権限が割り当てられている必要があります。

[総契約数] の横にある [情報] アイコンをクリックして、すべての契約ライセンスのサマリを表示することもできます。

図 8: 契約ライセンスのサマリ



#### 1.5.6.4

### 期限切れになった契約ライセンス

契約ライセンスは、期限切れになると、毎月のライセンスに変更され、契約期間の終了後は毎月請求されません。

既存の 24 か月/30 か月契約ライセンスを 30 か月契約ライセンスにアップグレードする場合は、パートナーサポートにお問い合わせください。オペレータ サポートは、契約外のデバイス/ライセンスを新しい 30 か月契約にアップグレードする場合にお手伝いをいたします。

## 第 2 章

# レンタル ビジネス

WAVE PTX サービスは、無線統合の有無にかかわらず購入でき、パートナーや顧客にレンタルできます。レンタル ビジネスでは、Motorola Solutions ディストリビュータ、パートナー、および顧客が WAVE PTX 製品をレンタル ベースで使用できます。レンタル ビジネスは、アジア、オーストラリア、ニュージーランド、ヨーロッパ、英国、日本、韓国、インド、コロンビアで利用できます。他の地域の方は、この章を省略してください。レンタル顧客の場合は、ディストリビュータまたはパートナーからレンタル ベースでユーザー/デバイスを購入できます。顧客がレンタル ディストリビュータの場合、購入したライセンス/デバイスを直接、またはレンタル パートナーの支援を受けて顧客にレンタルできます。レンタル パートナーが関与している場合、レンタル パートナーは主要連絡先として機能します。

### 2.1

## レンタル ディストリビュータの追加

**使用条件:** ポータルにレンタル ディストリビュータを追加するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. オペレータ ポータルで、メニューから **[ディストリビュータ]** をクリックします。
2. **[レンタル ディストリビュータを追加]** をクリックします。
3. 表示されたフィールドに情報を入力します。
4. 必要に応じて、**[ようこそ電子メールを送信]** チェックボックスをオンにして、ディストリビュータに電子メールを送信します。
5. **[次へ]** をクリックします。
6. 詳細を確認し、**[保存]** をクリックします。ディストリビュータの名前が、**[ディストリビュータ]** 作業領域のリストに表示されます。

ディストリビュータの名前は、検索領域から検索できます。

### 2.2

## ディストリビュータ従業員の追加

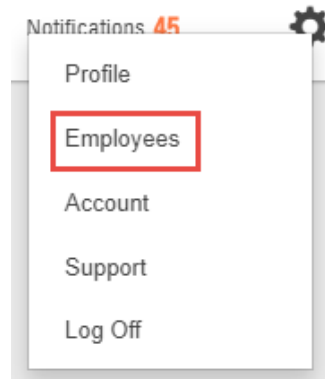
**使用条件:** ディストリビュータ従業員を追加するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. **[ディストリビュータ]** ポータルで、**[設定]** をクリックします。



図 9: ディストリビュータ従業員 - 設定



2. [従業員] を選択します。
3. [従業員を追加] をクリックします。

図 10: ディストリビュータ従業員の追加

A screenshot of the 'ADD EMPLOYEE' form. It features a search bar labeled 'Search employees' with a magnifying glass icon, an 'ADD EMPLOYEE' button, and an 'Actions' dropdown menu. Below the search bar is a table with columns: FIRST NAME, LAST NAME, PHONE NUMBER, EMAIL, and PASSWORD. The first row contains the following data: Sydney, Police, a flag icon followed by 2019827363, SRDP@shiftmail.com, and a masked password. To the right of the password field are two buttons: a red 'X' and a green checkmark.

4. フィールドにディストリビュータの従業員名の姓名を入力します。
5. 国コードを選択し、電話番号にディストリビュータの電話番号を入力します。
6. ディストリビュータ従業員の電子メール ID を入力します。
7. ディストリビュータ ポータルにサインインするためのパスワードを入力します。
8. ディストリビュータ従業員のアカウントを作成するには、**ティック** アイコンをクリックします。

## 2.3

# ディストリビュータ従業員の編集

ディストリビュータ従業員を作成したら、名前、電子メール ID を編集し、従業員のログインパスワードを変更できます。

**使用条件:** ディストリビュータ従業員の詳細を編集するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. ディストリビュータとしてログインしたら、[設定] から [従業員] を選択します。
2. 利用可能な従業員のリストが表示されます。
3. ディストリビュータの従業員の名前をクリックします。
4. 詳細情報を編集し、[保存] をクリックします。

## 2.4

# [パートナー] 作業領域で使用できるアクション

代理店の従業員は、[パートナー] 作業領域からパートナーをアクティブ化、非アクティブ化、削除できます。また、ディストリビュータは、[ステータス] 列の [編集] アイコンを使用して、個々のパートナーの名前と電話

番号を編集することもできます。パートナーに対してこれらの操作を実行できるのは、オペレータおよびディストリビュータの従業員だけです。

### 2.4.1

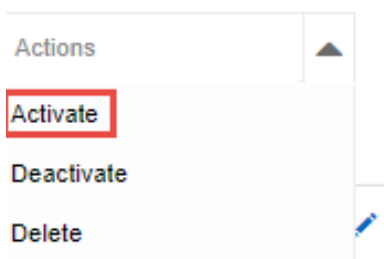
## パートナーのアクティブ化

**使用条件:** パートナーをアクティブ化するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. [パートナー] メニューから、パートナー名の横にあるチェックボックスをオンにします。
2. [アクション] ドロップダウンから [アクティブ化] を選択します。アクティブ化の確認メッセージが表示されます。

パートナーのアクティブ化



3. 次のいずれかを実行します。
  - [OK] をクリックして、アクティブ化を続行します。
  - [キャンセル] をクリックしてアクションをキャンセルします。

### 2.4.2

## パートナーの非アクティブ化

**使用条件:** パートナーを非アクティブにするには、次の手順に従います。

**手順:**

1. [パートナー] メニューから、パートナー名の横にあるチェックボックスをオンにします。
2. [アクション] ドロップダウンから [非アクティブ化] を選択します。非アクティブ化の確認メッセージが表示されます。
3. 次のいずれかを実行します。
  - [OK] をクリックして、アクティブ化を続行します。
  - [キャンセル] をクリックしてアクションをキャンセルします。

### 2.4.3

## パートナーの削除

**使用条件:** パートナーを削除するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. [パートナー] メニューから、パートナー名の横にあるチェックボックスをオンにします。
2. [アクション] ドロップダウンから [削除] を選択します。削除の確認メッセージが表示されます。
3. 次のいずれかを実行します。

- **[OK]** をクリックして、削除を確認します。
- **[キャンセル]** をクリックしてアクションをキャンセルします。

## 2.5

# レンタル ディストリビュータの有効化または無効化

PTT サービスのディストリビュータ ポータルからディストリビュータをアクティブまたは非アクティブにできます。

**使用条件:** ディストリビュータの PTT サービスをアクティブまたは非アクティブにするには、次の手順を実行します。

**手順:**

1. [ディストリビュータ] 作業領域で、サービスをアクティブ化または非アクティブ化するディストリビュータを選択します。
2. [アクション] ドロップダウンから、[アクティブ化] または [非アクティブ化] を選択します。確認ウィンドウが表示されます。

図 11: ディストリビュータ アカウントをアクティブ化または非アクティブ化する



<input type="checkbox"/>	DISTRIBUTOR NAME	COUNTRY	ACTIVE PARTNERS	EMPLOYEES	LAST UPDATED	IS RENTAL	Actions
<input type="checkbox"/>	zura	United States	0	1	07/21/2020	No	Activate Deactivate Delete
<input checked="" type="checkbox"/>	Worldwide Education	United States	1	1	03/10/2020	No	Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Worldwide Education	Japan	0	5	06/10/2020	Yes	Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Worldwide Education	New Zealand	1	12	07/08/2020	Yes	Active
<input type="checkbox"/>	WAVE Radio Distributor	United States	1	2	05/3/2019	No	Active

3. 次のいずれかを実行します。
  - **[OK]** をクリックして、アクティブ化を続行します。
  - アクションをキャンセルするには、**[キャンセル]** をクリックします。

## 2.6

# サブスクリプション管理 - レンタル ディストリビュータ

レンタル ディストリビュータのアカウントを作成する時点では、アカウントに PTT 通信用のサブスクリプションまたはライセンスがありません。サブスクリプションを追加して、アカウントのサービスを開始します。

### 2.6.1

## サブスクリプションとライセンスの追加

**使用条件:** サブスクリプションとライセンスをディストリビュータ アカウントに追加するには、次の手順を実行します。

**手順:**

1. 認証情報を使用してディストリビュータ アカウントにサインインします。
2. [ディストリビュータ] メイン ページが表示されます。ヘッダーの **[設定]** アイコンをクリックします。
3. **[設定]** ドロップダウンから **[アカウント]** を選択します。
4. **[サブスクリプションを管理]** をクリックします。

図 12: サブスクリプションの管理

Sydney Rental Distributor Users WAVE Devices Partners	<b>Billing/Invoices</b> \$3,016.59 current balance 07/01/20 next billing <a href="#">Manage My Account</a>	<b>Transactions</b> \$0.00 Jun 2020 \$0.00 May 2020 <a href="#">More Transactions</a>
	<b>Subscription</b> WAVE Monthly product <a href="#">Manage Subscription</a>	<b>Support</b> Knowledge Base Send us Feedback Contact us: 1-888-325-9336

5. 必要なライセンスを追加するには **[ライセンスを追加]** をクリックします。

図 13: サブスクリプションおよびライセンス

[Back to Account Details](#)

**Subscription**

**Product** WAVE Monthly

**Status** active

[ADD LICENSES](#) [REMOVE LICENSES](#)

[DOWNGRADE TO BROADBAND](#) [CANCEL ALL SUBSCRIPTIONS](#)

6. **[Critical Communications にアップグレードする]** をクリックすると、サブスクリプションをアップグレードできます。
7. 新しいサブスクリプションの詳細が **[ディストリビュータ]** ホーム ページに表示されます。
8. **[ディストリビュータ]** ホーム ページで **[他のトランザクション]** をクリックすると、アカウントの取引履歴が表示されます。
9. サブスクリプションの詳細とアカウントの残りの残高を表示するには、**[マイアカウントを管理]** をクリックします。

## 第 3 章

# パートナー ナビゲーション

パートナーまたはパートナー従業員が WAVE PTX にサインインすると、パートナー画面が表示されます。左画面のナビゲーションには、次のオプションが表示されます。

この場合の「パートナー」は、ディストリビュータが管理する従業員です。[パートナー] 画面には、ユーザー、WAVE PTX デバイス、および顧客メニューが表示されます。それぞれのメニューをクリックすると、ユーザー、WAVE PTX デバイス、および顧客のリストが表示されます。

レンタル パートナーは、ユーザーと WAVE PTX デバイスを作成できません。ディストリビュータはユーザーを作成し、WAVE PTX デバイスを作成してパートナーまたは顧客に割り当てます。[顧客] 画面では、パートナーとパートナー従業員には、メニューの上部にパートナー リンクが表示されます。リンクをクリックすると、パートナーのホームページに戻ります。

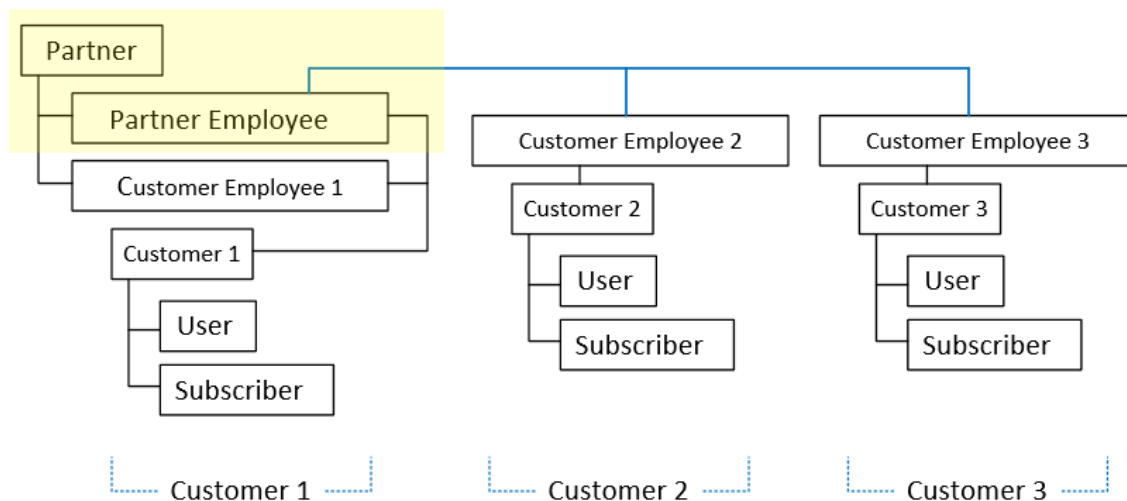
パートナーの主な目的は、顧客、従業員を作成し、顧客にユーザーを割り当てることです。パートナーが顧客を作成すると、その顧客は従業員カスタマー サポートの役割を持つ従業員として自動的にその顧客に追加されます。この機能により、パートナーは最初、顧客アカウントの従業員として行動することができますが、パートナーがこのアクションを実行できるのは「従業員」アカウントです。パートナー アカウントではありません。パートナー従業員アカウントが顧客から削除されると、パートナーはその顧客にアクセスできなくなります。パートナーの場合は、従業員アカウントを顧客から削除する前に、従業員を作成して顧客に割り当てるようにしてください。

### 3.1

## パートナーの役割について

パートナーは、顧客アカウントの作成者および管理者です。パートナーとパートナー従業員は、割り当てられた役割に応じて、特定の操作を実行できます。

図 14: パートナーの役割 (通常フロー)



パートナーは顧客アカウントの作成者および管理者であり、パートナーおよびパートナー従業員のみが自身に割り当てられた顧客アカウントでアクションを実行できます。

## 顧客を理解する

パートナーは、独自の WAVE PTX 顧客の作成と管理を行います。または、パートナー従業員の作成と割り当てを行い、顧客を作成し、管理する権限を持つパートナーを割り当てます。

パートナーまたはパートナー従業員の顧客のみが追加または削除を行えます。顧客従業員は、割り当てられた顧客を変更できますが、他の顧客の追加、削除、または変更を行うことはできません。

### 3.2

## レンタル パートナーの追加

ディストリビュータまたはディストリビュータの従業員は、パートナーを追加できます。

**使用条件:** ディストリビュータにパートナーを追加するには、次の手順に従います。

手順:

1. ディストリビュータのホーム ページで、メニューから **[パートナー]** をクリックします。

図 15: レンタル パートナーの追加

<input type="checkbox"/>	PARTNER NAME ▲	PARTNER ID	COUNTRY ▼	ACTIVE CUSTOMERS	EMPLOYEES	NUMBER OF USERS	NUMBER OF DEVICES	LAST UPDATED	STATUS
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Sydney East Rental Partner</a>	3182	Australia	3	12	0	1	08/4/2020	Active <a href="#">↗</a>
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Sydney North Rental Partner</a>	3184	Australia	0	2	0	0	05/19/2020	Active <a href="#">↗</a>
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Sydney South Rental Partner</a>	3185	Australia	0	2	0	0	05/19/2020	Active <a href="#">↗</a>
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Sydney West Rental Partner</a>	3183	Australia	0	6	0	0	05/19/2020	Active <a href="#">↗</a>

10 | 25 | 50 | All

2. **[パートナー]** 作業領域で、**[パートナーの追加]** ボタンをクリックします。

図 16: 基本情報の追加 - レンタル パートナー

Provide basic information about the Partner.

Partner Name\*

Phone Number\*

Country\*

Partner Admin User

First Name

Last Name

Email\*

Phone\*

Send Welcome Email?

[Next >](#)

3. 表示されたフィールドにパートナーの基本情報を入力します。
4. ようこそ電子メールをパートナーに送信する場合は、**[ようこそ電子メールを送信]** チェックボックスをオンにします。
5. **[次へ]** をクリックします。
6. 詳細を確認して **[保存]** をクリックします。
7. パートナーの名前が、**[パートナー]** 作業領域のリストに表示されます。

### 3.3 パートナーの追加

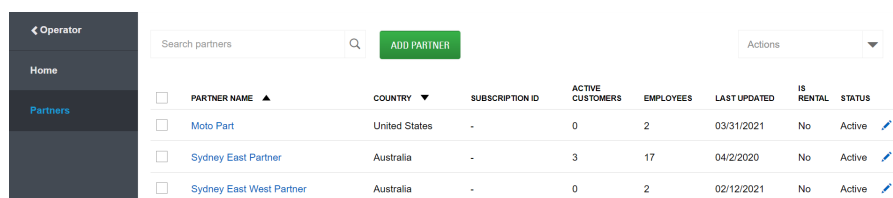
ディストリビュータまたはディストリビュータの従業員は、パートナーを追加できます。

**使用条件:** ディストリビュータにパートナーを追加するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. ディストリビュータのリストからディストリビュータを選択します。[ディストリビュータ] ページが表示されます。

図 17: パートナーの追加



<input type="checkbox"/>	PARTNER NAME ▲	COUNTRY ▼	SUBSCRIPTION ID	ACTIVE CUSTOMERS	EMPLOYEES	LAST UPDATED	IS RENTAL	STATUS
<input type="checkbox"/>	Moto Part	United States	-	0	2	03/31/2021	No	Active <a href="#">↗</a>
<input type="checkbox"/>	Sydney East Partner	Australia	-	3	17	04/2/2020	No	Active <a href="#">↗</a>
<input type="checkbox"/>	Sydney East West Partner	Australia	-	0	2	02/12/2021	No	Active <a href="#">↗</a>

2. **[パートナー]** メニューをクリックします。

3. [パートナー] 作業領域で、[パートナーの追加] ボタンをクリックします。
4. 表示されたフィールドにパートナーの基本情報を入力します。
5. パートナーを非アクティブのままにする場合は、[アクティブ] チェックボックスをオフにします。
6. [送信] をクリックします。
7. パートナーの名前が、[パートナー] 作業領域のリストに表示されます。

### 3.4

## パートナー従業員のナビゲーション

パートナー従業員は複数の顧客に割り当てられ、割り当てられた顧客アカウントのいずれかを切り替えて管理することができます。パートナー従業員がサインインすると、パートナーと同じページが表示されます。パートナー従業員は、パートナー レベルで作成されます。パートナー従業員の作成手順については、「パートナー従業員の作成」を参照してください。パートナー従業員は、個々の顧客を管理するために、割り当てられた顧客アカウント間を移動できます。顧客を切り替えて別の顧客を編集するには、次の手順に従います。

**使用条件:** 顧客間を移動するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. メインメニューで [パートナー] をクリックします。



**注:** パートナーとパートナー従業員のみがパートナー リンクを使用できます。

2. [顧客] をクリックします。
3. [顧客] 画面で、管理する顧客をクリックします。選択した顧客のホーム ページが開きます。

図 18: パートナー従業員のナビゲーション

<input type="checkbox"/>	NAME ▲	CUSTOMER ID	COMPANY ALIAS	PARTNER SALES PERSON	VERSION	WAVE PARTNER DEMO	STATUS
<input type="checkbox"/>	Rental CUST	3674	CUST	-	2.0	No	Active
<input type="checkbox"/>	Sydney Infrastructures	3191	SydneyInfrastructures	-	2.0	No	Active

### 3.5

## 顧客のパートナーによるブロードバンド トライアルの作成

ブロードバンド トライアル サービスでは、ブロードバンド サービスを試用できます。

**使用条件:** 試用版ブロードバンド サービスを作成するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. 新しいブロードバンド専用トライアルを生成する顧客を作成します。「顧客の追加 ページ 44」を参照
2. 歯車アイコンをクリックして、[アカウント] を選択します。
3. アカウント管理画面で [アップグレード] ボタンをクリックします。
4. [アカウント] ページで [サブスクリプションを管理] をクリックします。
5. [プランをアップグレード] をクリックします。
6. 価格と製品ページが表示されます。



図 19: 価格と製品ページ

**MOTOROLA SOLUTIONS**

---

Motorola Solutions WAVE OnCloud Plan Summary

---

**Configure Your Plan**

Broadband + MOTOTRBO  x \$10.00

[Update Totals](#)

**Number of Users**

---

**Customer Information**

First Name \*  Last Name \*

Email Address \*

Phone

Organization

---

**Billing Information**

All transactions are secure and encrypted.

Credit Card

First Name on Account \*  Last Name on Account \*

Card Number \*

CW  Expiration Month \*  Expiration Year \*

---

**Billing Address**

Address 1 \*  Address 2

Billing Country \*

Billing City \*  Billing State \*  Billing ZIP Code \*

I accept the [Terms and Conditions](#) [Place My Order](#)


**Don't Forget!** [Privacy Policy](#)

7. 適切なプランを選択します。請求情報ページが表示されます。
8. ユーザー数 (モバイルおよび Web コミュニケーターを使用するユーザー) を入力します。
9. すべてのデータを入力します。
10. 利用規約を受け入れます。

11. **[注文する]** をクリックします。


### 3.6

## 月額サブスクリプションを年間に変更する

 **注:** 地域によっては、サブスクリプションを変更できない場合があります。

#### 手順:

1. アカウントを管理しているパートナーとしてログインし、変換する顧客アカウントを開きます。
2. アカウントに顧客従業員 (パートナー従業員ではありません) を追加します。
3. 月額サブスクリプションをキャンセルします。

 **注:** サブスクリプションをキャンセルすると、アカウントはすぐに機能を停止します。年間サブスクリプションを購入する準備が整うまで、サブスクリプションをキャンセルしないでください。

4. デモ アカウントがアカウントに設定されている場合は、必ず (パートナーとして) アカウントからデモアカウントを削除してください。
5. 顧客従業員としてログインします (パートナー従業員ではありません)。
6. サブスクリプションの購入が可能であるとタイルに表示されていれば、**[年]** を選択してサブスクリプション購入プロセスに進みます。

### 3.7

## 請求書の表示

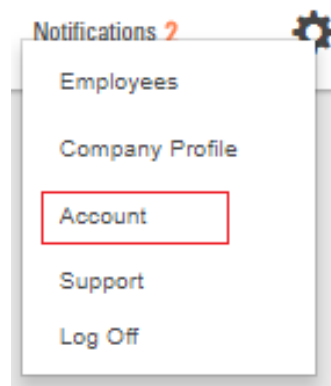
パートナーおよびパートナー従業員向けです。お客様に請求書を提供する必要がある場合は、次の手順に従います。

**使用条件:** 顧客の請求書を表示するには、次の手順に従います。

#### 手順:

1. ポータルで、顧客アカウントを開きます。
2. **[設定]** > **[アカウント]** をクリックします

図 20: アカウント設定



3. **[トランザクション]** で、**[他のトランザクション]** をクリックします。

図 21: 他のトランザクション

Transactions	
\$29.99	\$49.98
Mar 2018	Mar 2018

[More Transactions](#)

4. **[明細書を表示]** をクリックします。
5. 次のいずれかを実行します。
  - **[表示]** をクリックして説明を表示します。
  - 明細書に入力する必要がある場合は、**[PDF でダウンロード]** をクリックします。

## 第 4 章

# 顧客の管理

オペレータ、ディストリビュータ、およびパートナー従業員は、顧客を管理することができます。これらの機能を実行できるのは、それぞれのオペレータ、ディストリビュータ、およびパートナーに関連付けられている顧客だけです。顧客には、ユーザー、サブスクリイバ、グループ、顧客従業員、TLK、EVOLVE、および無線システムが含まれます。それぞれの顧客は、これらのコンポーネントを個別にグループ化し、隔離されるように設計されています。顧客を、顧客間で共有することはできません。誤ったクロス コミュニケーションの可能性を防ぐためです。

米国およびカナダの地域のパートナーまたは顧客には、(Collaboration および Safeguard パッケージの両方を) 同時に組み合わせ、マッチさせるオプションがあります。つまり、パートナーまたは顧客は、ユーザー登録時および使用中の任意の時点で、ユーザーのパッケージのタイプ (Collaboration または SafeGuard) を選択できます。

### 4.1

## 顧客の追加

顧客はパートナーまたはパートナー従業員が追加できます。顧客を追加すると、デフォルトでアクティブになります。通常、パートナーは、新規の顧客が登録し、パートナーとして選択されたことを通知された後、顧客を追加します。

**使用条件:** 新しい顧客を追加するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. **[パートナー]** ポータル ページで、**[顧客]** をクリックします。
2. **[顧客の追加]** ボタンをクリックします。
3. 必要に応じて、セールス チーム メンバーの電子メール アドレスを入力します。これにより、WAVE PTX アカウントでセールス プロモーションを行うことができます。
4. WAVE PTX に顧客に関する最新情報を設定します。
  - a. **[会社名]** にこの顧客の名前を入力します。
  - b. **[会社のエイリアス]** に顧客の英数字識別子を入力します。これは、ポータル アクセスを使用してポータルにログインするパートナーに使用されます。
  - c. **[電話]** に顧客の主要な電話番号を入力します。これは WAVE PTX に関する連絡先情報に使用されます。
  - d. **[国]** で顧客の国を選択します。これは請求情報に関連付けられます。
5. **[カスタマー管理ユーザー]** セクションで、カスタマー管理ユーザーを作成します。これは顧客従業員と同じです。カスタマー管理ユーザーは、このアカウントのデフォルト管理者であり、WAVE PTX ポータルを介してユーザー、グループ、および無線システムを編集できます。
  - a. **[名]** にカスタマー管理ユーザーの名を入力します。
  - b. **[姓]** にカスタマー管理ユーザーの姓を入力します。
  - c. **[電子メール]** にカスタマー管理ユーザーの電子メール アドレスを入力します
  - d. **[電話]** にカスタマー管理ユーザーの電話番号を入力します
6. 顧客に表示する挨拶とアクセスを決定します。
  - a. パスワードの設定と顧客アカウントへのアクセスに関する指示が記載された新規 WAVE PTX アカウントへの招待メールをユーザーに送信する場合は、**[よろこそ電子メールを送信]** を選択します。

- b. 質問があった場合に顧客に連絡する担当者を追加する場合は、**[技術担当者を追加]** をクリックして、情報を追加します。
- c. **[次へ]** をクリックします。
7. **[サブスクリプション]** セクションで、新規顧客の詳細を指定します。
  - a. **[グループ数]** で、このアカウントに許可されるグループの数を指定します。
  - b. **[ライセンス数]** で、ユーザー ライセンス数を指定します。これにより、同時にログインできるブロードバンド ユーザーの数が制御されます。
  - c. **[無線システムのタイプ]** で、このアカウントが統合される無線システムのタイプを選択します。これがブロードバンド専用アカウントの場合は、**[なし]** を選択したままにします。
8. **[次へ]** をクリックします。**[レビュー]** ページで、入力した情報を確認し、**[保存]** ボタンをクリックします。
9. **[完了]** ページで、サブスクリプション タイプを選択します。

## 4.2

# 顧客従業員の追加

顧客従業員は同時に作成および追加されます。顧客従業員は 1 人の顧客のみに割り当てられます。顧客従業員を作成すると、現在サインインしている顧客アカウントに自動的に割り当てられます。

**使用条件:** 顧客従業員を追加するには、次の手順に従います。

手順:

1. **[顧客]** ページにいることを確認します。パートナーの場合は、**[顧客]** をクリックし、顧客アカウントの名前をクリックして、従業員を追加します。


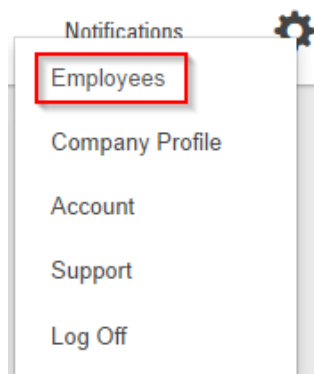

 **注:** 顧客従業員として WAVE にサインインしている場合は、すでに顧客アカウントに登録されているため、この手順を省略できます。

図 22: 顧客従業員 - 設定



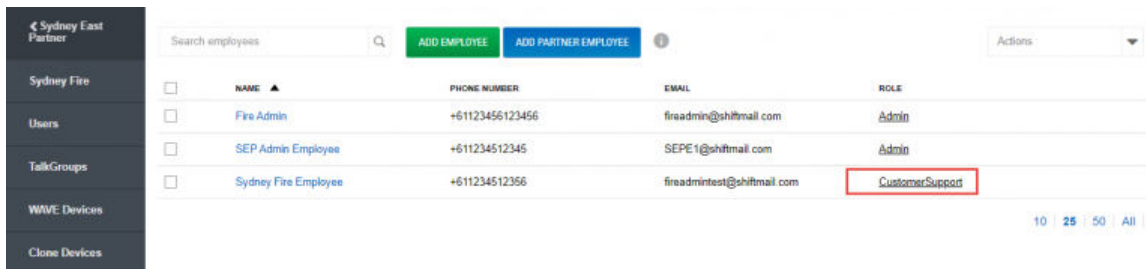
2. **[設定]** をクリックし、**[従業員]** をクリックします。

 **注:** アカウントは従業員として表示されます。別の有効な従業員を追加していない場合は、アカウントを削除しないでください。管理者役割を持つ従業員として顧客に割り当てられていない限り、顧客を編集することはできません。

3. **[従業員を追加]** をクリックします。**[従業員を追加]** フィールドが表示されます。
  - a. **[名]** に新しい従業員の名を入力します。
  - b. **[姓]** に新しい従業員の姓を入力します。
  - c. **[電話番号]** に、新しい従業員の連絡先として最適な番号を入力します。

- d. **[電子メール]** に、新しい従業員の連絡先電子メールアドレスを入力します。
  - e. **[パスワード]** に、新しい従業員の初期パスワードを入力します。
  - f. **緑色のチェック** ボタンをクリックします。
4. 新しい従業員がデフォルトの **[カスタマー サポート]** 役割で表示されます。

図 23: 顧客従業員を追加



	NAME ▲	PHONE NUMBER	EMAIL	ROLE
<input type="checkbox"/>	Fire Admin	+61123456123456	fireadmin@shiftmail.com	Admin
<input type="checkbox"/>	SEP Admin Employee	+611234512345	SEPE1@shiftmail.com	Admin
<input type="checkbox"/>	Sydney Fire Employee	+611234512356	fireadmintest@shiftmail.com	CustomerSupport

5. 従業員の役割をカスタマー サポート以外のものに設定する場合は、**[カスタマー サポート]** リンクをクリックします。

従業員は複数の役割を持つことができます。

### 4.3

## 顧客の編集

顧客を編集すると、その顧客に関連付けられているフィールド (顧客のエイリアスを除く) を変更できます。また、顧客の編集時に MSI 番号を追加することもできます。顧客は、パートナーまたはパートナー従業員が変更できません。顧客従業員は、自社の顧客を変更することはできません。

**使用条件:** 顧客を編集するには、次の手順に従います。

#### 手順:

1. パートナーまたはパートナー管理者ポータル ページで、**[顧客]** をクリックします。アカウントに割り当てられているすべての既存顧客のリストが表示されます。
2. **[ステータス]** フィールドで、編集する顧客の横にある**ペン**のアイコンをクリックします。顧客の編集画面が開きます。
3. 顧客の編集画面で、必要に応じてデータを変更します。

図 24: 顧客の編集

< Customers

Nitro Billing Type Direct

Nitro Infrastructure Type Monthly Service

Payment Type Not Prepaid

Company Name\* Demo July 2021  Active

MSI Sales Rep

Partner Sales Person Email

Phone Number\* (201) 555-6756

Number of Talk Groups 100

Number Of Standard Large Talk Groups 6

Number Of Broadcast Large Talk Groups 6

Number Of Dispatch Large Talk Groups 3


\* Required field

CANCEL SUBMIT

4. 編集が完了したら、[送信] ボタンをクリックします。変更はただちに有効になります。

## 4.4 顧客の削除

顧客を削除すると、その顧客に関連付けられているすべてのグループ、ユーザー、無線システム、および顧客従業員が削除されます。顧客を削除できるのはパートナーのみです。


 **重要:** 削除した顧客は復元できません。顧客を削除する必要があることを確認してください。この操作は元に戻せません。代わりに、顧客を非アクティブ化することもできます。

一度削除すると現在オンラインのユーザーはサインアウトされ、通信できなくなります。削除する前に、顧客に必ずこのことを伝えてください。無線システムは、ブロードバンド ユーザーと通信できなくなります。

**使用条件:** 顧客を削除するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. [顧客] をクリックして、[顧客] ページを開きます。
2. 削除する顧客を選択します。

 **注:** [会社名] の横にあるチェックボックスをオンにすると、ページに表示されているすべての顧客が選択されます。

3. [アクション] メニューの [削除] をクリックします。

顧客と、関連付けられているすべてのユーザー、グループ、無線システム、および顧客従業員が削除されます。パートナー従業員は影響を受けませんが、削除された顧客には関連付けられなくなります。

## 4.5 パートナー従業員を顧客に関連付ける

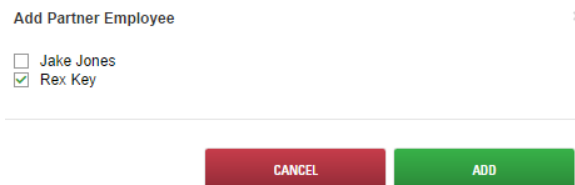
パートナーは、従業員の 1 人を顧客アカウントに割り当てることで、従業員が顧客アカウントと顧客アカウントの運用面を監視できるようにします。パートナーがパートナー従業員を顧客アカウントに割り当てる場合は、そのパートナー従業員を [顧客従業員] ページで顧客従業員として割り当てる必要があります。

**使用条件:** パートナー従業員を追加するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. WAVE PTX ポータルにパートナーとしてサインインします。
2. 任意の顧客アカウントで **[従業員]** をクリックします。
3. **[パートナー従業員を追加]** をクリックして、この顧客アカウントに割り当てるパートナー従業員を選択します
4. パートナー従業員のポップアップ選択から、追加するパートナー従業員を選択し、**[追加]** ボタンをクリックします。

**図 25: パートナー従業員を顧客に関連付ける**



Add Partner Employee

Jake Jones  
 Rex Key

CANCEL ADD

選択したパートナー従業員が **[従業員]** ページに表示され、サインインして現在の顧客を編集できるようになります。

## 4.6

# パートナーによる顧客のサインアップ

パートナーは、ポータルを使用するために顧客をサインアップする必要があります。サインイン リンクが顧客に送信されるので、サインインの手順を続行します。

**使用条件:** 新しい顧客をサインアップするには、次の手順に従います。

**手順:**

1. [www.waveoncloud.com](http://www.waveoncloud.com) にログインします
2. ホーム ページで **[顧客の追加]** をクリックします。
3. すべての詳細を入力して、顧客を追加します。顧客を追加する手順については、[顧客の追加 ページ 44](#) を参照してください
4. 次のいずれかを実行します。

**図 26: 電子メール アドレスの追加 - 顧客のサインアップ**



MSI Sales Person Email

Partner Sales Person Email

- MSI 販売担当者または MSI 販売担当者と協力しているパートナーの場合は、連絡先の電子メールアドレスを入力します。
  - パートナーの販売担当者的場合は、電子メール アドレスを入力します。
5. すべてのフィールドに入力したら、**[保存]** をクリックします。



#### 4.7

## 顧客にアカウントのアクティブ化を依頼する


### 手順:

1. パートナーまたはパートナー従業員としてログインします。
2. アカウントを開くには、顧客アカウントをクリックします。
3. [設定] > [従業員] の順にクリックします。
4. 従業員を選択します。
5. [アクション] メニューの [ようこそ電子メールを送信] をクリックします。

#### 4.8

## 顧客の非アクティブ化

顧客を非アクティブ化すると、その顧客のすべてのユーザーがサインインできなくなり、無線機の統合が無効になります。非アクティブ化しても顧客は削除されず、後で再アクティブ化するためにすべての顧客情報が保持されます。

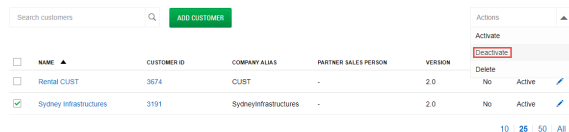
 **重要:** 現在オンラインになっているユーザーは、非アクティブ化されるとサインアウトされ、通信できなくなります。非アクティブ化する前に、顧客がこのアクションを認識していることを確認してください。

**使用条件:** 顧客を非アクティブ化するには、次の手順に従います。

### 手順:

1. パートナーまたはパートナー従業員ポータル ページで、[顧客] をクリックします。
2. アカウントに割り当てられているすべての既存顧客のリストが表示されます。
3. 非アクティブにする顧客の左にあるチェックボックスをオンにします。

図 27: 顧客の非アクティブ化



<input type="checkbox"/>	NAME	CUSTOMER ID	COMPANY ALIAS	PARTNER SALES PERSON	VERSION	Actions
<input type="checkbox"/>	Rental CUST	3674	CUST	-	2.0	No Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Sydney Infrastructures	3191	Sydneyinfrastructures	-	2.0	No Active

4. [アクション] メニューの [非アクティブ化] をクリックします。

#### 4.9

## 顧客の再アクティブ化

再アクティブ化された顧客は、以前のすべての機能をすぐに再開できます。割り当てられたパートナーのみが顧客を再アクティブ化できます。

**使用条件:** 顧客を再アクティブ化するには、次の手順に従います。

### 手順:

1. [パートナー] ポータル ページで、[顧客] をクリックします。  
アカウントに割り当てられている既存のすべての顧客のリストが表示されます。
2. ステータス列で、無効になっているアカウントを特定します。
3. 左側のチェックボックスを使用して、無効化された顧客アカウントを選択し、再アクティブ化します。

4. [アクション] メニューの [アクティブ化] をクリックします。

図 28: 顧客の再アクティブ化

<input type="checkbox"/>	NAME ▲	CUSTOMER ID	COMPANY ALIAS	PARTNER SALES PERSON	VERSION		
<input type="checkbox"/>	Rental CUST	3674	CUST	-	2.0	No	Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Sydney Infrastructures	3191	SydneyInfrastructures	-	2.0	No	Deactivated

10 | 25 | 50 | All

5. アクティブ化を確定するには、[OK] ボタンをクリックします。再アクティブ化されたアカウントは、ステータスが [アクティブ] になって表示されます。

#### 4.10

## ユーザーまたは WAVE PTX デバイスの顧客へのレンタル

レンタル パートナーは、レンタル ディストリビュータがパートナーに割り当てるユーザーとデバイスを顧客にレンタルできます。[オーナー] 列には、パートナーのパートナー ID が表示されます。ユーザーとデバイスが顧客にレンタルされていない場合、[次に関連付ける] 列には [自己] と表示されます。次の手順は、ユーザーを顧客にレンタルするためのものです。WAVE PTX デバイスをレンタルするには、ユーザーの場合と同じ手順に従います。

**使用条件:** ユーザーを顧客にレンタルするには、次の手順に従います。

**手順:**

1. パートナーのホーム ページで [ユーザー] メニューを選択します。
2. レンタルするユーザーの横にあるチェックボックスをオンにします。
3. [アクション] ドロップダウンから [レンタル] を選択します。

図 29: ユーザーまたは WAVE PTX デバイスの顧客へのレンタル

<input type="checkbox"/>	DISPLAY NAME ▲	DEVICE TYPE	EMAIL	USER TYPE	STATUS		
<input checked="" type="checkbox"/>	John	Tablet	john.j@org.com	Dispatcher	Disabled	Self	3047
<input checked="" type="checkbox"/>	Robert D	Tablet	-	Broadband	Disabled	Self	3047

10 | 25 | 50 | All

4. ユーザーをレンタルする顧客 ID を入力します。

図 30: 顧客 ID - 顧客へのレンタル

< Back

Rentout

Customer:  4586 (Sydney Police)

5. [保存] をクリックします。

- 表示されたメッセージで **[OK]** をクリックします。
- [次に関連付ける] 列には、ユーザーのレンタル先の ID が表示されます。

#### 4.11

## ユーザーまたは WAVE PTX デバイスの顧客からの取り消し

レンタル パートナーは、顧客にレンタルされたユーザーと WAVE PTX デバイスを取り消すことができます。レンタル パートナーは、ディストリビュータが直接顧客に提供したユーザーまたは WAVE PTX デバイスを取り消すことはできません。パートナーが提供した WAVE PTX デバイスのみを取り消すことができます。取り消すと、パートナーに関連付けられたユーザーおよび WAVE PTX デバイスと [次に関連付ける] 列に [自己] と表示されます。次の手順は、WAVE PTX デバイスを取り消すためのものです。WAVE PTX のデバイス メニューからユーザーを取り消すには、同じ手順に従います。

**使用条件:** 顧客からユーザーを取り消すには、次の手順に従います。

#### 手順:

- パートナーのホーム ページで **[ユーザー]** メニューを選択します。
- 取り消すユーザーの横にあるチェックボックスをオンにします。
- [アクション]** メニューの **[取り消し]** をクリックします。

図 31: ユーザーを取り消す

<input type="checkbox"/>	DISPLAY NAME ▲	DEVICE TYPE	EMAIL	USER TYPE	STATUS		
<input checked="" type="checkbox"/>	John	Tablet	john.j@org.com	Dispatcher	Active	4586	3047
<input checked="" type="checkbox"/>	Robert D	Tablet	-	Broadband	Active	4586	3047
<input type="checkbox"/>	Test2	TLK 100	-	Broadband	Disabled	Self	3047

Actions  
 Revoke  
 Rentout

10 | 25 | 50 | All

- 表示されたメッセージで **[OK]** をクリックします。

#### 4.12

## ユーザーまたは WAVE PTX デバイスのパートナーまたは顧客へのレンタル

レンタル ディストリビュータは、購入したユーザーおよびデバイスを、レンタル パートナーまたはレンタル顧客にレンタルできます。

レンタル ディストリビュータがエンド カスタマーにユーザーとデバイスをレンタルするには、次の 2 つの方法があります。

- レンタル ディストリビュータは、ユーザーとデバイスをレンタル パートナーに関連付けることができます。レンタル パートナーは、これらのユーザーとデバイスを顧客にレンタルできます。

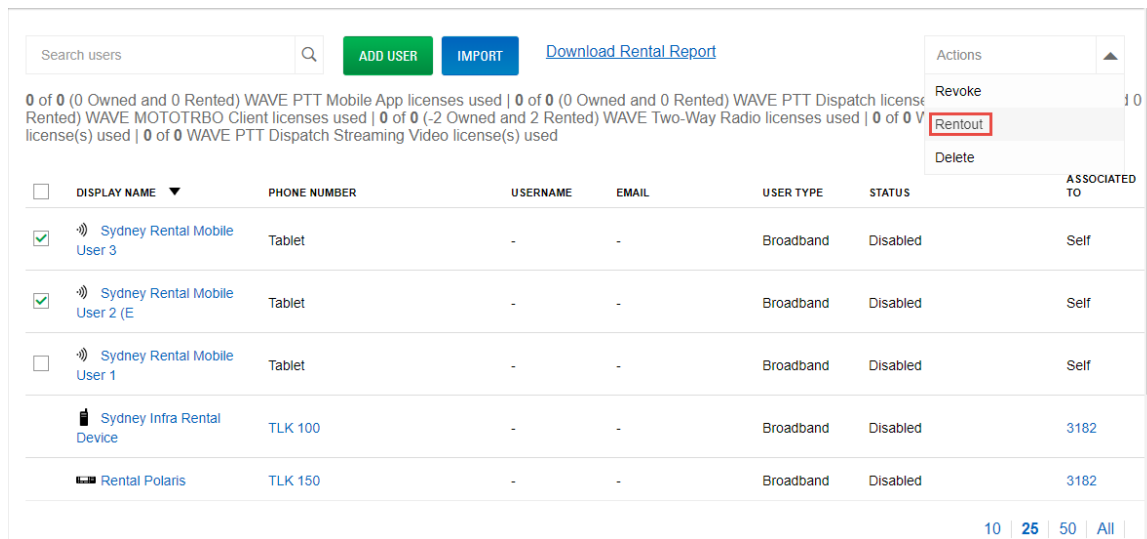
2. レンタル ディストリビュータは、ユーザーとデバイスを直接顧客にレンタルすることができます。次の手順は、ユーザーをレンタル パートナーまたはレンタル顧客にレンタルするためのものです。

**使用条件:** レンタル パートナーまたはレンタル顧客にユーザーとデバイスをレンタルするには、次の手順に従います。

**手順:**

1. [レンタル ディストリビュータ] のホーム ページで、[ユーザー] メニューを選択します。
2. レンタルするユーザーの横にあるチェックボックスをオンにします。

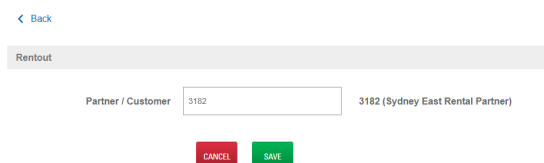
図 32: ユーザーおよび WAVE PTX デバイスをパートナーまたは顧客にレンタルする



The screenshot shows a user management interface. At the top, there is a search bar, 'ADD USER' and 'IMPORT' buttons, and a 'Download Rental Report' link. Below this, there is a summary of license usage: '0 of 0 (0 Owned and 0 Rented) WAVE PTT Mobile App licenses used | 0 of 0 (0 Owned and 0 Rented) WAVE PTT Dispatch license(s) used | 0 of 0 (0 Owned and 0 Rented) WAVE MOTOTRBO Client licenses used | 0 of 0 (-2 Owned and 2 Rented) WAVE Two-Way Radio licenses used | 0 of 0 WAVE PTT Dispatch Streaming Video license(s) used'. The main part of the interface is a table with columns: DISPLAY NAME, PHONE NUMBER, USERNAME, EMAIL, USER TYPE, STATUS, and ASSOCIATED TO. The table contains five rows of data. The first three rows are for 'Sydney Rental Mobile' users (User 3, User 2 (E), User 1) with 'Tablet' devices. The last two rows are for 'Sydney Infra Rental Device' (TLK 100) and 'Rental Polaris' (TLK 150). An 'Actions' dropdown menu is open over the first row, showing options: Revoke, Rentout (highlighted in red), and Delete. At the bottom right, there are pagination controls: 10 | 25 | 50 | All.

3. [アクション] ドロップダウンから [レンタル] を選択します。
4. 次のいずれかを実行します。

図 33: 顧客またはパートナー ID



The screenshot shows a 'Rentout' dialog box. At the top left, there is a '< Back' link. The dialog has a title bar 'Rentout'. Below the title bar, there is a 'Partner / Customer' label and a text input field containing '3182'. To the right of the input field, the text '3182 (Sydney East Rental Partner)' is displayed. At the bottom of the dialog, there are two buttons: 'CANCEL' (red) and 'SAVE' (green).

5. [保存] をクリックします。
  6. 表示されたメッセージで [OK] をクリックします。
- [次に関連付ける] 列には、ユーザーのレンタル先の ID が表示されます。

#### 4.13

## ユーザーまたは WAVE PTX デバイスのパートナーまたは顧客からの取り消し

ディストリビュータは、レンタル パートナーおよびレンタル顧客にレンタルされたユーザーおよび WAVE PTX デバイスを取り消すことができます。取り消すと、ディストリビュータに関連付けられたユーザーおよび WAVE PTX デバイスと [次に関連付ける] 列に [自己] と表示されます。

**使用条件:** パートナーまたは顧客からユーザーを取り消すには、次の手順に従います。

**手順:**

1. ディストリビュータのホーム ページで、[ユーザー] メニューを選択します。

**図 34: ユーザーまたは WAVE PTX デバイスのパートナーまたは顧客からの取り消し**

0 of 0 (0 Owned and 0 Rented) WAVE PTT Mobile App licenses used | 0 of 0 (0 Owned and 0 Rented) WAVE PTT Dispatch license(s) used | 0 of 0 (0 Owned and 0 Rented) WAVE MOTOTRBO Client licenses used | 0 of 0 (-2 Owned and 2 Rented) WAVE Two-Way Radio licenses used | 0 of 0 V license(s) used | 0 of 0 WAVE PTT Dispatch Streaming Video license(s) used

<input type="checkbox"/>	DISPLAY NAME ▼	PHONE NUMBER	USERNAME	EMAIL	USER TYPE	STATUS	ASSOCIATED TO
<input checked="" type="checkbox"/>	Sydney Rental Mobile User 3	Tablet	-	-	Broadband	Disabled	3182
<input checked="" type="checkbox"/>	Sydney Rental Mobile User 2 (E)	Tablet	-	-	Broadband	Disabled	3182
<input type="checkbox"/>	Sydney Rental Mobile User 1	Tablet	-	-	Broadband	Disabled	3182
<input type="checkbox"/>	Sydney Infra Rental Device	TLK 100	-	-	Broadband	Disabled	3182
<input type="checkbox"/>	Rental Polaris	TLK 150	-	-	Broadband	Disabled	3182

10 | 25 | 50 | All

2. 取り消すユーザーの横にあるチェックボックスをオンにします。

3. 表示されたメッセージで **[OK]** をクリックします。

WAVE PTX デバイスを取り消すには、WAVE PTX デバイス メニューのユーザーの場合と同じ手順に従います。

4. 注: レンタル ディストリビュータは、パートナー/顧客アカウントの [ユーザー] ページに移動して、ユーザーとデバイスを取り消すこともできます。

## 第 5 章

# ユーザーとグループの管理

ユーザーの追加、削除、アクティブ化、非アクティブ化、割り当て、および顧客とパートナーのグループの管理を行うことができます。管理者、無線機管理者またはプロビジョニングの役割を持つ従業員は、ポータルにユーザーを作成できます。

- 無線システム (LMR Interop) 機能は、Collaboration パッケージと SafeGuard パッケージの両方のお客様が使用できます。
- Collaboration パッケージを使用している顧客は、LMR Interop アドオン ライセンスを購入し、ユーザー ページで LMR Interop 機能を有効にする必要があります。
- LMR Interop 機能は、デフォルトで SafeGuard パッケージの一部です。
- SafeGuard パッケージにアップグレードするお客様は、LMR Interop アドオン ライセンスのみを購入する必要はありません。この機能はデフォルトで有効になっています。



## 注:

- 2019 年 10 月 1 日から 2021 年 6 月 30 日までに作成された LMR Interop 機能は、既存のユーザーにとってライフタイム フリーです。新規ユーザーの場合、LMR Interop をアドオンとして購入する必要があります。
- MOTOTRBO の顧客は、Collaboration にダウングレードするか、SafeGuard パッケージにアップグレードして LMR Interop 機能を使用する必要があり、前のセクションで説明したプロセスに従う必要があります。


## 5.1

## モバイル、タブレット、または WAVE PTX 管理コンソール ユーザーの追加

ユーザーを一度に 1 人ずつ手動で追加することも、.csv ドキュメントのインポートを使用して複数のユーザーを追加することもできます。

## 手順:

1. [顧客の詳細] ページで、[ユーザー] メニューをクリックします。
2. [ユーザーを追加] をクリックします。
3. [ユーザー タイプ] を選択します。
  - **モバイルまたはタブレット**  
モバイル デバイス (携帯電話接続と電話番号を使用) またはタブレット デバイス (Wi-Fi のみ) の標準ユーザーです。モバイル ユーザーまたはタブレット ユーザーは、任意のグループに割り当てることができます。
  - **WAVE PTX 管理コンソール**  
Web ブラウザ プラグインとしてインストールされている WAVE PTX 管理コンソール クライアントのユーザー用です。ディスパッチャは、管理コンソールまたはブロードキャスト タイプのグループにのみ割り当てることができます。
  - **MOTOTRBO クライアント**  
MOTOTRBO タイプのユーザーです。「[MOTOTRBO ユーザーの追加 ページ 55](#)」を参照
  - **ION**  
ION の追加

4. ユーザー ページのユーザー リスト ビューの上部に表示される、使用されているライセンス数と使用可能なライセンス数。
5. 次の情報を追加します。
  - a. 表示されたフィールドにユーザーの詳細を入力します。  
 **注:** 連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字! # ? および略語。
  - b. [PTT クライアント タイプ] ドロップダウンから、ユーザーのクライアント タイプを選択します。PTT 標準クロス キャリアまたは PTT 無線クロス キャリアを選択できます。  
 クロス キャリアは、デバイスで使用可能なデータ プランとインターネット データ接続を介して、別のキャリア上のユーザーに PTT サービスを提供する機能です。クロス キャリア PTT を使用すると、無線サービスを提供する複数のキャリアを持つ企業に PTT を販売できます。クロス キャリア ユーザーは、キャリア ユーザーと同じアプリケーションをダウンロードしてインストールします。
  - c. 非アクティブ化されたユーザーを作成する場合を除き、[アクティブ] チェックボックスをオンにしたままにします。非アクティブ化されたユーザーはサインインできませんが、いつでもアクティブ化できます。
  - d. ユーザーが電話番号のないデバイスを使用している場合は、**[タブレット ユーザーまたは Wi-Fi のみのデバイス]** を選択します。システムがアクティベーション コードを生成します。アクティベーション コードはこの電子メール アドレスに送信されます。
  - e. このユーザーにビデオ ストリーミングを実行させたい場合は、**[アドオン パッケージ]** を選択します。ユーザーはデバイスでビデオ ストリーミングを開始および受信できます。アドオン パッケージは、モバイル、タブレット、および WAVE PTX 管理コンソール ユーザーのみが使用できます。
  - f. ユーザーに LMR の相互運用性機能を持たせたい場合は、**[LMR Interop]** チェックボックスをオンにします。

## 5.2 MOTOTRBO ユーザーの追加

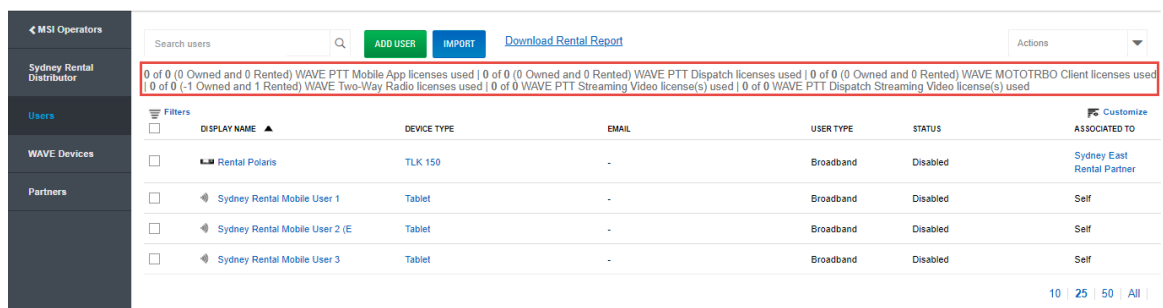
ユーザーを一度に 1 人ずつ手動で追加することも、.csv ドキュメントのインポートを使用して複数のユーザーを追加することもできます。

**使用条件:** MOTOTRBO ユーザーを手動で追加するには、次の手順に従ってください。

**手順:**


1. [顧客の詳細] ページで、[ユーザー] メニューをクリックします。
2. [ユーザーを追加] をクリックします。
3. ユーザー タイプとして [MOTOTRBO] を選択します。
4. ユーザーが使用中のライセンスと、使用可能なライセンスの数が上部に表示されます。

図 35: ユーザーを追加するために使用可能なライセンス



The screenshot shows the 'Users' management page. At the top, there is a summary of license usage: '0 of 0 (0 Owned and 0 Rented) WAVE PTT Mobile App licenses used | 0 of 0 (0 Owned and 0 Rented) WAVE PTT Dispatch licenses used | 0 of 0 (0 Owned and 0 Rented) WAVE MOTOTRBO Client licenses used | 0 of 0 (-1 Owned and 1 Rented) WAVE Two-Way Radio licenses used | 0 of 0 WAVE PTT Streaming Video license(s) used | 0 of 0 WAVE PTT Dispatch Streaming Video license(s) used'. Below this is a table with columns: DISPLAY NAME, DEVICE TYPE, EMAIL, USER TYPE, STATUS, and ASSOCIATED TO. The table lists four users: 'Rental Polaris' (TLK 150), 'Sydney Rental Mobile User 1' (Tablet), 'Sydney Rental Mobile User 2 (E)' (Tablet), and 'Sydney Rental Mobile User 3' (Tablet). All users have a status of 'Disabled'.

DISPLAY NAME	DEVICE TYPE	EMAIL	USER TYPE	STATUS	ASSOCIATED TO
Rental Polaris	TLK 150	-	Broadband	Disabled	Sydney East Rental Partner
Sydney Rental Mobile User 1	Tablet	-	Broadband	Disabled	Self
Sydney Rental Mobile User 2 (E)	Tablet	-	Broadband	Disabled	Self
Sydney Rental Mobile User 3	Tablet	-	Broadband	Disabled	Self

5. 次の情報を追加します。
  - a. **[表示名]** に、WAVE PTX クライアント デバイスの他の WAVE PTX ユーザーに表示されるユーザーの名前を入力します。  
 **注:** 連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字!#? および略語。
  - b. **[電話番号]** フィールドは無効です。アクティベーション コードは、サインインに対して 1 回生成されます。
  - c. 非アクティブ化されたユーザーを作成する場合を除き、**[アクティブ]** チェックボックスをオンにしたままにします。非アクティブ化されたユーザーはサインインできませんが、いつでもアクティブ化できます。
  - d. このユーザーが WAVE PTX ポータルにサインインできるようにするには、**[ポータル アクセスを許可]** を選択します。ユーザーは、独自のグループを作成し、それらのグループにユーザーを追加できます。ユーザーはユーザーを追加できますが、このユーザーが作成したものではないユーザーは削除できません。
  - e. MOTOTRBO ユーザーに LMR の相互運用性機能を持たせたい場合は、**[LMR Interop]** チェックボックスをオンにします (米国地域にのみ適用可能)。

**後行条件:** ユーザーには、アクティベーション コードを使用した特別なタイプのアクティベーションが必要です。アクティベーション コードを作成し、電子メールまたは口頭で伝える必要があります。ユーザーを生成またはアクティブ化するには、ユーザーに関連付けられているアクティベーション コード列のリンクをクリックします。表示されたメッセージで **[OK]** をクリックします。

### 5.3

## 連絡先の割り当て

**使用条件:** 連絡先を割り当てるには、次の手順に従います。

**手順:**

1. ユーザーに関連付けられている **[管理]** リンクをクリックして、**[Central Admin Tool]** (CAT) ページに移動します。
2. **[連絡先]** タブで、**[連絡先の割り当て]** ボタンをクリックします。
3. 該当するチェックボックスをオンにして、ユーザーの電話帳に割り当てる連絡先を選択します。ユーザーが選択できるのは、未割り当ての連絡先のみです。また、**[名前]** ヘッダーの前にある、**[すべて選択]** の機能を持つチェックボックスをオンにすると、複数の連絡先を選択できます。
4. **[割り当て]** ボタンをクリックします。割り当てられている連絡先が **[連絡先]** タブに表示されて、連絡先総数とその連絡先に応じて増えます。
5. 成功メッセージが表示されます。

### 5.4

## 連絡先の削除

**使用条件:** 連絡先を削除するには、次の手順を実行します。

**手順:**

1. ユーザーに関連付けられている **[管理]** リンクをクリックして、**[Central Admin Tool]** (CAT) ページに移動します。
2. 作業領域で、**[ツール]** アイコンをクリックします。
3. **[連絡先]** タブで、削除する連絡先に関連付けられているチェックボックスをオンにします。



4. パラメータを選択して連絡先を検索することもできます。
5. **[削除]** アイコンをクリックして、除去操作を実行します。ユーザーが正常に更新されたことを示す確認メッセージが表示されます。削除対象として選択した連絡先が **[連絡先]** タブから削除され、その結果、連絡先総数の数が減ります。

## 5.5

# 機能の承認

サブスクリプションごとに、ロケーション履歴、ジオフェンス、メッセージなど、選択した PTT ユーザーに対して特定の機能またはすべての機能を有効にできます。

また、テキスト、マルチメディア、ロケーションなど、メッセージの特定の機能またはすべての機能を有効にすることもできます。[PTT ユーザー] 画面の **[機能]** タブには、パッケージ、デバイス情報、メッセージ、ロケーション共有、自動位置公開制御、ジオフェンス、および緊急固有の情報が表示されます。[ヘルプ] アイコンにマウスを合わせると、ユーザーに割り当てられている各機能の詳細が表示されます。選択された PTT ユーザーの認可されたユーザーは、**[機能]** タブの下に、選択された PTT ユーザーに対して認可されたユーザーが実行できる操作を示す表形式で表示されます。

**[機能]** タブには、次の情報が表示されます。

### パッケージ

ユーザーに割り当てられたパッケージのタイプが表示されます。これらのパッケージには、使い古されたパッケージとアドオンパッケージが含まれます。

### デバイス情報

ユーザー デバイスの製造元、モデル、OS、およびアプリケーションに関連する情報を表示します。

### メッセージ

ユーザーのメッセージ機能を表示します。ユーザーのメッセージ機能は、以下のように設定できます。

### テキスト マルチメディア

次のいずれかの権限を付与できます。

- **[なし]** - メッセージング機能はありません。
- **[テキスト]** - テキスト メッセージのみ。
- **[テキストとマルチメディア]** - テキストとマルチメディア メッセージの両方。

### 位置情報の共有

メッセージ内でメンバーの位置情報機能を共有するための権限を提供できます。

### ジオフェンス

ユーザーのジオフェンス機能を有効にすることができます。

### 位置情報公開の自動制御

ユーザーの位置情報公開機能を有効/無効にできます。

### 緊急モード

管理者は、次の緊急構成を使用できます。設定されている場合、管理者は次の項目を設定できます。

- **緊急の開始を許可:** ドロップダウンから、**[はい]** または **[いいえ]** を選択して、ユーザーの緊急モードの発信をそれぞれ有効または無効にできます。**[はい]** を選択すると、次のオプションが表示されます。
  - **[宛先]** ドロップダウンから、**[ユーザー選択グループ]** または **[管理者選択連絡先またはグループ]** を選択できます。**[ユーザー選択グループ]** を選択すると、ユーザーは割り当てられたグループリストのいずれかに対して緊急モードを発信できます。**[管理者選択連絡先またはグループ]** を選択すると、**[プライマリ]** および **[セカンダリ]** の連絡先またはグループを緊急モード発信の宛先として選択できます。ドロップダウンから、ユーザーが緊急モードを発信するグループまたは連絡先を選択します。

- **通信の開始タイプ:** **[マニュアル]** または **[自動]** を選択できます。**[マニュアル]** を選択すると、緊急アラートがユーザーに送信され、PTT ボタンを押すと緊急通信が発信されます。**[自動]** を選択すると、緊急アラートが送信され、緊急通信が開始されます。
- **キャンセル:** ドロップダウンから **[はい]** または **[いいえ]** を選択できます。**[はい]** の場合、ユーザーは自分の緊急モード発信をキャンセルできます。**[いいえ]** を選択すると、開始した緊急モード発信をキャンセルできるのは承認済みユーザーだけです。
- **[特殊な通知] -** ドロップダウンから、次のいずれかを選択します。
  - **[なし (通常の通信通知):** 通常の通信の通知をユーザーに送信します。
  - **[受信した緊急通信用]:** 受信された緊急通信についてのみユーザーに通知します。
  - **[開始された緊急通信用]:** 発信された緊急通信についてのみユーザーに通知します。
  - **[両方の場合]:** 発信された緊急通信と受信された緊急通信の両方について、ユーザーに通知します。

### グループ ステアリング

ドロップダウンから、**[はい]** または **[いいえ]** を選択します。**[はい]** を選択すると、ユーザーは自動的に緊急通信に参加します。**[いいえ]** を選択した場合、ユーザーは緊急通信に自動的に参加しません。

### ストリーミング ビデオ

個々のユーザーのライブ ビデオ ストリーミング セッション機能を有効または無効にすることができます。この機能を有効にすると、ユーザーは一方向の音声付きライブ ビデオを別のユーザーにストリーミングすることができます。ビデオ ストリーミング プルのタイプを確認するか (受信者からの確認後にビデオ ストリーミングを開始する)、未承認にするか (ビデオ ストリーミングの確認は不要) を設定できます。ストリーミング ビデオを設定するには、次のオプションを選択します。

- **ビデオ:** 選択したユーザーが個別、グループ、およびクイック グループ ビデオ ストリーミングを送受信できるように、ビデオ ストリーミングを有効または無効にできます。ビデオ ストリーミングを有効または無効にします。
- **承認済みのプルの開始:** **[はい]** を選択した場合、ユーザーはデバイスでビデオ ストリーミングを開始するために、許可されたユーザーから受信した要求を受け入れる必要があります。**[いいえ]** を選択すると、承諾なしでユーザーのデバイスでビデオ ストリーミングが開始されます。
- **グループ ビデオの受信:** **[はい]** を選択すると、ユーザーはグループ ビデオ ストリーミングを受信できます。**[いいえ]** を選択した場合、ユーザーはユーザーが割り当てたグループ リストからグループ ビデオ ストリーミングを受信できませんが、個別のビデオ ストリーミングは受信できます。

## 5.6

# ユーザーへの機能の許可

ユーザーの編集画面から、リモート監視、周辺音モニタ、および通信モニタを単一または複数のメンバーに承認できます。

**使用条件:** 個々または複数のメンバーを承認するには、次の手順を実行します。

#### 手順:

1. **[ユーザー]** 作業領域で、ユーザーに関連付けられている **[管理]** リンクをクリックします。
2. **[承認されたユーザー]** チェックボックスがオンになっていることを確認します。
3. **[ユーザー]** 作業領域で、**[連絡先]** タブの下の **[ツール]** アイコンをクリックします。
4. 機能を有効にするユーザー セットの単一または複数のメンバーを選択します。
5. **[リモート監視]** アイコンをクリックします。**[構成を選択]** ブロックが開きます。
6. 次のオプションから選択します。
  - **リモート監視の変更**
  - **周辺音モニタの変更**

- **通信モニタの変更**
7. 次のいずれかをクリックします。
    - **[許可]** で機能を承認します。
    - **[許可しない]** で承認機能を削除します。
  8. 選択したら、次のいずれかを実行します。
    - **[適用]** をクリックして変更を保存します。
    - **[キャンセル]** をクリックしてアクションをキャンセルします。
  9. 確認メッセージ「選択した連絡先のリモート監視、周辺音モニタ、通信モニタ、未承認のプル（リモート）を更新しようとしています。よろしいですか?」が表示されます。
    - **[OK]** をクリックして、次に進んでください。
    - **[キャンセル]** をクリックしてアクションをキャンセルします。

 **注:**

- ディスパッチャのリモート監視、周辺音モニタ、通信モニタはアクティブ化できません。承認にディスパッチャを選択すると、エラーメッセージが表示されます。
- フィーチャーフォンを使用する PTT ユーザーは、Central Admin Tool から割り当てられている場合でも、承認済みユーザーとして機能しない場合があります。

## 5.7

# ユーザーへの連絡先の追加

WAVE PTX OnCloud の連絡先は、ブロードバンド ユーザー専用です。無線サブスライバは現在、個別通信に対して有効になっていません。連絡先の目的は、ブロードバンド ユーザー間の個別通信を許可することです。ブロードバンド ユーザーに追加した連絡先は、WAVE Mobile Communicator または WAVE Web Communicator クライアントの連絡先またはアドレスブックリストに表示されます。

**使用条件:** 連絡先をユーザーに追加するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. メインメニューで **[ユーザー]** をクリックします。[ユーザー] ページが開きます。
2. 連絡先を追加するユーザーの名前をクリックします。
3. **[連絡先]** セクションで、このユーザーに追加する連絡先を選択し、**[保存]** ボタンをクリックします。

図 36: ユーザーに連絡先を追加する



選択した連絡先がユーザーに追加されます。選択されていない連絡先は削除されます

## 5.8

## アクティベーションコード

モバイルユーザーとタブレットユーザーには、アクティベーションコードを使用した特別なタイプのアクティベーションが必要です。管理者は、アクティベーションコードを作成し、電子メールまたは口頭で伝える必要があります。ユーザーを生成またはアクティブ化するには、ユーザーに関連付けられているアクティベーションコード列のリンクをクリックします。表示されたメッセージで **[OK]** をクリックします。

## 5.9

## タブレットユーザーのアクティブ化

「タブレット」とマークされたユーザーは、電話番号のないデバイスでも WAVE に接続できるように設計されています。新しい WAVE PTX クライアントを使用してログインすると、「タブレット」ユーザーはアクティベーションコードの入力を求められます。管理者は、いつでもコードを生成できます。コードは、新しいタブレットユーザーが初めてサインインするときに必要になります。ただし、新しいコードを生成すると、前のコードは無効になり、次のサインインで新しいコードの入力を求められます。個々のユーザーのアクティベーションコードを生成することも、複数のユーザーのアクティベーションコードを一度に生成することもできます。



**注:**ほとんどのユーザーは、簡単に操作できるように電話番号を使用します。WAVE PTX システムで電話番号を持つユーザーは、アクティベーションコードを必要とせず、クライアントを使用してサインインする方が簡単です。可能な限り電話番号を使用し、デバイスに携帯電話でのアクセスがない場合にのみタブレットユーザーを作成してください。

### 手順:

1. 左側のフレームで **[ユーザー]** をクリックします。[ユーザー] ページが開きます。
2. アクティベーションコードを生成するには、次のいずれかを実行します。
  - 目的のユーザーの [アクティベーションコード] 列で、**[生成]** をクリックします。
  - ユーザーの横にあるチェックボックスをオンにし、**[アクション]** ドロップダウンから **[アクティブ化コードの生成]** を選択します。生成されたコードが表示されます。

図 37: アクティベーションコードの生成

<input type="checkbox"/>	DISPLAY NAME ▲	PHONE NUMBER	ACTIVATION CODE	USERNAME	CUSTOMER ADMIN EMAIL	USER TYPE	STATUS	TALKGROUPS
			Generate					

3. ユーザーが電子メール アドレスを持っている場合、アクティベーションコードは自動的に電子メールで送信されます。ユーザーが電子メール アドレスを持っていない場合は、コードを手動で送信します。
4. 表示される確認メッセージで **[OK]** をクリックして、[ユーザー] ページに戻ります。

## 5.10

## ユーザーの削除

ユーザーは手動で削除する必要があります。CSV ファイルをインポートしてユーザーを削除することはできません。ユーザーを個別に選択することも、[表示名] の横にあるチェックボックスを使用してすべてのユーザーを選択することもできます。いったん削除すると、ユーザーを復元することはできません。手動で入力するか、CSV ファイルを使用してインポートする必要があります。削除すると、WAVE PTX ユーザーはただちに WAVE PTX クライアントからサインアウトされます。アカウントを再度アクティブ化するまで、サインインすることはできません。

**使用条件:** 選択したユーザーを削除するには、次の手順に従います。

**手順:**


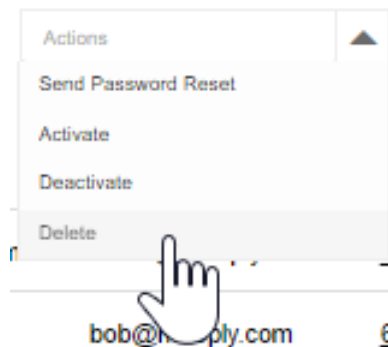
1. **[ユーザー]** ボタンをクリックします。**[ユーザー]** ページが表示され、使用可能なユーザー (存在する場合) のリストが表示されます。  
 **注:** デフォルトでは、最初の 25 人のユーザーがページに表示されます。より多くのユーザーに対する操作が必要な場合は、ページの右下隅に表示されているユーザー数を変更します。選択した操作は、ページに表示されるユーザーにのみ影響します。
2. ユーザーの左の列で、チェックボックスをオンにして、削除するユーザーを選択します。ページに表示されているどのユーザーでも選択できます。表示されているすべてのユーザーを選択するには、**[表示名]** の横にあるチェックボックスをオンにします。
3. 1 人または複数のユーザーを選択すると、ページの上部に **[アクション]** メニューが表示されます。

図 38: ユーザーの削除



4. **[アクション]** メニューの **[削除]** をクリックします。「選択したユーザーを削除してもよろしいですか?」という削除の確認メッセージが表示されます。
5. **[OK]** ボタンをクリックして削除を確定します。

## 5.11

# ユーザーのパッケージまたはティアの変更

顧客は、ユーザーがサブスクライブしたパッケージを変更できます。パッケージを変更するための十分なライセンスがあることを確認してください。

**手順:**

1. **[ユーザー]** 作業領域で、パッケージを変更するユーザーの横にあるチェックボックスをオンにします。
2. ユーザーの横にあるチェックボックスをオンにして、**[アクション]** ドロップダウンをクリックします。
3. 次のいずれかを実行します。
  - SafeGuard パッケージを購入していて、Collaboration にダウングレードする場合は、**[Collaborationに変更]** を選択します。
  - Collaboration パッケージを購入していて、SafeGuard にダウングレードする場合は、**[SafeGuardに変更]** を選択します。
4. 確認メッセージが表示されます。
  - **[OK]** をクリックして、変更を確認します。
  - **[キャンセル]** をクリックしてアクションをキャンセルします。

## 5.12


## ユーザー パスワードの再設定

パスワードをリセットするためのリンクが記載されたパスワード再設定メールがユーザーに送信されます。リセット ページを開いたとき、既存のパスワードを検証する必要はなく、新しいパスワードを入力して確認し、リセット ボタンをクリックするだけです。

1 人以上のユーザーのパスワードをリセットすることが必要な場合は、WAVE PTX ポータルでそのユーザーにパスワードリセット コマンドを送信できます。登録した電子メール アカウントに電子メールが送信されます。1 件または複数のアカウントに電子メール アドレスが設定されていない場合、エラー メッセージが表示されます。

**使用条件:** パスワード リセットを送信するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. メインメニューで **[ユーザー]** をクリックします。[ユーザー] ページが表示され、使用可能なユーザー (存在する場合) のリストが表示されます。  
 **注:** デフォルトでは、最初の 25 人のユーザーがページに表示されます。より多くのユーザーに対する操作が必要な場合は、ページの右下隅に表示するユーザー数を選択します。選択した操作は、ページに表示されるユーザーにのみ影響します。
2. [ユーザー] の横にある左列で、チェックボックスをオンにして、パスワード リセットを送信するユーザーを選択します。ページに表示されているどのユーザーでも選択できます。表示されているすべてのユーザーを選択するには、[表示名] の横にあるチェックボックスをオンにします。
3. 1 人または複数のユーザーを選択すると、ページの上部に [アクション] メニューが表示されます。
4. [アクション] メニューの **[パスワードのリセットを送信]** をクリックします。
5. **[OK]** ボタンをクリックして続行します。パスワード再設定メールが送信されます。

## 5.13

## ユーザー CSV ファイルのアップロード

**使用条件:** ユーザー CSV ファイルをアップロードするには、次の手順に従います。

**手順:**

1. **[インポート]** ボタンをクリックします
2. **[ファイルの選択]** をクリックし、Excel テンプレートから保存した CSV ファイルを参照します。
3. **[アップロード]** ボタンをクリックします。
4. インポート完了の結果を確認して、インポートのステータスを確認します。
5. **[完了]** ボタンをクリックして、インポートを完了します。


## 5.14

## CSV ファイルを使用してユーザーをアップロードする

WAVE PTX ポータルのインポート機能を使用すると、ユーザーの .CSV ファイルを顧客にアップロードできます。インポートはいつでも実行できますが、ユーザーが重複した場合には追加されず、エラーとしてカウントされます。

一般には、ユーザーの CSV ファイルをダウンロードし、スプレッドシート アプリケーションで編集して追加するユーザーを含め、カンマ区切り CSV ファイルとして保存してから、ファイルをアップロードする必要があります。

あります。Excel 形式で保存した CSV ファイルがすでにある場合は、そのファイルを編集して新しいユーザーを含めることができます。既存のユーザーは無視され、複製されません。

 **重要:** 顧客のユーザーを維持するために同じ CSV ファイルを使用する場合は、Excel 形式でファイルを管理します。ファイルをインポートする準備ができたなら、CSV ファイルとして保存します。XLS ファイルも後で編集できるように保存しておきます。ユーザーは CSV ファイルをアップロードして追加できますが、CSV ファイルをアップロードしてユーザーを削除することはできません。リストからユーザーを削除しても、そのユーザーは顧客から削除されません。ユーザーを削除するには、ユーザーを手動で削除する必要があります。

手順:

1. **[ユーザー]** ボタンをクリックします
2. **[インポート]** ボタンをクリックします。
3. **[CSV テンプレート]** をクリックします。これで、CSV テンプレートがブラウザのダウンロード フォルダに追加されました。ファイルをインポートする前に、ファイルを開き、適切なユーザー データを追加して変更します。

5.15

## スプレッドシートの修正

**使用条件:** スプレッドシートを修正するには、次の手順に従います。

手順:

1. CSV テンプレート ファイルを開き、必要な情報を追加します。
2. [表示名] に WAVE クライアント デバイスの他の WAVE ユーザーに表示されるユーザーの名前を入力します。  
連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字! # ? および略語。
3. [電話] にユーザーの電話番号を入力します。
4. [電子メール] にユーザーの電子メールを入力します。
5. ファイルをカンマ区切りの .csv ファイルとして保存します。

5.16

## グループを管理する

グループは顧客に関連付けられており、顧客間で共有することはできません。既存のグループにマウスを合わせると、グループはそのグループに割り当てられている既存のユーザーが表示されるように変更されます。さらに、各グループの右上隅に 3 つのアイコンが表示されます。グループは、WAVE ユーザーとサブクライアント (無線機ユーザー) の個々の集まりを表します。ユーザーがグループ経由でテキスト メッセージを送信すると、そのグループにサインインしている他のすべてのユーザーが音声送信またはテキスト メッセージを受信します。マップもグループ固有であり、選択したグループのユーザーのみが表示されます。

グループは、WAVE ユーザー、無線システム、またはその両方に割り当てることができます。グループはライセンスを消費しません。WAVE ユーザーは 16 を超えるグループに割り当てることができますが、WAVE ブロードバンド クライアントが同時にアクティブ化できるのは最大 16 のグループです。ブロードバンド ユーザーは、どのグループがクライアントでアクティブまたは非アクティブになっているかを判断できます。次のタイプのグループを作成できます。

オペレータ ユーザーは、顧客に許可される大規模グループの数を設定できます。オペレータ ユーザーが大規模グループの数を設定する場合は、顧客が SafeGuard パッケージ (Command) に入っていることを確認します。



**注:** 顧客ごとに許可される大規模グループの最大数は、サーバーの容量によって異なります。

### 標準グループ

標準グループは、任意のタイプのグループで使用でき、1 名以上のスーパーバイザーを割り当てることができます。少なくとも 2 人のメンバーが必要です。

ユーザーは、最大 3000 人のメンバーを持つ大規模な (標準のみの) グループを作成することもできます。地域に基づく大規模グループは、限られた数だけ作成できます。大規模なグループを作成するには、顧客が SafeGuard パッケージを購入している必要があり、大規模なグループ機能をアカウントレベルで有効にする必要があります。詳細については、wavesupport@motorolasolutions.com までお問い合わせください。

### 管理コンソールグループ

管理コンソールグループは、標準グループにディスパッチャを割り当てる機能を追加したグループです。グループのメンバーは、フリーメンバーと呼ばれます。ディスパッチ ユーザーを含む、少なくとも 2 人のメンバーが必要です。グループを使用するには、ディスパッチャを割り当てる必要があります。

### ブロードキャストグループ

ブロードキャストグループは、グループのブロードキャストからメンバーへの通信が一方である特殊なタイプのグループです。ブロードキャストを含む、少なくとも 2 人のメンバーが必要です。ブロードキャストグループには、ブロードキャストを含む最大 500 人のメンバーを含められます。これらのタイプのグループにより、ブロードキャストは一般的に重要な通知に使用される優先度の高い通信を行えます。

## 5.16.1

# グループの作成

**使用条件:** グループを作成するには、次の手順を実行します。

**手順:**

1. パートナーまたはパートナー従業員の場合は、編集する顧客の名前をクリックします。顧客従業員である場合は、すでに [顧客] 画面が表示されています。
2. [グループ] をクリックします。[グループ] 画面が開きます。
3. 大きなプラスのアイコンをクリックして、グループを作成します。
4. [グループ名] に新しいグループの名前を入力します。



**注:** 連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字!#? および略語。

5. グループを作成するには、グループのタイプを選択できます。次のいずれかのグループタイプを選択します。

- 標準グループ
- 管理コンソールグループ
- ブロードキャストグループ

グループタイプについては、「[グループを管理する ページ 63](#)」を参照してください。

6. オプション: [大規模グループ] を作成する権限がある場合は、[グループの編集] 画面で [大規模グループ] チェックボックスをオンにして、大規模グループを作成します。
7. ブロードバンドのみのグループの場合は、[無線システムを選択] リストで [なし] を選択したままにします。無線システムと統合するグループを作成する場合は、既存の無線システムを選択します。無線システムを追加または削除する必要がある場合は、後でグループを編集できます。



- 完了したら、**緑色のチェック** アイコンをクリックします。

**結果:** 新しいグループがページに表示されます。

### 5.16.2

## グループのインポート

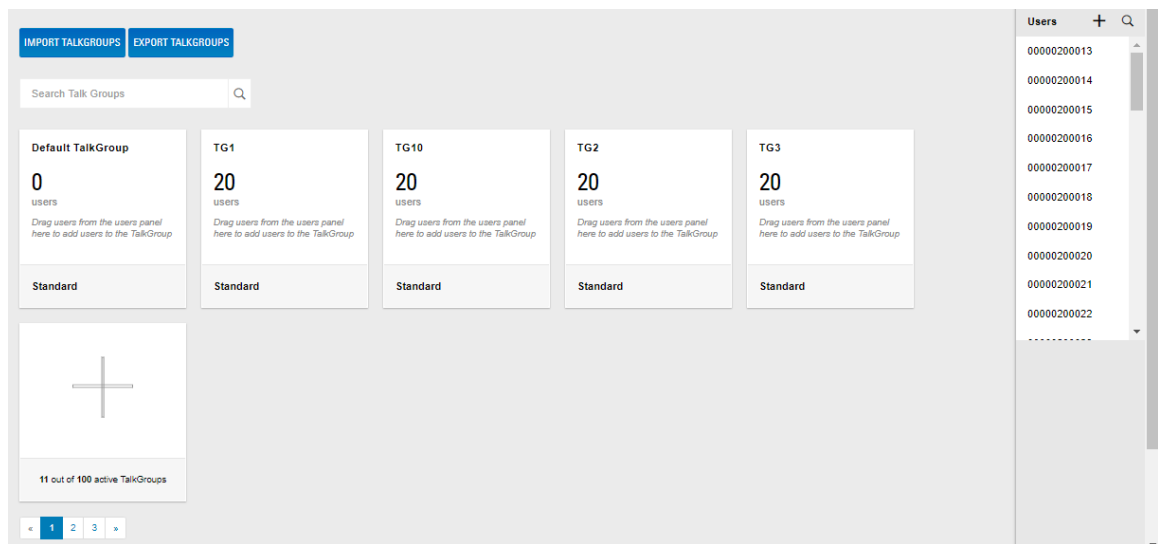
グループのすべての詳細を含む Excel シートを用意しておけば、それからグループをインポートできます。**[グループをインポート]** ウィンドウで使用可能なテンプレートに従って、Excel シートに詳細を入力する必要があります。レンタル顧客では、グループのポジショニングに最大 96 チャンネルがサポートされます。

**使用条件:** グループをインポートするには、次の手順に従います。

**手順:**

- [カスタマー]** ポータルから **[グループ]** メニューを選択します。

図 39: グループのインポート



- [グループのインポート]** をクリックします。**[インポート]** ウィンドウが表示されます。
- [CSV テンプレート]** をクリックして、CSV テンプレートをダウンロードします。
- ローカルで設定したダウンロード フォルダにダウンロードした Excel シートに、詳細を入力します。
- [インポート]** ウィンドウで **[ファイルの選択]** をクリックします。
- [アップロード]** をクリックしてグループをインポートします。

### 5.16.3

## グループのエクスポート

グループのエクスポートを使用すると、ある顧客の構成をエクスポートして、別の顧客用に構成済みファイルとしてインポートできます。

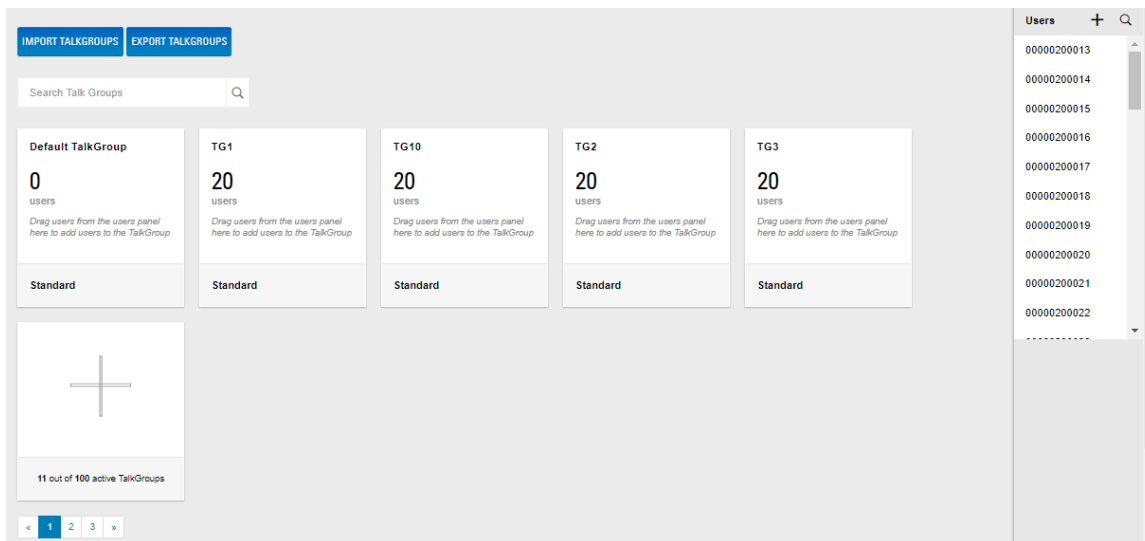
**使用条件:** グループをエクスポートするには、次の手順に従います。

**手順:**

- [カスタマー]** ポータルから **[グループ]** メニューを選択します。
- [グループをエクスポート]** ボタンをクリックします。**[グループをエクスポート]** ウィンドウが表示されます。

3. **[エクスポート]** ボタンをクリックして、ファイルをエクスポートします。

図 40: グループをエクスポート



4. ダウンロードが完了したら、他の顧客用に IMEI とシリアル番号を編集します。

#### 5.16.4

### 1 名のユーザーをグループから削除する

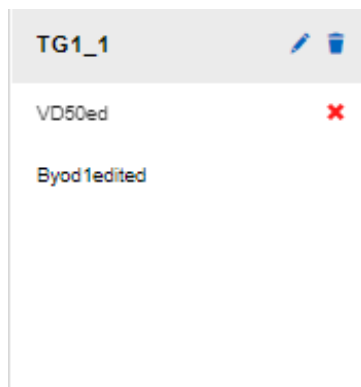
ユーザーはいつでもグループから削除できます。削除しても、ユーザーが WAVE からサインアウトされることはありません。クライアントからグループが削除され、そのグループからの音声がかつて終了します。ユーザーがグループを 1 つしか持っていない場合、ポータルはそのクライアントに使用可能なグループがないことを表示し、ユーザーはサインインしたままになります。グループから削除された無線機サブスライバは、他の無線機ユニットとの通信の送受信を継続しますが、ブロードバンドクライアントとの通信の送受信はできません。

**使用条件:** グループから一度に 1 名だけユーザーを削除するには、次の手順を実行します。

**手順:**

1. **[グループ]** をクリックします。
2. **[グループ]** 画面で、既存のグループの上にマウスを置きます。グループが変更され、グループに割り当てられている現在のすべてのユーザーが表示されます。

図 41: グループから 1 名のユーザーを削除する



3. グループからそのユーザーを削除するには、ユーザーの横にある**赤色のチェック**をクリックします。  
「このユーザーを削除してもよろしいですか?」という削除の確認メッセージが表示されます。
4. **[OK]** ボタンをクリックして削除を確定します。

### 5.16.5

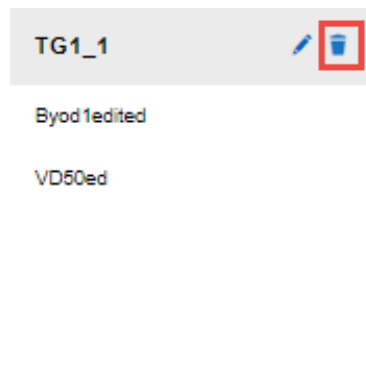
## グループから複数のメンバーを削除する

**使用条件:** 複数のユーザーをグループから削除するには、次の手順に従います。

**手順:**

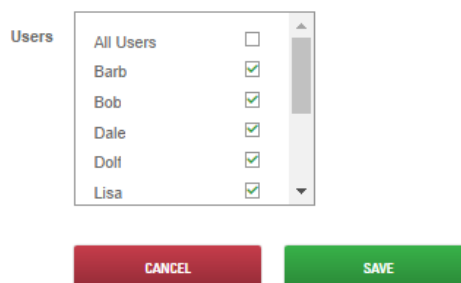
1. **[グループ]** をクリックします。
2. **[グループ]** 画面で、既存のグループの上にマウスを置き、**[編集]** アイコンをクリックします。グループの編集ページが開きます。

図 42: グループから複数のユーザーを削除する



3. **[ユーザー]** リストには、この顧客の利用可能なすべてのユーザーが表示されます。選択したユーザーはすでにグループのメンバーです。ユーザーを削除するにはチェックボックスをオフにし、追加するにはチェックボックスをオンにします。

図 43: 削除するユーザーを選択します



4. 完了したら、**[保存]** ボタンをクリックします。


### 5.16.6

## グループの削除

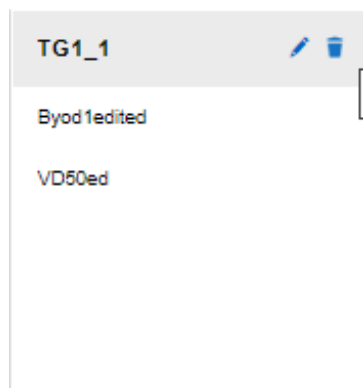
グループを削除すると、すべての WAVE PTX クライアントからグループが削除されます。グループが無線システムに関連付けられている場合、無線サブスライバは通常どおり機能し続けますが、ブロードバンドクライアントを使用するすべての音声は、グループの削除に伴い終了します。グループは通常、数分以内に WAVE PTX クライアントから削除されます。

**使用条件:** グループを削除するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. パートナーまたはパートナー従業員の場合は、**[顧客]** をクリックしてから、編集する顧客の名前をクリックします。  
 **注:** 従業員としてサインインしている場合は、すでに **[顧客]** 画面に表示されています。次の手順に進みます。
2. **[グループ]** をクリックします。[グループ] 画面が開きます。
3. 削除するグループにマウスを合わせて、**[削除]** アイコンをクリックします。「このグループを削除してもよろしいですか?」という削除の確認メッセージが表示されます。

**図 44: グループの削除**



4. **[OK]** ボタンをクリックして削除を確定します。  
 グループは削除され、[グループ] ページからも削除されます。

## 5.17

# ユーザーをグループに関連付ける

グループの関連付けを使用すると、グループをユーザーに割り当てることができます。このドキュメントの [グループの作成 ページ 64](#) セクションに基づいてグループを作成したことを確認してください。

**使用条件:** ユーザーをグループに関連付けるには、次の手順に従います。

**手順:**

1. グループ画面で、グループの上にカーソルを置き、**[編集]** アイコンをクリックします。
2. グループの編集ページで **[ユーザーを追加]** アイコンをクリックします。[ユーザーの管理] スライダーが開きます。
3. ユーザー名の横にあるチェックボックスをオンにします。
4. **[割り当て]** をクリックします。
5. **[保存]** をクリックして、グループを追加します。  
 グループ内のユーザー数が更新され、合計数が表示されます。

## 5.18

# 連絡先と機能の管理

モバイル、タブレット、WAVE PTX デバイス、および管理コンソール ユーザーの連絡先と機能を管理できます。ユーザーに関連付けられている **[管理 >]** リンクをクリックして、**[Central Admin Tool] (CAT)** ページに移動

します。また、ユーザーの名前をクリックし、**[連絡先と機能の管理]** リンクをクリックして、ユーザー プロファイルの [Central Admin Tool] に移動することもできます。[Central Admin Tool] から、ユーザーの詳細の編集、連絡先の割り当て、および機能の有効化または無効化を行うことができます。

## 第 6 章

# WAVE PTX デバイスの管理

このセクションでは、個々の WAVE PTX デバイスを追加する手順について説明します。WAVE PTX デバイスは、一度に 1 台ずつ追加することも、スプレッドシートを使用して WAVE PTX に追加することもできます。追加する WAVE デバイスが多数ある場合は、スプレッドシートを使用する方法をお勧めします。

WAVE PTX デバイスを登録するには、[WAVE PTX デバイスの追加 ページ 87](#) を参照してください

## 6.1

### WAVE PTX デバイスの顧客向け説明書

WAVE PTX デバイスは、Motorola Solutions が WAVE PTX と統合するように設計した携帯型マルチコネクタデバイスです。Wi-Fi または携帯電話を介して接続し、利用可能な接続に応じてそれらを切り替えることができます。WAVE デバイスは無線ユニットではありませんが、同じフォームファクタと耐久性を備えており、プッシュアウトーク インタフェースと最小限のディスプレイ システムで簡単に使用できるようになっています。WAVE PTX を使用すると、WAVE PTX デバイスのユーザーは、他のブロードバンドおよび無線機ユニットとのグループ通信および個別通信に参加できます

#### WAVE PTX デバイスのポート

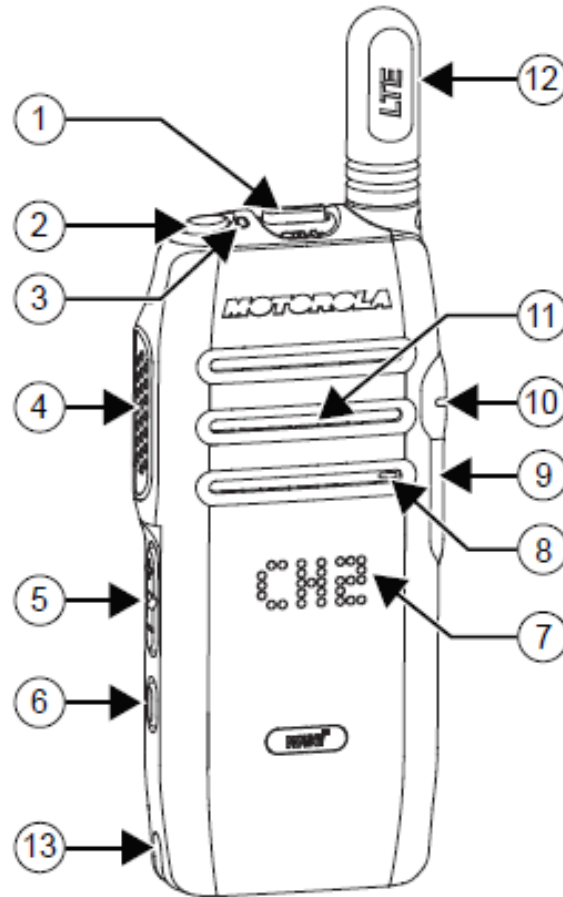
この情報は、企業ネットワーク接続を管理する IT 管理者に提供されます。WAVE PTX デバイスは、以下のポートを使用して必要な外部サービスに接続します。これらのポートからの送受信トラフィックに対してファイアウォールが開いていることを確認します。

- TCP 443 – 複数のサーバー (音声、ストレージなど) との TLS 通信
- UDP 123 - ネットワーク タイム プロトコル
- TCP 8883 – デバイス管理 (AWS)
- TCP 7275 – SUPL (サプリメント ロケーション サービス)
- TCP 7276 – SUPL (サプリメント ロケーション サービス)
- TCP 53 – DNS
- UDP 53 – DNS
- UDP 67 – BOOTPS (DHCP)

6.2

## WAVE PTX デバイスの使用

図 45: TLK デバイス



1. グループ/連絡先リスト スクロール ロッカー
2. オン/オフ/情報ボタン
3. LED ステータス インジケータ
4. プッシュトゥートーク (PTT) ボタン
5. 音量ボタン
6. メニュー/連絡先リストボタン
7. LED ディスプレイ
8. マイク
9. USB ポート
10. オーディオ アクセサリ ポート
11. 高出力スピーカ
12. LTE アンテナ
13. 充電端子

### 6.2.1

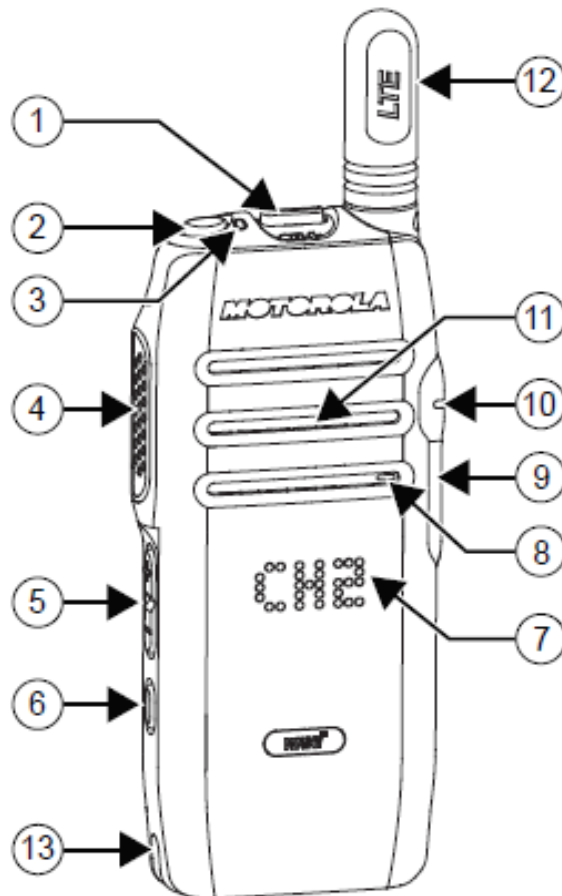
## 無線機の電源のオン

オン/オフ/情報ボタン (ボタン 2) を短く押します。正常な場合には緑色の LED が点灯し、ディスプレイに電源オンのアニメーションが表示されます。



注: 無線機の充電中に無線機を起動するには、オン/オフ/情報ボタンを長押しします。

図 46: TLK100



### 6.2.2

## Wi-Fi の構成

使用条件: デバイスで Wi-Fi を構成するには、次の手順に従います。

手順:

1. WOC ポータルから、Wi-Fi を構成するデバイスを選択します。
2. [アクション] ドロップダウンから **[Wi-Fi ネットワークの管理]** を選択します。
3. Wi-Fi ネットワークの構成の詳細を入力します。



図 47: Wi-Fi の構成

PRIORITY	TYPE	SSID		
1	PSK	M-Guest	Delete	Edit
2	PSK	Jey	Delete	Edit
3	PSK	BLR_ISTEER	Delete	Edit

4. デバイスの電源を切ります。
5. PTT ボタンを押しながら電源ボタンとチャンネル ダウン ロッカー ボタンを押して、[構成モード]に入ります。
6. USB ケーブルを使用してデバイスをラップトップまたは PC に接続します。
7. [Wi-Fi] 接続をクリックし、デバイスの Wi-Fi に接続します。
8. デバイスのシリアル番号の最後の 8 桁をパスワードとして入力します。
9. ブラウザを開き、URL として「http://192.168.100.1/」を入力します
10. [Wi-Fi アクセス ポイントに接続] をクリックします。
11. 構成の詳細を確認し、[送信] をクリックします。

図 48: 構成された Wi-Fi の確認

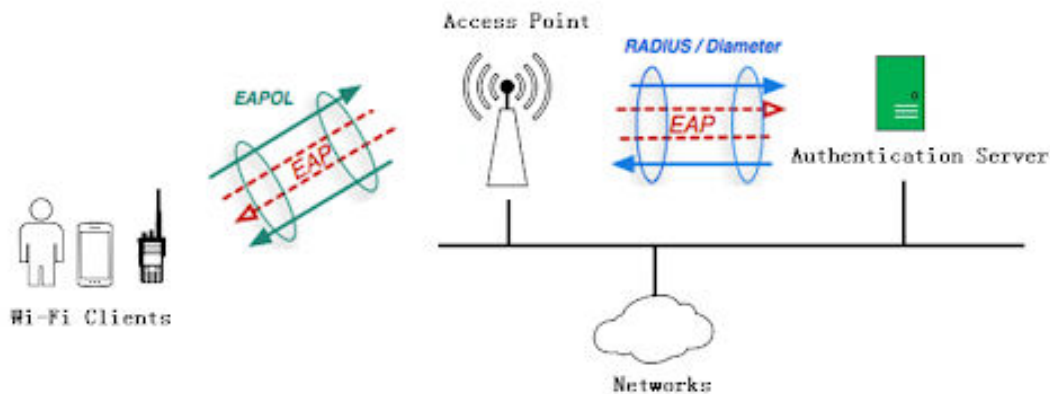
12. 表示されたメッセージで [OK] をクリックします。
13. デバイスを再起動し、電源ボタンを 3 回タップして Wi-Fi 接続を表示します。

### 6.2.3

## Enterprise Wi-Fi の構成

Enterprise Wi-Fi を有効にすると、WPA/WPA2-Enterprise/802.1x プロトコルに基づいて、より安全な Wi-Fi アクセスが可能になります。これにより、TLK 無線を WPA-エンタープライズ ベースのアクセスを必要とする Wi-Fi ネットワーク上に導入できます。WPA-エンタープライズ ネットワークでは、Wi-Fi との接続中に RADIUS サーバーによる認証が必要です。

図 49: WPA - エンタープライズ ネットワーク認証



TLK デバイスでサポートされる認証方式は次のとおりです。

- PEAP-MSCHAPv2 (WPA/WPA2)
- EAP-TLS (WPA/WPA2)
- EAP-TTLS-MSCHAPv2 (WPA/WPA2)

### 6.2.3.1

## 証明書管理

EAP-TLS 認証では、証明書ベースの認証が使用されます。

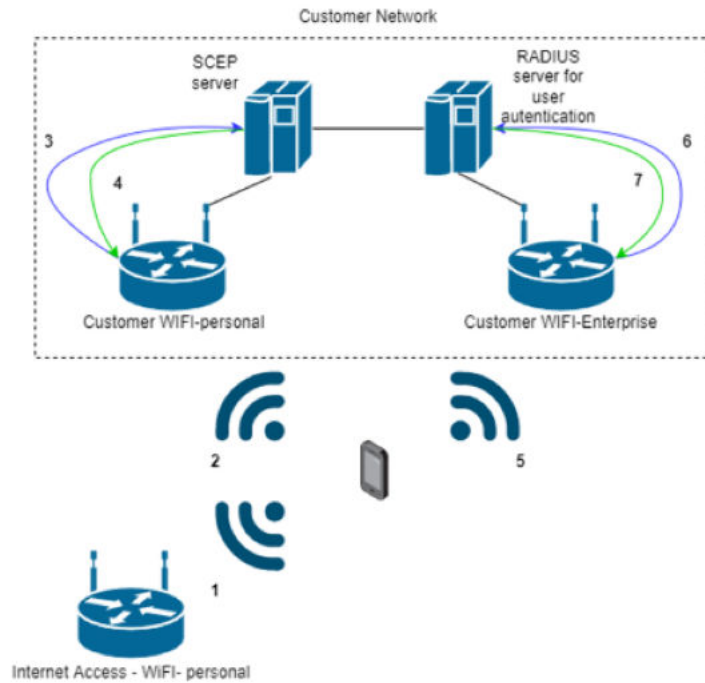
この Wi-Fi 構成では、証明書の登録、更新、役割オーバーを処理するために、SCEP (Simple Certificate Enrollment Protocol) に基づく証明書管理サーバーが必要です。無線は、失効する前に証明書を自動的に更新します。SCEP サーバーでセットアップされた構成は、ポータル Enterprise Wi-Fi パラメータを構成するために使用されます。

このタイプの認証では、セキュアなネットワーク環境での Enterprise Wi-Fi で、デバイスの初回オンボーディングを行う必要があります。

## エンタープライズ Wi-Fi フロー – SCEP 登録

DM ポータル構成を同期するために、インターネットにアクセスできる Wi-Fi に接続します。

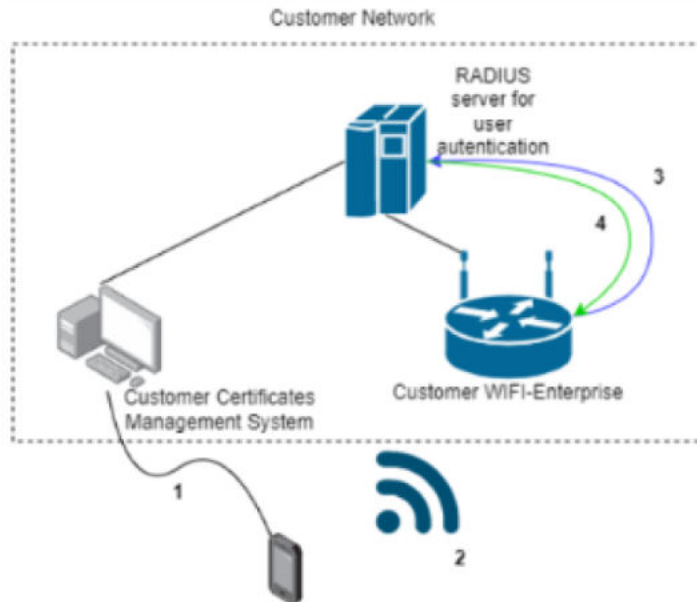
図 50: エンタープライズ Wi-Fi フロー – SCEP 登録



1. TLK デバイスは、顧客の WiFi\_Personal (SSID とパスワード) を介してカスタマー ネットワークに接続します。
2. このデバイスで SCEP サーバーから証明書の登録が開始されます。
3. SCEP サーバーがサーバー証明書とクライアント証明書をデバイスに返し、デバイスに保存します。
4. デバイスが顧客の Wi-Fi 企業ネットワークに切り替わります。
5. 以前に登録されたクライアント証明書は、ユーザー認証のために RADIUS サーバーに送信されます。
6. 認証プロセスが成功すると、デバイスから顧客ネットワークに接続できるようになります。

## エンタープライズ Wi-Fi フロー – 手動サイド ローディング

図 51: エンタープライズ Wi-Fi フロー – 手動サイド ローディング



1. 証明書を手動でプログラミングして TLK デバイスにロードします。
2. デバイスが顧客の Wi-Fi 企業ネットワークに切り替わります。
3. 以前に登録されたクライアント証明書は、ユーザー認証のために RADIUS サーバーに送信されます。
4. 認証プロセスが成功すると、デバイスから顧客ネットワークに接続できるようになります。

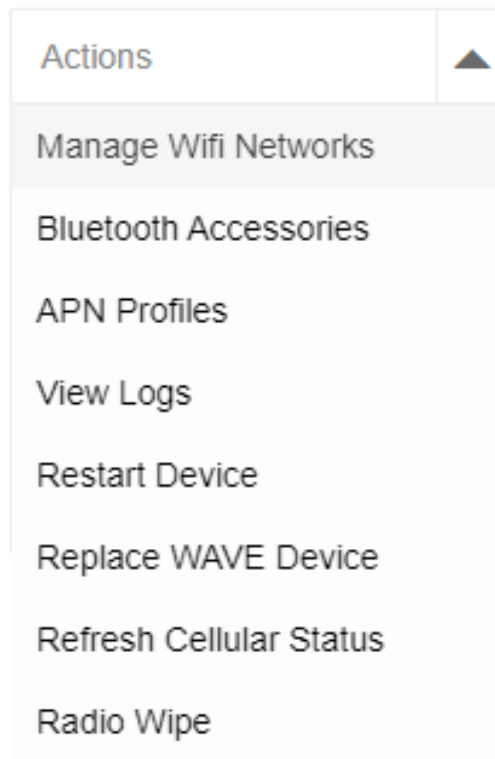
### 6.2.3.2

## Wi-Fi ネットワークの詳細の設定

### 手順:

1. 構成を開始するには、[アクション] タブで [Wi-Fi ネットワークを管理] オプションを選択します。

図 52: [アクション] ドロップダウン



[Wi-Fi ネットワーク] 設定ページが表示されます。

2. 設定に応じて、次のいずれかを実行します。
  - [設定するエンタープライズ セキュリティ プロトコル: PEAP-MSCHAPV2 ページ 78](#)
  - [設定するエンタープライズ セキュリティ プロトコル: EAP-TLS-MSCHAPV2 ページ 79](#)
  - [設定するエンタープライズ セキュリティ プロトコル: EAP-TLS \(SCEP\) ページ 80](#)
  - [設定するエンタープライズ セキュリティ プロトコル: EAP-TLS \(手動-サイド ローディング\) ページ 83](#)

### 6.2.3.2.1

## 設定するエンタープライズセキュリティプロトコル: PEAP-MSCHAPV2

Wi-Fi エンタープライズセキュリティプロトコル: PEAP-MSCHAPV2 を設定するには、**[Wi-Fi ネットワーク]** 設定ページで、このセクションを実行します。

図 53: Wi-Fi エンタープライズセキュリティプロトコル: PEAP-MSCHAPV2

Enter the configuration for the new Wifi network.

SSID*	<input type="text" value="HOME_WIFI"/>	<input type="checkbox"/> Hidden Network
Type*	<input type="text" value="Enterprise"/>	
Enterprise Security Protocol	<input type="text" value="peap-mschapv2"/>	
Identity*	<input type="text" value="User1"/>	
Password*	<input type="text" value="Motorola123"/>	<input type="checkbox"/>

#### 手順:

1. **[SSID]** フィールドに、Wi-Fi ネットワークのサービスセット ID (SSID) を入力します。
2. **[種類]** ドロップダウンリストで、**[エンタープライズ]** を選択します。
3. **[エンタープライズセキュリティプロトコル]** ドロップダウンリストで、**[peap-mschapv2]** を選択します。
4. **[ID]** フィールドに、エンタープライズ Wi-Fi アカウントに関連付けられている名前を入力します。
5. **[パスワード]** フィールドに、エンタープライズ Wi-Fi アカウントに関連付けられているパスワードを入力します。
6. 下記のいずれかを実行します。
  - 新しい Wi-Fi ネットワークの場合は、**[追加]** をクリックします。
  - 既存のネットワークを更新するには、**[更新]** をクリックします。

### 6.2.3.2.2

## 設定するエンタープライズセキュリティ プロトコル: EAPTTLS-MSCHAPV2

Wi-Fi エンタープライズセキュリティ プロトコル: EAPTTLS-MSCHAPV2 を設定するには、[Wi-Fi ネットワーク] 設定ページで、このセクションを実行します。


図 54: Wi-Fi エンタープライズセキュリティ プロトコル: EAPTTLS-MSCHAPV2

Enter the configuration for the new Wifi network.

SSID*	<input type="text" value="HOME_WIFI"/>	<input type="checkbox"/> Hidden Network
Type*	<input type="text" value="Enterprise"/>	
Enterprise Security Protocol	<input type="text" value="eapttls-mschapv2"/>	
Identity*	<input type="text" value="User1"/>	
Password*	<input type="password" value="Motorola123"/>	

#### 手順:

1. [SSID] フィールドに、Wi-Fi ネットワークのサービス セット ID (SSID) を入力します。
2. [種類] ドロップダウン リストで、[エンタープライズ] を選択します。
3. [エンタープライズセキュリティ プロトコル] ドロップダウン リストで、[eapttls-mschapv2] を選択します。

 注: Microsoft RADIUS サーバー - TTLS は直接サポートされていません。

4. [ID] フィールドに、エンタープライズ Wi-Fi アカウントに関連付けられている名前を入力します。
5. [パスワード] フィールドに、エンタープライズ Wi-Fi アカウントに関連付けられているパスワードを入力します。
6. 下記のいずれかを実行します。
  - 新しい Wi-Fi ネットワークの場合は、[追加] をクリックします。
  - 既存のネットワークを更新するには、[更新] をクリックします。

### 6.2.3.2.3

## 設定するエンタープライズセキュリティプロトコル: EAP-TLS (SCEP)

Wi-Fi エンタープライズセキュリティプロトコル: EAP-TLS (SCEP) を設定するには、[Wi-Fi ネットワーク] 設定ページで、このセクションを実行します。

図 55: Wi-Fi エンタープライズセキュリティプロトコル: EAP-TLS (SCEP)

Enter the configuration for the new Wifi network.

SSID*	<input type="text" value="WIFIOTAP-E"/>	<input type="checkbox"/> Hidden Network
Type*	<input type="text" value="Enterprise"/>	
Enterprise Security Protocol	<input type="text" value="eap-tls"/>	
Enrollment Method*	<input type="text" value="SCEP"/>	
Common Name*	<input type="text"/>	
Identity*	<input type="text"/>	
Password*	<input type="password"/>	
SCEP Server URL*	<input type="text"/>	
Root certificate URI	<input type="text"/>	

#### 手順:

1. [SSID] フィールドに、Wi-Fi ネットワークのサービス セット ID (SSID) を入力します。
2. [種類] ドロップダウン リストで、[エンタープライズ] を選択します。
3. [エンタープライズセキュリティプロトコル] ドロップダウン リストで、[eap-tls] を選択します。
4. [登録方法] ドロップダウン リストで、[SCEP] を選択します。
5. [共通名] フィールドに、SCEP サーバーによる証明書発行のための名前を入力します。
6. [ID] フィールドに、エンタープライズ Wi-Fi アカウントに関連付けられている名前を入力します。
7. [パスワード] フィールドに、SCEP サーバーから発行されたチャレンジ パスワードを入力します。
8. [SCEP サーバー URL] フィールドに、SCEP サーバーの URL を入力します。
9. [ルート証明書 URI] フィールドは空欄のままにします。



図 56: Wi-Fi エンタープライズ セキュリティ プロトコル: EAP-TLS (SCEP)

Organization	<input type="text"/>
Organizational Unit	<input type="text"/>
City	<input type="text"/>
State	<input type="text"/>
Country	<input type="text"/>
Email	<input type="text"/>
Signature Hash Algorithm	MD5 ▼
RSA Key Size	1024 ▼
Server Validation	Fingerprint ▼
Fingerprint	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
Domain	scep-mot.lab

10. オプション: **[組織]** フィールドに、組織の詳細を入力します。
11. オプション: **[組織単位]** フィールドに、組織単位の詳細を入力します。
12. オプション: **[市町村]** フィールドに、市区町村名を入力します。
13. オプション: **[状態]** フィールドに、状態名を入力します。
14. オプション: **[国名]** フィールドに、国名を入力します。
15. オプション: **[電子メール]** フィールドに、電子メールを入力します。
16. **[署名ハッシュ アルゴリズム]** フィールドに、SCEP サーバーで使用されるアルゴリズムを入力します。  
次のアルゴリズムがサポートされています。
  - MD5
  - SHA-1
  - SHA-256

- SHA512

17. **[RSA キー サイズ]** フィールドに、SCEP サーバーによる最小キー サイズ設定を入力します。

次のキー サイズ設定がサポートされています。

- 1024
- 2048
- 4096

18. **[サーバー検証]** フィールドで、次のいずれかを選択します。

- 検証をスキップするには、**[なし]** を選択します。
- **[指紋]** を選択して、比較用にサーバー証明書のフィンガープリントを入力します。
- 相互検証を実行するには、**[CA 証明書]** を選択します。  
デバイスは、相互検証用に CA 証明書をサーバーに送信します。



**注:** 相互検証に対応するには、サーバー側の設定が必要です。

19. **[ドメイン]** フィールドに、サーバーのドメイン名を入力します。

20. 下記のいずれかを実行します。

- 新しい Wi-Fi ネットワークの場合は、**[追加]** をクリックします。
- 既存のネットワークを更新するには、**[更新]** をクリックします。

#### 6.2.3.2.4

### 設定するエンタープライズセキュリティ プロトコル: EAP-TLS (手動 - サイドローディング)

Wi-Fi エンタープライズセキュリティ プロトコル: EAP-TLS (手動サイド - ローディング) を設定するには、[Wi-Fi ネットワーク] 設定ページで、このセクションを実行します。

図 57: Wi-Fi エンタープライズセキュリティ プロトコル: EAP-TLS (手動 - サイドローディング)

Enter the configuration for the new Wifi network.

SSID*	<input type="text" value="HOME_WIFI"/>	<input type="checkbox"/> Hidden Network
Type*	<input type="text" value="Enterprise"/>	▼
Enterprise Security Protocol	<input type="text" value="eap-tls"/>	▼
Enrollment Method*	<input type="text" value="Manual (side loading)"/>	▼
Identity*	<input type="text" value="User1"/>	
Signature Hash Algorithm	<input type="text" value="SHA-256"/>	▼
Friendly Name*	<input type="text" value="cert1"/>	
Server Validation	<input type="text" value="Fingerprint"/>	▼
Fingerprint	<input type="text" value="XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX"/>	
Domain	<input type="text" value="scep-mot.lab"/>	

#### 手順:

1. [SSID] フィールドに、Wi-Fi ネットワークのサービス セット ID (SSID) を入力します。
2. [種類] ドロップダウンリストで、[エンタープライズ] を選択します。
3. [エンタープライズセキュリティ プロトコル] ドロップダウンリストで、[eap-tls] を選択します。
4. [登録方法] ドロップダウンリストで、[手動] を選択します。
5. [ID] フィールドに、エンタープライズ Wi-Fi アカウントに関連付けられている名前を入力します。

6. **[フレンドリ名]** フィールドに、文字列名を入力します。



**注:** 名前は、メンテナンス モードのフレンドリ名と同じである必要があります。

文字列名は、デバイスのメンテナンス モードで確認できます。『WAVE PTX デバイス サービス コード トラブルシューティング ガイド』の「メンテナンス モードに入る」および「メンテナンス モード ポータルへの接続」を参照してください。

7. **[サーバー検証]** フィールドで、次のいずれかを選択します。

- 検証をスキップするには、**[なし]** を選択します。
- **[指紋]** を選択して、比較用にサーバー証明書のフィンガープリントを入力します。
- 相互検証を実行するには、**[CA 証明書]** を選択します。  
デバイスは、相互検証用に CA 証明書をサーバーに送信します。



**注:** 相互検証に対応するには、サーバー側の設定が必要です。

8. **[ドメイン]** フィールドに、サーバーのドメイン名を入力します。

9. 下記のいずれかを実行します。

- 新しい Wi-Fi ネットワークの場合は、**[追加]** をクリックします。
- 既存のネットワークを更新するには、**[更新]** をクリックします。

#### 6.2.4

## グループ通信の発信

「グループ通信」は、特定のグループを介して発信される送信です。そのグループを聞いているすべての個人が送信内容を受信します。

**使用条件:** グループ通信を発信するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. 現在選択されているグループを介して送信するには、まず現在選択しているグループを選択対象にする必要があります。グループ/連絡先リストのスクロール ロッカーを使用し、グループと連絡先リストをスクロールして、表示します。
2. PTT ボタンを押して、通信を発信します。緑色の LED が点灯します。ディスプレイにグループのエイリアスが表示されます。
3. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します。応答を聞くには、PTT ボタンを放します。
4. 相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。



**注:** 音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通信が終了します。通信を開始する前の画面に戻ります。

#### 6.2.4.1

## グループの変更

デバイスは、WAVE からのグループのリストをサポートします。チャンネル ロッカーを使用して、デバイスのディスプレイでグループを選択します。


## 6.2.5

### 個別通信の発信

個別通信とは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通信です。

**使用条件:** 個別通信を発信するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. サイド ボタンを長押しすると、個々の連絡先リストにアクセスできます。
2. グループ/連絡先リスト スクロール ロッカーを使用して、目的の連絡先が表示されるまで連絡先リストをスクロールします。音量アップ/ダウン ボタンを使用して、連絡先リストをスクロールすることもできます。  
 **注:** 連絡先の前に「X」がある場合、連絡先は作業中 (DND) モード中であるため、PTT ボタンを押すと拒否トーンが鳴ります。
3. PTT ボタンを押して、個別通信を開始します。緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、発信者のエイリアスが表示されます。
4. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します。PTT ボタンを放して、相手が応答できるようにします。
5. 終了したら、デバイスのサイド ボタンを押して個別通信を切断します。また、非アクティブ状態が数秒続くと、個別通信もタイムアウトになり、デバイスはグループ通信モードに戻ります。


## 6.2.6

### 個別通信の受信

個別通信を受信すると、緑色の LED が点滅します。無線機は、着信音声通信の前に着信通信アラート トーンを再生します。送信無線機で PTT ボタンが放された瞬間、短いアラート トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示します。

























**使用条件:** 通信に応答するには

**手順:**

1. PTT ボタンを押します。緑色の LED が点灯します。
2. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します。  
 **注:** 音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通信が終了します。

## 6.2.7 ステータス インジケータについて

図 58: ステータス インジケータについて

Icon	Description
	Battery Level
	Battery Charging
	Battery Charging Error
	Volume Level
	Mute Mode
	Brightness Level
	Do Not Disturb On
	Do Not Disturb Off
	Voice Announcements On
	Voice Announcements Off
	Alert Tones On
	Alert Tones Off
	Cellular Strength
	Cellular On
	Cellular Off
	Cellular Unavailable
	Wi-Fi Strength
	Wi-Fi On
	Wi-Fi Off
	Wi-Fi Unavailable
	Location On
	Location Off
	Downloading Software/Software Available <sup>1</sup>
	Log Created/Uploading Log <sup>2</sup>

6.2.8


## バッテリー インジケータについて

図 59: バッテリー インジケータについて

Icon	LED In- dication	Voice An- nouncement	Descrip- tion
	● Solid green	Battery high	80%–100% capacity
	● Solid amber	Battery medi- um	60%–80% capacity
	● Solid amber	Battery medi- um	25%–60% capacity
	● Blinking red	Battery low	5%–25% capacity
	● Blinking red	Battery low	Less than 5% capacity

6.3

## WAVE PTX デバイスの追加

 **注:** スプレッドシートからデバイスをインポートする場合は、[スプレッドシートから WAVE PTX デバイスをインポートする ページ 90](#) を参照してください。次の手順では、手動で WAVE デバイスを追加する方法について説明します。

**前提条件:** IMEI/MAC アドレスとシリアル番号があることを確認してください。デバイスの登録に必要なシリアル番号と IMEI 番号は、各 WAVE PTX デバイスのボックスに記載されています。IMEI とシリアル番号を記録します。

図 60: WAVE PTX デバイスの IMEI



ボックスがない場合は、バッテリーの下にあるラベルで IMEI 番号と S/N 番号を確認することもできます。

手順:

1. 顧客アカウントの認証情報を使用して WAVE PTX にログインします。
2. 左側のナビゲーションフレームで、[WAVE PTX デバイス] メニューをクリックします。
3. [WAVE PTX デバイス] ページが開き、登録されているすべての WAVE PTX デバイスが表示されます。最初はこのページは空です。
4. デバイスタイプに対応する [デバイスを登録] ボタンをクリックします。



登録には、次のデバイス タイプを使用できる場合があります。

- TLK 100/ TLK 150
- EVOLVE
- TLK 110
- TLK 25

[WAVE PTX デバイス登録ウィザード] が開きます。

5. デバイス タイプに応じて、次のいずれかを実行します。

- [IMEI] フィールドに、登録する WAVE デバイスの IMEI 値を入力します。
- [MAC アドレス] フィールドに、登録する WAVE デバイスの IMEI 値を入力します。

6. [シリアル番号] フィールドに、登録する WAVE PTX デバイスのシリアル番号を入力します。

7. [表示名] フィールドに、このユニットの表示名を入力します。

表示名はこのデバイスの WAVE PTX ポータルでのユーザー名で、[ユーザー] メニューでは WAVE PTX デバイスとして表示されます。表示名はエイリアスでもあり、このユニットの送信時に他のユーザーに表示されます。



**注:** 連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字! #? および略語。

8. [追加] ボタンをクリックします。

デバイスが識別された場合、そのデバイスの情報が入力フィールドの下の画面に表示されます。デバイスが識別されなかった場合、エラーメッセージが表示されます。番号を再入力するか、サポートに連絡してください。

9. オプション: 入力した詳細を削除して別のデバイスを追加する場合は、[削除] をクリックします。

10. [次へ] をクリックします。

11. 既存のデバイスからデバイス詳細のクローンを作成する場合は、[WAVE PTX デバイスのクローン作成 ページ 91](#) を参照してください。

12. [言語] ドロップダウンから言語を選択します。

13. グループ名の横にあるチェックボックスをオンにします。

[位置] の選択が有効になります。これらはすでに作成したグループです。入力した詳細を削除し、後で [ユーザー] メニュー オプションの [管理] からグループに別のデバイス ユニットの追加する場合は、追加や削除を行うこともできます。

14. グループの位置、優先度、通信開始、通信受信、通信権限を割り当てます。

15. ユーザーをグループのスーパーバイザーにする場合は、[スーパーバイザー] チェックボックスをオンにします。

16. 連絡先のチェックボックスをオンにして、連絡先をユーザーに関連付けます。入力した詳細を削除し、後で [ユーザー] メニュー オプションの [管理] から別のデバイス ユニットの追加する場合は、ここから個別通信の連絡先を追加または削除することもできます。

17. [次へ] をクリックします。

18. 要約情報ページの情報が正しいことを確認し、[送信] ボタンをクリックします。

次のメッセージが表示されます。

<n> 個の WAVE デバイスを登録しようとしています。続行してもよろしいですか?

19. 次のいずれかの操作を実行します。

- デバイス登録を確定するには、[OK] をクリックします。

- 登録をキャンセルするには、**[キャンセル]** をクリックします。

**結果:** 次のメッセージが表示されます。

現在デバイスを登録中です。登録プロセスが完了すると、**WAVE デバイス** セクションに表示されるようになります。登録エラーが発生した場合は、**通知** セクションに表示されます。1 台当たり最大 15 秒かかる場合があります。

### 6.3.1

## スプレッドシートから WAVE PTX デバイスをインポートする

WAVE PTX ポータルのインポート機能を使用すると、WAVE PTX デバイスの CSV ファイルをアップロードできます。

WAVE PTX デバイスは CSV ファイルをアップロードすることで追加できますが、削除することはできません。リストから WAVE PTX デバイスを削除しても、顧客から削除されることはありません。WAVE PTX デバイスを削除するには、WAVE PTX デバイスを手動で削除する必要があります。WAVE PTX デバイスの削除は、デバイスを選択して、**[アクション]** メニューの **[削除]** をクリックすると実行されます。

インポート操作はいつでも実行できますが、エントリが重複している場合は追加されません。一般には、デバイスの CSV ファイルをダウンロードし、スプレッドシート アプリケーションで編集して追加するユーザーを含め、カンマ区切り CSV ファイルとして保存してから、ファイルをアップロードする必要があります。すでに Excel 形式で保存されている CSV ファイルがある場合は、そのファイルを編集して新しいユーザーを含めることができます。既存のユーザーは無視され、複製されません。

#### 手順:

1. 顧客アカウントの認証情報を使用して、WAVE PTX ポータルにログインします。
2. **[WAVE PTX デバイス]** メニューをクリックします。[WAVE PTX デバイス] ページが開き、登録されているすべての WAVE PTX デバイスが表示されます。
3. デバイス タイプに対応する **[デバイスを登録]** ボタンをクリックします。  
登録には、次のデバイス タイプを使用できる場合があります。

- TLK 100/ TLK 150
- EVOLVE
- TLK 110
- TLK 25

4. **[インポート]** ボタンをクリックします。
5. **[CSV テンプレート]** ボタンをクリックして、WAVE PTX デバイス情報を入力するための CSV テンプレートをダウンロードします。
6. ダウンロード フォルダに移動し、デバイスの CSV テンプレート ファイルを開きます。
7. ファイルを編集して、登録するすべての WAVE PTX デバイスの IMEI/MAC アドレス、シリアル番号、表示名を追加します。


デバイスの登録に必要なシリアル番号と IMEI 番号は、WAVE PTX デバイス ユニットのボックスに記載されています。IMEI とシリアル番号を記録します。

ボックスがない場合は、バッテリーの下にあるラベルで IMEI とシリアル番号を確認することもできます。

連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字!#? および略語。


- a. **[IMEI]** フィールドに、登録する WAVE PTX デバイスの IMEI 値を入力します。

IMEI 番号のないデバイスの場合は、MAC アドレスを入力します。

 **注:** TLK 25 WiFi デバイスの場合、MAC アドレスが必要です。

- b. **[シリアル番号]** フィールドに、登録する WAVE PTX デバイスのシリアル番号を入力します。
- c. **[表示名]** フィールドに、このユニットの表示名を入力します。

表示名はこのデバイスの WAVE PTX ポータルでのユーザー名で、[ユーザー] メニューでは WAVE PTX デバイスとして表示されます。表示名はエイリアスでもあり、このユニットの送信時に他のユーザーに表示されます。

 **注:** 連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字!#? および略語。

8. ファイルをカンマ区切りの CSV ファイルとして保存します。
9. ファイルの準備ができたなら、**[ファイルの選択]** または **[参照]** ボタンをクリックします。
10. **[インポート]** ウィンドウを閉じている場合は、**[インポート]** ボタンをクリックします。
11. Excel テンプレートから保存した CSV ファイルを参照し、ファイルを選択します。
12. **[アップロード]** ボタンをクリックします。
13. インポート完了の結果をレビューして、インポートのステータスを確認します。
14. **[完了]** ボタンをクリックして、インポートを完了します。

**結果:** [WAVE PTX デバイス] ページが再表示され、新しく追加されたユニットがページに表示されます。

### 6.3.2

## WAVE PTX デバイスのクローン作成

デバイス登録時にクローン作成を使用すると、既存の登録済み WAVE PTX デバイスから詳細をコピーできます。テンプレート デバイスのすべての構成詳細が新しいデバイスにコピーされます。**[デバイスのクローン作成元]** フィールドは、少なくとも 2 台の WAVE PTX デバイスをすでに登録し、2 人のユーザーを設定している場合にのみ表示されます。

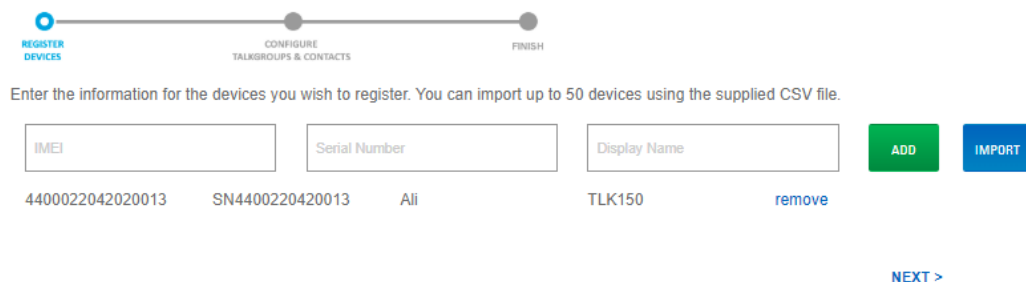
TLK 25 クローン作成は、EMEA 地域でのみ使用できます。

**前提条件:** 新しいデバイスにコピーする詳細のテンプレート要件を自分が満たしていることを確認します。テンプレート要件を表示するには、**[デバイスのクローン作成元]** の横にある**情報**アイコンにマウスを合わせます。

**手順:**

1. **デバイスの登録** ページでデバイスを追加したら、**[次へ]** をクリックします。

図 61: WAVE PTX デバイスの追加



2. **[デバイスのクローン作成元]** ドロップダウンから、詳細をコピーするソース デバイスを選択します。
3. 2.0 ソフトウェアから 3.0 ソフトウェアにデバイスをクローニングする場合は (混合登録)、次の手順に従います。

図 62: グループと連絡先の設定

REGISTER DEVICES | CONFIGURE TALKGROUPS & CONTACTS | FINISH

Select from the available Languages, TalkGroups, and Contacts.

Clone Device from: Ali

Language: -


TALKGROUP NAME	TYPE	POSITION	PRIORITY	CALL INITIATE	CALL RECEIVE	IN CALL	SUPERVISOR
Ambulance	Standard	1	1	Allow	Allow	Talk + Listen	<input checked="" type="checkbox"/>
Default TalkGroup	Standard	8	2	Allow	Allow	Talk + Listen	<input type="checkbox"/>
Dispatch	Dispatch		Not in Scan List	Allow	Allow	Talk + Listen	<input type="checkbox"/>

Contacts: Select All, Ali, Bren, Brian, Charlie, Christian

Associate all new WAVE devices with each other

< BACK | NEXT >

- a. すべての連絡先とグループの詳細がクローン作成元デバイスからコピーされます。
- b. 2.0 ソフトウェアの 8 つのグループとチャネル構成のみがコピーされます。

 注: クローン作成時に連絡先とグループの詳細を変更することはできません。

- 4. 3.0 ソフトウェアから 2.0 ソフトウェアにデバイスをクローニングする場合 (混合登録)。

図 63: グループと連絡先の設定

REGISTER DEVICES | CONFIGURE TALKGROUPS & CONTACTS | FINISH

Select from the available Languages, TalkGroups, and Contacts.

Clone Device from: Ricky

Language: -

TALKGROUP NAME	TYPE	POSITION	PRIORITY	CALL INITIATE	CALL RECEIVE	IN CALL	SUPERVISOR
Ambulance	Standard		Not in Scan List	Allow	Allow	Talk + Listen	<input type="checkbox"/>
Default TalkGroup	Standard		Not in Scan List	Allow	Allow	Talk + Listen	<input type="checkbox"/>
Dispatch	Dispatch		Not in Scan List	Allow	Allow	Talk + Listen	<input type="checkbox"/>

Contacts: Select All, Bren, Brian, Charlie, Christian, David

Associate all new WAVE devices with each other

< BACK | NEXT >

- a. すべての連絡先とグループの詳細がクローン作成元デバイスからコピーされます。
- b. 3.0 デバイスの最初の 8 つのグループとチャネルのみがコピーされ、残りのグループは選択済みとして表示されます。

- 5. [次へ] をクリックします。

6. 詳細を確認し、**[送信]** をクリックします。確認メッセージが表示されます。



**注:** クローン作成時に連絡先とグループの詳細を変更することはできません。

7. **[OK]** をクリックします。

## 6.4

# EVOLVE デバイス

EVOLVE デバイスは無線モード タイプのユーザーであり、接続に WAVE PTX モバイル アプリ ライセンスを使用します。

EVOLVE デバイスは、ビデオ ストリーミングをサポートし、最大 96 チャンネルのグループ位置割り当てを許可します。EVOLVE デバイスは Nitro データ プランとともに使用でき、顧客が Nitro データ サービスに対してアクティブになっている場合のみ使用できます。このデバイスは、販売店とレンタルの両方のオプションで使用できます。

EVOLVE デバイスは Critical Communication サブスクリプションをサポートしています。デバイスの既存のライセンスおよびサブスクリプションをアップグレードまたはダウングレードできます。[Nitro Portal ユーザーガイド](#)を参照してください。

### 6.4.1

## Nitro データ サービスの有効化

顧客が Nitro データ プランを使用する場合は、オペレータがお客様の Nitro データ サービスを有効化してサブスクライブする必要があります。顧客は、デバイス登録中に利用可能なドロップダウンから Nitro プラン (基本および無制限) タイプを選択できます。プランは登録済みデバイスを使用するときいつでも変更できます。

#### 使用条件:

Nitro データ プランを有効化してサブスクライブするには、次の手順に従います。

#### 手順:

1. **[顧客]** メイン ページから **[Nitro]** メニューを選択します。Nitro の有効化ページが表示されます。
2. ネットワーク タイプ、課金タイプ、購入モデルを選択し、**[アクティブ化]** をクリックします。
3. **[CBSD]** メニューを選択し、**[CBSDS の登録]** ボタンをクリックします。
4. **[サインアップ]** ボタンをクリックします。表示される確認メッセージで **[OK]** をクリックします。
5. Nitro サブスクリプションが顧客に対して有効になります。**[Nitro ダッシュボードに移動]** をクリックします。
6. Nitro メニューの **[設定]** ドロップダウンから、**[アカウント]** を選択します。
7. Nitro サブスクリプションが、WAVE PTX Monthly に加えて表示されます。

### 6.4.2


## EVOLVE デバイスの登録

EVOLVE デバイスは、個別で追加することも、ポータルで複数のデバイスをインポートすることもできます。複数のデバイスをポータルに登録するには、**[インポート]** オプションを使用します。ファイルをポータルにインポートするには、CSV ファイルですべての詳細を設定してください。

#### 使用条件:

1 台の EVOLVE デバイスを登録するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. [WAVE PTX デバイス] メニューから **[EVOLVE の登録]** を選択します。
2. [IMEI] フィールドに IMEI 番号を入力します。
3. [シリアル番号] フィールドにデバイスのシリアル番号を入力します。
4. [表示名] フィールドに、デバイスの名前を入力します。  
 **注:** 連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字!#?および略語。
5. ドロップダウンから Nitro プランを選択します。[なし]、[Nitro 基本]、[Nitro 無制限] を選択できます Nitro プランを選択した場合は、SIM ICCID 番号を入力します。
6. 通信の品質と優先度を [SIM 優先度] ドロップダウンから選択します。
7. デバイスでビデオ ストリーミングを使用する場合は、[ビデオ ストリーミング] チェックボックスをオンにします。
8. **[追加]** をクリックします。デバイスがリストに表示されます。
9. **[次へ]** をクリックします。グループと連絡先の構成ページが表示されます。
10. 事前設定されたデバイスから構成を複製することも、[言語]、[グループ]、[連絡先] リストから言語、グループ、および連絡先を手動で選択することもできます。
11. グループ名の横にあるチェックボックスをオンにします。[位置] の選択が有効になります。これらはすでに作成したグループです。後で、**[ユーザー]** メニュー オプションで **[管理]** を選択して、グループから EVOLVE デバイスを追加または削除することもできます。
12. グループの位置、優先度、通信開始、通信受信、通信権限を割り当てます。
13. ユーザーをグループのスーパーバイザーにする場合は、**[スーパーバイザー]** チェックボックスをオンにします。
14. 連絡先のチェックボックスをオンにして、連絡先をユーザーに関連付けます。後で、**[ユーザー]** メニュー オプションの下の **[管理]** で、この EVOLVE ユニットから個別通信の連絡先を追加または削除することもできます。
15. **[次へ]** をクリックします。
16. 詳細を確認して、**[送信]** をクリックします。
17. 表示されたメッセージを確認して、**[OK]** をクリックします。
18. 登録済みデバイスを表示するには、**[マイ デバイスの表示]** をクリックします。

### 6.4.3

## Nitro データ プランの変更

デバイスを使用するときにはいつでも EVOLVE デバイスの Nitro データ プランを変更できます。プランの変更は、EVOLVE デバイスの [ユーザーの詳細]、[サブスクリプション]、および [トランザクション] ページに表示されます。

**使用条件:**

EVOLVE デバイスの Nitro データ プランを変更するには、次の手順を実行します。

**手順:**

1. **[ユーザー]** メニューで、デバイスの名前をクリックして編集ページを表示します。

図 64: Nitro データ プランの変更

< Users

Display Name\*   Active

Email

Allow Portal Access?

Nitro Data Plan  ▼

AddOn Package(s)

None
Nitro Basic
Nitro Unlimited

[Manage Contacts and Feature](#)

[Manage TalkGroup Associations](#)

[Update Device Properties](#)

Indicates a required field

2. [Nitro データ プラン] ドロップダウンから、変更するプランを選択します。
3. [保存] をクリックします。

#### 6.4.4

## EVOLVE デバイスの交換

EVOLVE デバイスは、ポータルから別の EVOLVE デバイスに置き換えることができます。既存のデバイスを交換する前に、新しいデバイスの IMEI とシリアル番号を確認してください。

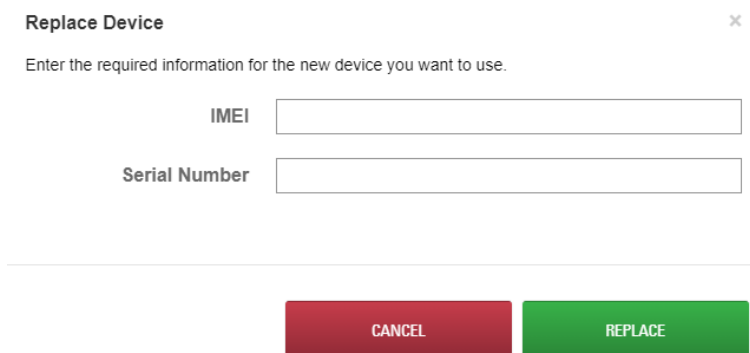
### 使用条件:

EVOLVE デバイスを交換するには、次の手順に従います。

### 手順:

1. [WAVE PTX デバイス] ページで、EVOLVE デバイスをクリックします。EVOLVE デバイスの詳細ページが表示されます。
2. [アクション] ドロップダウンから [交換] を選択します。[デバイスを交換] ダイアログボックスが表示されます

図 65: EVOLVE デバイスの交換



Replace Device ×

Enter the required information for the new device you want to use.

IMEI

Serial Number

CANCEL
REPLACE

- 指定されたフィールドに新しいデバイスの詳細を入力し、**[保存]** をクリックします。

#### 6.4.5

### EVOLVE デバイスの編集

WAVE PTX ポータルに EVOLVE デバイスを追加すると、[ユーザー] メニューにユーザーとして自動的に表示されます。[ユーザー] メニューから、デバイスに関連付けられているグループと連絡先を編集できます。[WAVE PTX] メニューから EVOLVE ユニットのプロパティを編集できます。

#### 使用条件:

個々の EVOLVE デバイスを編集するには、次の手順に従います。

#### 手順:

- 顧客アカウントを使用して WAVE PTX にログインします。
- 左側のナビゲーションフレームで、**[WAVE PTX]** メニューを選択します。[EVOLVE] ページが開き、登録済みのすべての EVOLVE デバイスが表示されます。
- 編集する EVOLVE デバイスの名前をクリックします。  
選択した EVOLVE の [デバイス情報] ページが開きます。灰色の見出し領域をクリックすると、**[デバイス情報]** と **[設定]** を切り替えることができます。
- [デバイス情報] のオプションには、次のものがあります。
  - **デバイス タイプ**  
デバイスのタイプを表示します。デバイスが EVOLVE デバイスの場合、EVOLVE タイプのデバイスが表示されます。
  - **IMEI**  
国際モバイル装置 ID (IMEI) は、すべてのモバイル デバイスに固有の数値識別子です。WAVE PTX では、IMEI とシリアル番号を組み合わせ、それぞれの EVOLVE を識別します。EVOLVE には 2 つの IMEI があります。IMEI 番号のいずれかを使用してデバイスを登録できます。
  - **ICCID**  
ICCID は、SIM の一意のシリアル番号です (登録時に送信されます)。
  - **シリアル番号**  
それぞれのシリアル番号は、EVOLVE デバイスに固有です。WAVE では、IMEI と合わせてシリアル番号を使用して、進化のための識別と登録を行います。
  - **携帯データ プランが有効化されました**  
携帯データ プランのステータスを表示します。有効の場合、ステータスには [はい] と表示されません。



- **携帯電話のステータス**  
携帯電話サービスのステータスを表示します。
  - **最後の接続**  
デバイスの最終接続時刻です。
  - **Bluetooth MAC アドレス**  
デバイスの MAC アドレスを表示します。
  - **Wi-Fi MAC アドレス**  
デバイスの Wi-Fi MAC アドレスを表示します。
  - **ハードウェア ID**  
デバイスのハードウェア ID です。
  - **無線機エイリアス**  
無線デバイスの代替名です。
  - **スキーマバージョン**  
デバイスのスキーマバージョンです。
5. [PTT アプリの設定] オプションには、次のものがあります。
- **優先ネットワーク**  
デバイスが接続に使用するネットワークのタイプを表示します。ネットワークは、ドロップダウンから [Wi-Fi]、[Wi-Fi のみ]、[携帯型]、または [携帯型のみ] に変更できます。
  - **ユーザー名**  
デバイスの登録時に入力したデバイスの名前が表示されます。
  - **サービス URL**  
デバイスをサービスに接続するサーバー URL を表示します。
  - **LCMS URL**  
(DRX 構成の) ライフ サイクル管理サーバーの URL を表示します。
  - **Kodiak ID**  
フルフィルメント フロー中にシステムによって設定された 15 桁 (MDN または MSISDN) を表示します。
  - **アクティベーション コード**  
ユーザーがアクティベーションのために EVOLVE デバイスで入力する必要があるコードを表示します。
  - **クライアント シークレット**  
MCPTT サーバー アクセスには、「clientId」と [クライアント シークレット] が必要です。PTT アプリの「clientId」は ptths で、これが対応する秘密鍵です。
  - **OIDC URI**  
MCPTT サーバーはアクセス管理として keycloak サーバーを使用し、接続は Open ID 接続を使用します。Wi-Fi、IMS および inet の 3 つのインスタンスはすべて同じ URL を共有します。
6. [診断] オプションには、次のものがあります。
- **診断レベル**  
トレース レベル、および診断レポート レベルです。これはセミコロンで区切られた文字列として報告されます。
  - **診断パッケージの生成**  
診断パッケージをトリガーするタイムスタンプです。
  - **診断パッケージのアップロード**  
パッケージをアップロードするデバイスのコマンドです。

- **診断アップロードの転送**  
パッケージのアップロードに使用できる転送です。
  - **利用可能な診断パッケージ**  
アップロード可能な診断パッケージが無線にあることを DM に通知します。
7. [ステータス レポート] のオプションには、次のものがあります。
- **電池残量レベル**  
バッテリー レベルを定期的に報告します。
  - **携帯型の信号強度**  
信号レベルを定期的に報告します。
  - **Wi-Fi 信号強度**  
信号レベルを定期的に報告します。
  - **GPS 座標**  
これはデバイスの GPS です。
8. [ViQi 設定] オプションには、次のものがあります。
- **音声制御を有効にする**  
このビットマスクは、特定の EVA 機能を有効または無効にするために使用されます。現在は、音声制御の有効化または無効化にのみ使用されています。
  - **ViQi ゲートウェイ URI**  
EVA ゲートウェイへの URI です。
  - **ViQi アドレス帳ストレージ URI**  
EVA アドレス帳ストレージへの URI です。
9. [Android デバイス ポリシー管理] オプションには、次のものがあります。
- **ロックの最大時間**  
デバイスがロックされるまでの時間を入力します。
  - **カメラ無効**  
チェックボックスをオンにすると、デバイスのカメラが無効になります。
  - **アプリ インストールが無効**  
アプリケーションのインストールを無効にするには、チェックボックスをオンにします。
  - **アプリ アンインストールが無効**  
アプリケーションのアンインストールを無効にするには、チェックボックスをオンにします。
  - **不明なソース アプリのインストールを許可する**  
チェックボックスをオンにすると、不明なソース アプリケーションをデバイスにインストールできます。

#### 6.4.6

## EVOLVE マルチゾーン サポート

EVOLVE デバイスでは、マルチゾーン構成がサポートされるようになりました。この構成を使用すると、各デバイスは 6 つのゾーンと 16 か所の位置をサポートできます。マルチゾーン サポートは、レンタルビジネスと非レンタル ビジネスの両方の顧客に適用され、EVOLVE がサポートしているすべての地域に影響します。既存のデバイスは、シングルゾーンからマルチゾーン サポートに変換され、新しいデバイスは、本稼働中にマルチゾーンとして登録されます。デバイスのクローン機能は、既存のデバイスおよび新しいデバイスでのマルチゾーン サポートの統合による影響を受ける場合があります。Bring Your Own Device および ION デバイスについては、自動チャネル割り当てのサポートは変わりません。既存のデバイスがシングルゾーン サポートのままでも、サービス中断はありません。

### 6.4.6.1


## デバイスのマルチゾーン サポートへの変換

[ユーザー] リストにある EVOLVE デバイスは、シングルゾーンからマルチゾーン サポートに変換する必要があります。

手順:

1. [ユーザー] タブの [デバイスの編集] ウィンドウで、EVOLVE デバイスに対して [マルチゾーン サポート] を有効にします。

The screenshot shows the Motorola Solutions user management interface. The left sidebar contains navigation options: MSI Default Partner, CHNVAIL-UKTrst01, Users (selected), TalkGroups, Radio systems, WAVE Devices, Clone Devices, and Nitro. The main content area is titled 'Users' and shows the 'Edit Device' form for a device with Display Name 'CHNFULVALUK02'. The form includes fields for Display Name, Phone Number, Email, and Package (set to 'Collaboration'). There are several checkboxes: 'Active' (checked), 'Tablet User or WiFi Only Devices' (checked), 'Allow Portal Access?' (unchecked), 'Video Streaming' (unchecked), and 'LMR Interop' (unchecked). Below these are links for 'Manage Contacts and Feature' and 'Manage TalkGroup Associations'. A red box highlights the 'Multizone Support' checkbox, which is checked. A red asterisk and the text '\* Required field' are visible next to it. At the bottom of the form are 'CANCEL' and 'SAVE' buttons.

 **注:** マルチゾーン サポートがすでに有効になっている場合、マルチゾーン サポートのチェックボックスは表示されません。マルチゾーンサポートはいったん有効にすると、無効にすることはできません。

2. デバイスが 16 か所を超える位置をサポートしている場合は、16 か所を超えている位置を削除します。


**PTT User Details** CHNFULVAILUK02 +9992001001088

Name: CHNFULVAILUK02 Phone Number: +9992001001088  
 Billing Number: +9992001001088 State: Activated  
 Email ID: Activate code expiring on:

Search by Talkgroup Name

Page 1 of 1

Name	Talkgroup Type	Zone
21	Standard	1
22	Standard	1
23	Standard	1
24	Standard	1
25	Standard	1

 **注:** 位置が 16 か所を超えるデバイスに対してマルチゾーン サポートが有効になっている場合、16 か所を超えている位置より、次のエラーメッセージが生成されます: 「16 を超えているチャンネル セットのマルチゾーン サポート変換は許可されていません。16 を超えているチャンネル セットはクローンまたは削除してください。」

- 残りの位置は、新しいゾーンに再割り当てする必要があります。

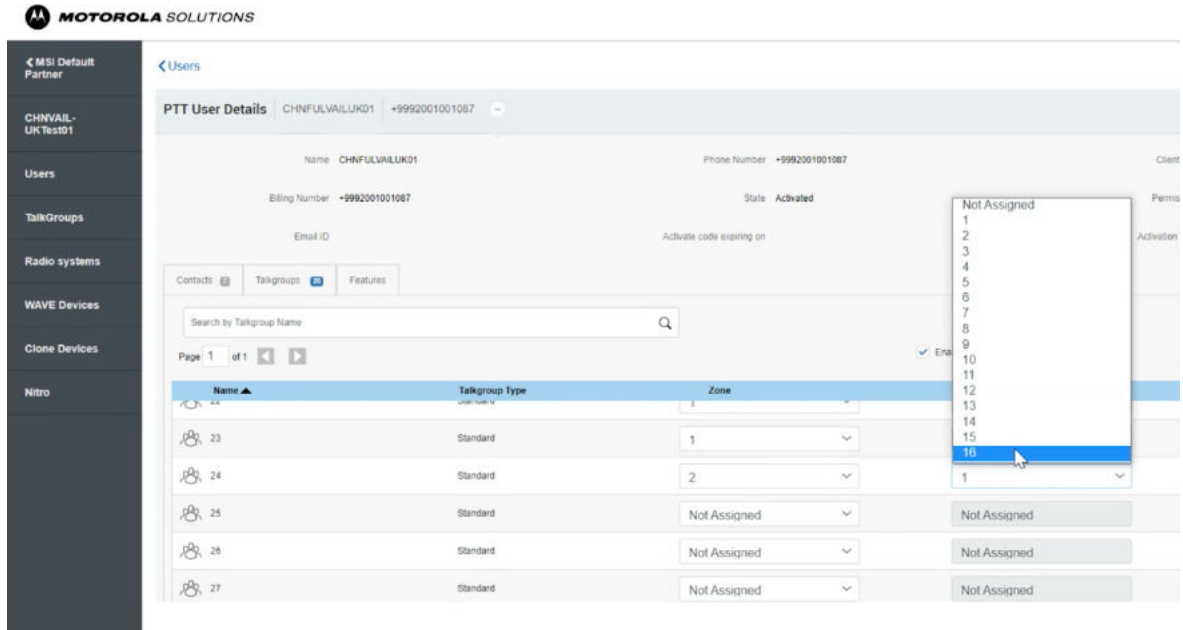
**PTT User Details** CHNFULVAILUK01 +9992001001087

Name: CHNFULVAILUK01 Phone Number: +9992001001087 Client  
 Billing Number: +9992001001087 State: Activated Permis  
 Email ID: Activate code expiring on: Activation C

Search by Talkgroup Name

Page 1 of 1  Enable Talkgroup Scanning

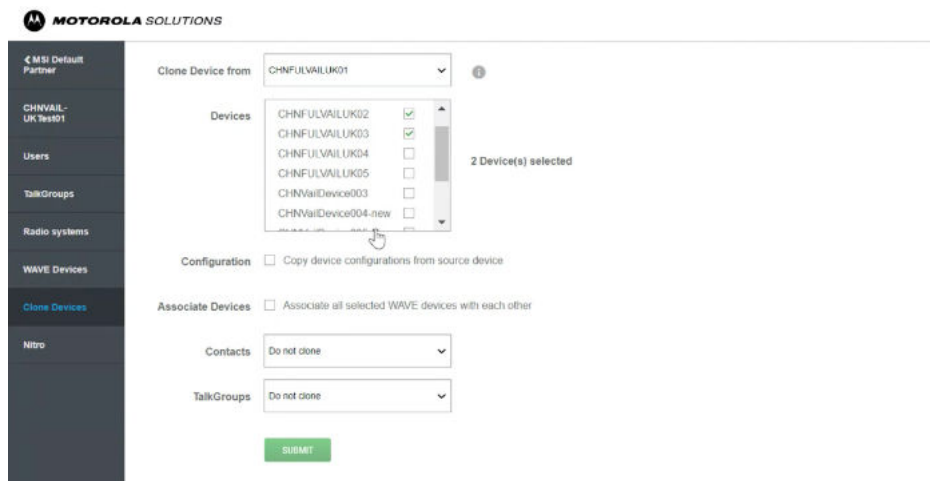
Name	Talkgroup Type	Zone	Position
23	Standard	1	16
24	Standard	Not Assigned	Not Assigned
25	Standard	2	Not Assigned
26	Standard	Not Assigned	Not Assigned
27	Standard	Not Assigned	Not Assigned



### 6.4.6.2 デバイスのクローン機能

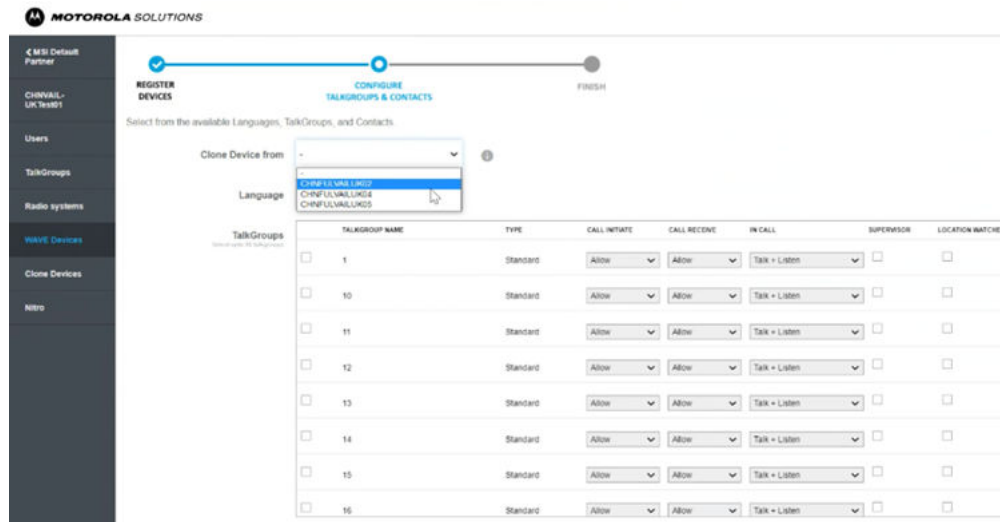
マルチゾーン サポートを有効にしている、本稼働に移行した場合、クローンされたデバイスの機能の違いに気づかれるかもしれません。

ソース デバイス リストには、古いシングルゾーン EVOLVE デバイスを除く、すべてのデバイスが表示されます。ソース デバイスとしてマルチゾーン EVOLVE デバイスを選択した場合、すべてのマルチゾーン デバイスが選択可能になります。シングルゾーン EVOLVE デバイスを選択し、クローン作成機能を続行した場合、シングルゾーン EVOLVE デバイスはマルチゾーンに自動的に変換されます。



### 6.4.6.3 デフォルトのマルチゾーン サポートを含んだ新しい EVOLVE デバイス登録

新しい EVOLVE デバイス登録での違いについては、クローン作成機能以外は気づかれないかもしれません。ソース デバイス リストには、古いシングルゾーン EVOLVE デバイスを除く、すべてのマルチゾーン EVOLVE デバイス、Bring Your Own Device、および ION デバイスが表示されます。



## 6.5

# ION デバイス (非レンタル顧客向け – 米国およびカナダ地域)

Ion デバイスは無線モードとして登録されます。ION デバイスは、一度に 1 台ずつ追加することも、スプレッドシートを使用して WAVE PTX に追加することもできます。

追加する ION デバイスが多数ある場合は、スプレッドシートを使用する方法をお勧めします。ION を登録すると、ライセンスは自動的に月額サブスクリプションに追加されます。

### 6.5.1

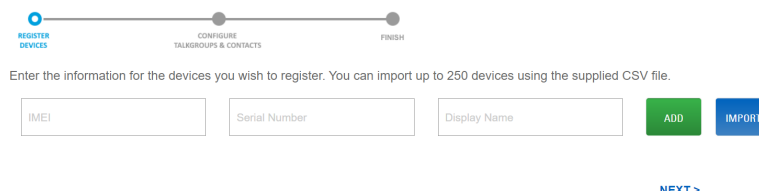
## ION デバイスの追加

追加する ION デバイスが多数ある場合は、スプレッドシートを使用する方法をお勧めします。ION を登録すると、ライセンスは自動的に月額サブスクリプションに追加されます。

### 手順:

1. 顧客アカウントの認証情報を使用して WAVE PTX ポータルにログインします。
2. 左側のナビゲーションフレームで、[ユーザー] メニュー オプションが使用できるようになります。
3. [ユーザー] メニューをクリックします。[ユーザー] ページが開き、登録済みのすべてのユーザーが表示されます。最初はこのページは空です。
4. [ユーザーを追加] をクリックします。[ユーザーを追加] ブロックが開きます。
5. [ION] をクリックします。
6. [IMEI] で、登録する ION の IMEI 値を入力します。


図 66: ION デバイスの追加




7. [シリアル番号] に、登録する ION のシリアル番号を入力します。

8. **[表示名]** に、このユニットの表示名を入力します。


表示名は WAVE PTX ポータルのこのデバイスのユーザー名で、[ユーザー] メニューには ION ユニットとして表示されます。表示名はエイリアスでもあり、このユニットの送信時に他のユーザーに表示されます。

 **注:** 連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字! #? および略語。

 **注:** デバイス IMEI は、デバイスの **[設定]→[デバイス情報]** から取得できます。シリアル番号は、**[設定]→[デバイス情報]→[モデル]** から取得できます。

9. **[追加]** をクリックします。

デバイスが識別された場合、そのデバイスの情報が入力フィールドの下の画面に表示されます。デバイスが識別されなかった場合、エラーメッセージが表示されます。番号を再入力するか、サポートに連絡してください。

 **注:** ION を登録すると、デフォルトでデュアル モード機能と LMR 機能が有効になります。

**図 67: ION デバイスの追加**

Enter the information for the devices you wish to register. You can import up to 250 devices using the supplied CSV file.

IMEI	Serial Number	Display Name	ADD	IMPORT
882620434971741	123aaaw0012	Mackenzie_Robert	ION	Remove

NEXT >

10. このページには、デバイスで入力された詳細とサポートされているタイプが表示されます。

11. 入力した詳細を削除して別のデバイスを追加する場合は、**[削除]** をクリックします。

12. **[次へ]** をクリックします。

13. グループ名の横にあるチェックボックスをオンにします。必要に応じて、ドロップダウンから **[デバイスをクローン]** を選択して、既存の登録済み ION、モバイル、またはタブレットから、グループ、構成、連絡先とともに複製することができます。


 **注:** これらはすでに作成したグループです。ゾーンと優先度は、このグループ選択から ION に割り当てることができません。これらのゾーンと優先度は、ユーザー メニュー オプションの管理 ([Central Admin Tool]) から設定できます。

図 68: グループと連絡先の設定

The screenshot shows the 'GROUPS & CONTACTS' configuration page. At the top, there are three progress indicators: 'REGISTER DEVICES', 'CONFIGURE TALKGROUPS & CONTACTS' (which is active), and 'FINISH'. Below this, a 'Clone Device from' dropdown menu is set to 'RadioMobile1'. The main area is divided into two sections: 'TalkGroups' and 'Contacts'.

The 'TalkGroups' section contains a table with the following data:

Group Name	Type	Allow	Allow	Talk + Listen
AA-G1	Standard	Allow	Allow	Talk + Listen
ABCGrp	Standard	Allow	Allow	Talk + Listen
A-G1	Standard	Allow	Allow	Talk + Listen
A-G2	Standard	Allow	Allow	Talk + Listen
AUGWGrp	Standard	Allow	Allow	Talk + Listen
CloneGRP	Standard	Allow	Allow	Talk + Listen
CloneGrp2	Standard	Allow	Allow	Talk + Listen
Default TalkGroup	Standard	Allow	Allow	Talk + Listen

The 'Contacts' section shows a list of contacts with checkboxes next to them:

- Select All
- MOTOPlanUser
- PLanoUGWTabU...
- RadioMobile1
- RadioMobile2
- SecondUGWTab...

At the bottom of the 'Contacts' section, there is a checkbox labeled 'Associate all new WAVE devices with each other' which is currently unchecked. Below the main content area are two navigation buttons: '< BACK' and 'NEXT >'.

14. 通信開始、通信受信、通信権限を割り当てます。
15. ユーザーをグループのスーパーバイザーにする場合は、[スーパーバイザー] チェックボックスをオンにします。
16. 連絡先のチェックボックスをオンにして、連絡先をユーザーに関連付けます。後で、[ユーザー] メニュー オプションの下の [管理] で、この ION ユニットから個別通信の連絡先を追加または削除することもできます。
17. [次へ] をクリックします。
18. 要約情報ページの情報が正しいことを確認し、[送信] ボタンをクリックします。



**注:** WAVE PTX 無線エイリアス (表示名) は、RC で設定された LMR 無線エイリアスと同じに設定することをお勧めします。

**後行条件:** 無線システムを ION デバイスに関連付ける方法については、[無線システムの追加 ページ 128](#) を参照してください。

## 6.5.2

# ION デバイスのクローンの作成

クローニングでは、ION デバイスの作成時に既存の登録済みデバイスの詳細をコピーできます。

テンプレート デバイスのすべての構成詳細が新しいデバイスにコピーされます。[デバイスのクローン作成元] フィールドは、少なくとも 2 台の ION、モバイル、またはタブレットをすでに登録し、2 人のユーザーを設定している場合にのみ表示されます。新しいデバイスにコピーする詳細のテンプレート要件を自分が満たしていることを確認します。テンプレート要件を表示するには、[デバイスのクローン作成元] の横にある情報アイコンにマウスを合わせます。

### 6.5.2.1

## ION デバイスのクローンの作成

**手順:**

1. デバイスの登録ページでデバイスを追加したら、[次へ] をクリックします。
2. [デバイスのクローン作成元] ドロップダウンから、詳細をコピーするテンプレート デバイスを選択します。



3. **[デバイスのクローン作成元]** ドロップダウンから、詳細をコピーするテンプレート デバイスを選択します。
4. **[次へ]** をクリックします。
5. 詳細を確認し、**[送信]** をクリックします。確認メッセージが表示されます。
6. **[OK]** をクリックします。
7. デバイス リストに移動するには、**[マイ デバイスの表示]** をクリックします。

## 6.6

# 自動チャンネル割り当て

WAVE PTX ポータルは、2.0 および 3.0 デバイス両方のグループ自動チャンネル割り当てをサポートしています。自動チャンネル割り当てでは、ポータルまたは Central Admin Tool からグループをユーザーに割り当てると、グループは自動的に次の使用可能なグループ位置を取得します。たとえば、ユーザーに 6 つのグループが割り当てられ、グループ位置が 1 ~ 6 の場合、新しく割り当てられたグループは、[位置] リストで次の使用可能なグループ位置 7 を取得します。


また、16 を超えるグループ位置では、スキャン リストのグループ優先度が [なし] と表示されます。

## 6.7

# WAVE PTX デバイスで使用可能なアクションの表示

WAVE PTX ポータルの管理者は、WAVE PTX デバイス上で次のアクションを実行できます。

### 手順:

1. WAVE PTX ポータルにログインします。
2. 左側のナビゲーション フレームで、**[WAVE PTX デバイス]** メニューをクリックします。[WAVE PTX デバイス] ページが開き、登録されているすべての WAVE PTX デバイスが表示されます。
3. 編集する WAVE PTX デバイスの名前の横にあるチェックボックスをオンにします。複数のチェックボックスをオンにして、WAVE PTX デバイスを一括編集することもできます。  
 **注:** 一番上のチェックボックスでは、すべての WAVE PTX デバイスを選択または選択解除できます。次の手順で、**[アクション]** メニューを使用して単一のユニットを削除または変更する場合には、1 台の WAVE PTX デバイスのみを選択します。
4. ページ上部の **[アクション]** メニューをクリックします。実行するアクションをクリックします。一括アクションとしては以下で定義するものがあり、選択したすべてのデバイスで実行されます。アクションを実行する前にプロンプトが表示されます。

- **Wi-Fi ネットワークを管理**

これにより、選択したすべての WAVE PTX デバイス ユニットに対し、優先 Wi-Fi ネットワークを指定できます。**[非表示ネットワーク]** チェックボックスをオンにすると、デバイスがスキーマバージョン 3.4 で設定されていれば、デバイスは任意のネットワークに接続できます。

- **Bluetooth アクセサリを管理**

Bluetooth アクセサリを構成できます。[ブルートゥース アクセサリの一括管理 ページ 106](#) を参照してください。

- **Wi-Fi の有効化**

選択したすべての WAVE PTX デバイス ユニットで Wi-Fi を有効にします。

- **Wi-Fi の無効化**

選択したすべての WAVE PTX デバイス ユニットで Wi-Fi を無効にします。

- **場所の有効化**

選択したすべての WAVE PTX デバイス ユニットからの GPS 位置更新を有効にします。

- **位置情報を無効にする**  
選択したすべての WAVE PTX デバイス ユニットからの GPS 位置更新を無効にします。
- **Bluetooth を無効にする**  
選択したすべての WAVE PTX デバイス ユニットで Bluetooth を有効にします。
- **Bluetooth の無効化**  
選択したすべての WAVE PTX デバイス ユニットで Bluetooth を無効にします。
- **機能停止措置**  
選択したすべての WAVE PTX デバイス ユニットの、WAVE PTX ポータルから削除せずに、一時的に非アクティブにします。
- **機能停止措置解除**  
選択したすべての WAVE PTX デバイス ユニットの再度アクティブ化します。現在機能停止になっていないユニットには影響しません。
- **構成をアップデート**  
WAVE PTX デバイスのファームウェアバージョンを更新します。
- **削除**  
選択した WAVE PTX デバイスのすべての WAVE PTX 情報を削除します。ユニットは、WAVE PTX に戻すまで無効になります。



**注:** WAVE PTX デバイスを削除すると、アカウントからライセンスも削除されます。



レンタル ビジネスのディストリビュータおよびパートナーにのみ適用:

- **取り消し**  
割り当て済みのパートナーまたは顧客から、選択したすべての WAVE PTX デバイスを取り消します。
- **割り当て**  
選択したすべての WAVE PTX デバイスを、選択したパートナーまたは顧客に割り当てます

### 6.7.1

## ブルートゥース アクセサリの一括管理

手順:

1. 左側のナビゲーション フレームで、**[WAVE PTX デバイス]** メニューをクリックします。  
**[WAVE PTX デバイス]** ページが開き、登録されているすべての WAVE PTX デバイスが表示されます。
2. 編集する WAVE PTX デバイスの名前の横にあるチェックボックスをオンにします。複数のチェックボックスをオンにして、WAVE PTX デバイスを一括編集することもできます。  
 **注:** 一番上のチェックボックスでは、すべての WAVE PTX デバイスを選択または選択解除できません。次の手順で、**[アクション]** メニューを使用して単一のユニットを削除または変更する場合には、1 台の WAVE PTX デバイスのみを選択します。
3. 右上隅で **[アクション]** をクリックし、アクション リストから **[ブルートゥース アクセサリを管理]** を選択します。  
 **重要:** ブルートゥース アクセサリの一括編集により、選択したデバイスの既存のブルートゥース アクセサリがすべて上書きされます。これらのデバイス上の既存のブルートゥース アクセサリは、一括更新中に表示されません。
4. 確定するために、**[保存]** をクリックします。

## 6.8

# WAVE PTX デバイスの編集

WAVE PTX ポータルに WAVE PTX デバイスを追加すると、**[ユーザー]** メニューにユーザーとして自動的に表示されます。**[ユーザー]** メニューから、デバイスに関連付けられているグループと連絡先を編集できます。**[WAVE PTX デバイス]** メニューから、WAVE PTX ユニットのプロパティを編集できます。



**注:** デバイス タイプに応じて、**[デバイス情報]** のデバイス詳細が異なる場合があります。

**使用条件:** 個々の WAVE PTX デバイスを編集するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. 登録したアカウントで WAVE PTX にログインします。
2. 左側のナビゲーションフレームで、**[WAVE PTX デバイス]** メニューをクリックします。  
**[WAVE PTX デバイス]** ページが開き、登録されているすべての WAVE PTX デバイスが表示されます。
3. 編集する WAVE PTX デバイスの名前をクリックします。  
選択した WAVE PTX の **[デバイス情報]** ページが開きます。
4. 灰色の見出し領域をクリックすると、セクションを切り替えることができます。
5. **[デバイス情報]** について選択を行います。  
**[デバイス情報]** のパラメータ ページ 108 を参照してください。
6. **[設定]** について選択を行います。  
**[設定]** のパラメータ ページ 109 を参照してください。
7. **[アラート トーン]** について選択を行います。  
**[アラート トーン]** のパラメータ ページ 110 を参照してください。
8. **[メニューの表示]** について選択を行います。  
**[メニューの表示]** のパラメータ ページ 110 を参照してください。
9. オプション: **[ローンワーカー]** について選択を行います。  
ローンワーカー パラメータ ページ 111 を参照してください。
10. オプション: **[フォール アラート]** について選択を行います。  
**[フォール アラート]** のパラメータ ページ 112 を参照してください。
11. **[PTT アプリの設定]** について選択を行います。  
**[PTT アプリの設定]** のパラメータ ページ 112 を参照してください。
12. **[アクセサリ ボタン]** について選択を行います。  
**[アクセサリ ボタン]** のパラメータ ページ 113 を参照してください。
13. **[プログラマブル ボタン]** について選択を行います。  
**[プログラマブル ボタン]** のパラメータ ページ 114 を参照してください。
14. **[プログラマブル GPIO]** について選択を行います。  
**[プログラマブル GPIO]** のパラメータ ページ 114 を参照してください。
15. **[オーディオ]** について選択を行います。  
音声パラメータ ページ 114 を参照してください。
16. **[ソフトウェア]** について選択を行います。  
**[ソフトウェア]** のパラメータ ページ 115 を参照してください。

17. **[診断]** について選択を行います。

**[診断]** のパラメータ ページ 115 を参照してください。

18. **[レポート ステータス]** を確認します。

「**[レポート ステータス]** のパラメータ ページ 115」を参照してください。

19. **[ステータス レポート]** を確認します。

**[ステータス レポート]** のパラメータ ページ 116 を参照してください。

20. 右上隅で、**[アクション]** をクリックします。

次のアクションを使用できます。

#### WiFi ネットワークを管理

これにより、WAVE PTX デバイスに対し、優先 Wi-Fi ネットワークを指定できます。**[非表示ネットワーク]** チェックボックスをオンにすると、デバイスがスキーマバージョン 3.4 で設定されている場合、デバイスは任意のネットワークに接続できます。

#### ブルートゥース アクセサリ

ブルートゥース アクセサリを構成できます。**個々のデバイスのブルートゥース アクセサリの管理 ページ 116** を参照してください。

#### APN プロファイル

APN プロファイルを表示および管理できます。

#### ログを表示

デバイス固有のログを表示できます。

#### デバイスを再起動

デバイスを再起動できます。

#### 無線機のワイプ

MSI サポートおよびパートナーのみがアクセスでき、工場出荷時の状態へのリセットとして機能します。

### 6.8.1

## [デバイス情報] のパラメータ

デバイス タイプに応じて、次の詳細が表示される場合があります。

#### デバイス タイプ

TLK 100、TLK 110、TLK 25 または TLK 150 のデバイス タイプを表示します。



**注:** 連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字 ! # ? および略語。

#### MAC アドレス

メディア アクセス制御 (MAC) アドレスは、ネットワーク インタフェース カード (NIC) に割り当てられている一意の ID です。WAVE PTX では、MAC とシリアル番号を組み合わせ、それぞれの TLK 25 WiFi WAVE PTX デバイスを識別します。

#### IMEI

国際モバイル装置 ID (IMEI) は、すべてのモバイル デバイスに固有の数値識別子です。WAVE PTX では、IMEI とシリアル番号を組み合わせ、それぞれの WAVE PTX デバイスを識別します。

#### ICCID

集積回路カード ID。

#### シリアル番号

それぞれのシリアル番号は WAVE PTX デバイスに固有です。WAVE PTX では、シリアル番号と IMEI を使用して WAVE PTX デバイスを識別し、登録します。

#### 携帯データ プランが有効化/無効化されました

デバイスの携帯データ プランのステータスを表示します。

### 携帯電話のステータス

携帯電話サービスのステータスを表示します。

### 最後の接続

デバイスがネットワークに接続された最後の日付と時刻を表示します。

### ブルートゥース MAC アドレス

### WLAN MAC アドレス

### ハードウェア ID

### 無線機エイリアス

無線デバイスの代替名です。

## 6.8.2

# [設定] のパラメータ

デバイス タイプに応じて、次の詳細が表示される場合があります。

### 言語

デバイスに表示する言語を設定します。

### [Location] (位置情報)

この WAVE PTX デバイスの位置情報を送信するかどうかを切り替えます。

### Wi-Fi

WAVE PTX デバイスの Wi-Fi モデムのオン/オフを切り替えます。

### すべてのアラート トーン

この WAVE PTX デバイスでのアラート トーンを使用するかどうかを切り替えます。

### LTE 回線

WAVE PTX の携帯電話モデムのオン/オフを切り替えます。

### すべてのアラート トーン

この WAVE PTX デバイスでのアラート トーンを使用するかどうかを切り替えます。

### 明るさレベル

WAVE PTX デバイスの表示輝度レベルを設定します。

### デバイス モード

[ユーザー] モードは標準デバイス モードです。[デバイス モード] を[スタン] に切り替えると、ユーザーに戻されるまでデバイスは使用できなくなります。[スタン] は通常、WAVE PTX から設定を削除せずに WAVE PTX ユニットの非アクティブ化のために使用されます。

### メンテナンス モード アナウンス PW

パスワードを入力できます。ここでパスワードを設定しなかった場合、デフォルトのパスワードは無線デバイスのシリアル番号の最後の 8 桁の英数字になります。

### 音声ガイダンス

WAVE PTX デバイスによる音声ガイダンスを受信するかどうかを切り替えます。

### ブルートゥース

WAVE PTX のブルートゥースのオン/オフを切り替えます。

### スキャン

WAVE PTX のスキャンのオン/オフを切り替えます。

### 通知を非表示

WAVE PTX の [作業中] モードの有効/無効を切り替えます。

### MAC アドレスを無作為化

MAC アドレスの無作為化の有効/無効を切り替えます。

**電源オフ確認メニュー**

電源オフ確認メニューの有効/無効を切り替えます。

**最小ボリューム**

WAVE PTX の最小ボリュームを設定します。

**OTG を介して充電するアクセサリ**

On The Go アダプタ (OTG) を使用したアクセサリ充電の有効/無効を切り替えます。

以下のオプションは、TLK 110 デバイスでのみ使用できます。

**屋内位置**

アセットの屋内位置トラッキングの有効/無効を切り替えます。

**特大音量アクセサリ**

WAVE PTX の最大音量のオン/オフを切り替えます。

**GNSS 衛星群**

WAVE PTX デバイス上の全地球測位システム (GNSS) 衛星群を設定します。

## 6.8.3

**[アラート トーン] のパラメータ**

デバイス タイプに応じて、次の詳細が表示される場合があります。

**アラート トーン オフセット (dB)**

WAVE PTX のアラート トーン オフセット レベルを設定します。

この機能は、音声ボリュームを基準としてトーンおよびアラートのボリュームを調節できます。

**着信トーン**

WAVE PTX の着信トーンのオン/オフを切り替えます。

着信トーンは、PTT 着信をユーザーに知らせるために、通信の開始時に 1 回再生されます。

**フロア付与 (通信許可) トーン**

WAVE PTX のフロア付与トーンのオン/オフを切り替えます。

フロアが付与または獲得されると、特定のトーンが鳴ります。このトーンは、発言できることを示します。フロア付与トーンは、発言できることを示します。

**フロア フリー トーン**

WAVE PTX のフロア フリー トーンのオン/オフを切り替えます。

フロア フリー トーンは、誰かが発言を中断し、他の人がフロアを使用できる状態になると、通信の参加者に再生されます。

**フロア リリース トーン**

WAVE PTX のフロア リリース トーンのオン/オフを切り替えます。

フロア リリース トーンは、フロアを所有していたユーザーがフロアをリリースすると、再生されます。

**フロア エラー/通信中トーン**

WAVE PTX の通信中 (エラー) トーンのオン/オフを切り替えます。

通信中 (エラー) は、PTT ボタンを押して、フロアを獲得できないときに再生されます。

**周辺音モニタ アラート トーン****IPA Rx トーン****ネットワーク接続とネットワーク切断トーン**

## 6.8.4

**[メニューの表示] のパラメータ**

[メニューの表示] セクションでは、デバイスのメニューに表示される要素を設定できます。デバイス タイプに応じて、次の詳細が表示される場合があります。

#### [Location] (位置情報)

この WAVE PTX デバイスの位置情報を送信するかどうかを切り替えます。

#### アラート トーン

この WAVE PTX デバイスでのアラート トーンを使用するかどうかを切り替えます。

#### 音声ガイダンス

WAVE PTX デバイスによる音声ガイダンスを受信するかどうかを切り替えます。

#### 明るさレベル

WAVE PTX デバイスの表示輝度レベルを設定します。

#### 通知を非表示

作業中機能の有効または無効を切り替えます。

#### Wi-Fi

WAVE PTX の Wi-Fi モデムのオン/オフを切り替えます。

#### LTE 回線

WAVE PTX の携帯電話モデムのオン/オフを切り替えます。

#### ブルートゥース

WAVE PTX のブルートゥースのオン/オフを切り替えます。

#### スキャン

WAVE PTX のスキャンのオン/オフを切り替えます。

#### ミュート

WAVE PTX のスピーカのオンまたはオフを切り替えます。

以下のオプションは、TLK 110 デバイスでのみ使用できます。

#### キーロック

WAVE PTX のキーロックのオン/オフを切り替えます。

#### ローンワーカー

WAVE PTX のローンワーカー機能のオン/オフを切り替えます。

#### フォール アラート

WAVE PTX のフォール アラート機能のオン/オフを切り替えます。

#### VOX

WAVE PTX の音声起動交換 (VOX) のオン/オフを切り替えます。

#### ノイズ抑制

WAVE PTX のノイズ抑制のオン/オフを切り替えます。

### 6.8.5

## ローンワーカー パラメータ

デバイス タイプに応じて、次の詳細が表示される場合があります。



**注:** このセクションは、緊急モードの開始が許可されている SafeGuard パッケージにのみ適用されます。緊急モード設定を構成するには、[機能の承認 ページ 57](#) を参照してください。

#### ローンワーカー

WAVE PTX のローンワーカー機能のオン/オフを切り替えます。

この機能は、事前定義されたタイマーをユーザーに提供します。このタイマーは、ユーザー操作でリセットできます。このアプリケーションでは、デバイス ボタンまたはチャンネル セレクタをアクティブにしてタイマーをリセットするためのリマインダー トーンがデバイス上でトリガされます。リマインダーが無視された場合、または事前に定義された期間内にタイマーをリセットできない場合は、緊急アラームが生成されます。

### ローンワーカー応答タイマー (分)

タイマーは、最後のユーザー操作からデバイスがリマインダーの送信を開始するまでの待機時間を決定します。ユーザー操作は、いずれかのデバイス ボタンの有効化またはチャンネル セレクタの有効化として定義されます。

### ローンワーカー リマインダー タイマー (秒)

タイマーは、応答時間が切れてから緊急モードを発するまでのデバイスの待機時間を決定します。

## 6.8.6

# [フォール アラート] のパラメータ

フォール アラート機能は、アラームがトリガされたときに、適切な応答担当者またはグループに自動緊急通知を送信します。デバイス タイプに応じて、次の詳細が表示される場合があります。



注: このセクションは、緊急モードの開始が許可されている SafeGuard パッケージにのみ適用されます。緊急モード設定を構成するには、[機能の承認 ページ 57](#) を参照してください。

### フォール アラート

WAVE PTX のフォール アラート機能のオン/オフを切り替えます。

### フォール アラート タイプ

WAVE PTX デバイスで機能のタイプを設定します。

### フォール アラート感度

WAVE PTX デバイスで機能検出アルゴリズムの感度を設定します。

### フォール アラート角度

WAVE PTX デバイスで機能検出アルゴリズムの角度を設定します。

### フォール アラート プリアラーム期間 (秒)

ユーザーの転倒を検出してから緊急アラームを発するまでのデバイスの待機時間を設定します。

### フォール アラート アラーム期間 (秒)

WAVE PTX デバイスのアラーム期間を設定します。

## 6.8.7

# [PTT アプリの設定] のパラメータ

デバイス タイプに応じて、次の詳細が表示される場合があります。

### 優先ネットワーク

デバイスが接続に使用するネットワークのタイプを表示します。ネットワークは、ドロップダウンから [Wi-Fi]、[Wi-Fi のみ]、[携帯型]、または [携帯型のみ] に変更できます。

### アクティブ ネットワーク

**[お気に入りのネットワーク]** 行で選択されたデバイスのアクティブ ネットワークを表示します。

### ユーザー名

デバイスの登録時に入力したデバイスの名前が表示されます。

### サービス URI

デバイスをサービスに接続するサーバー URI を表示します。

### LCMS URI

ライフ サイクル管理サーバー (LCMS) の URI を表示します。

### LCMS 認証キー

LCMS 認証キーを表示します。

### Kodiak ID

フルフィルメント フロー中にシステムによって設定された 15 桁 (MDN または MSISDN) を表示します。



### アクティベーション コード

ユーザーがアクティベーションのために WAVE PTX デバイスで入力する必要があるコードを表示します。

### クライアント シークレット

MCPTT サーバー アクセスには、「clientId」と [クライアント シークレット] が必要です。PTT アプリの「clientId」は、次のとおりです: ptths

このオプションでは、対応する秘密鍵が表示されます。

### OpenID Connect (OIDC) URI

MCPTT サーバーはアクセス管理として keycloak サーバーを使用し、接続は Open ID 接続を使用します。

### OIDC Wi-Fi URI

### サービス Wi-Fi URI

## 6.8.8

# [アクセサリ ボタン] のパラメータ

[アクセサリ ボタン] を使用すると、ボタンに機能を割り当てることにより、デバイスを設定できます。



注: デバイス タイプに応じて、[アクセサリ ボタン] セクションが非表示になっている場合があります。

- P1 の短押し
- P1 の長押し
- P2 の短押し
- P2 の長押し
- P3 の短押し
- P3 の長押し
- P4 の短押し
- P4 の長押し

この機能には以下が含まれます。

#### なし

設定が割り当てられていません。

#### 全アラート トーンの切り替え

すべてのアラート トーンをオンまたはオフにします。

#### 音声ガイダンスの切り替え

すべての音声ガイダンスをオンまたはオフにします。

#### 作業中機能の切り替え

デバイスの [作業中] ステータスをオンまたはオフにします。

#### スキャンの切り替え

デバイスの [スキャン] オプションをオンまたはオフにします。

#### チャンネル アップ

デバイス チャンネルを上に移動します。

#### チャンネル ダウン

デバイス チャンネルを下に移動します。

#### 位置の切り替え

デバイスの位置設定をオンまたはオフにします。

#### ブルートゥースの切り替え

デバイスのブルートゥース設定をオンまたはオフにします。

### Wi-Fi 切り替え

デバイスの Wi-Fi 設定をオンまたはオフにします。

### セルラーの切り替え

デバイスのセルラー設定をオンまたはオフにします。

### ミュート/ミュート解除

デバイスをミュートまたはミュート解除します。

### キーロックの切り替え

デバイスのキーをロックまたはロック解除します。

### VOX

デバイスの音声設定を管理します。

### ノイズ抑制

デバイスのノイズ抑制設定を管理します。

## 6.8.9

# [プログラマブル ボタン] のパラメータ

**プログラマブル ボタン**を使用すると、サイド ボタンに機能を割り当てることで、デバイスを設定できます。必要に応じて次の情報を編集します。



**注:** デバイス タイプに応じて、**[プログラマブル ボタン]** 機能が非表示になっている場合があります。

- サイド ボタンの短押し
- サイド ボタンの長押し

この機能には以下が含まれます。

### 連絡先

### メニュー



**注:** 両方のオプションに同じ値を選択することはできません。いずれかのオプションの値を選択すると、その値は自動的に他のオプションで使用できなくなります。

## 6.8.10

# [プログラマブル GPIO] のパラメータ

### SWB+ (スイッチボード プラス)

プログラマブル GPIO <N>

プログラマブル GPIO <N> アクティブ レベル

## 6.8.11

# 音声パラメータ

### 音声起動アラート (VOX)

VOX のオン/オフを切り替えます。

### 音声起動アラート (VOX)

VOX 感度の **[低]** または **[高]** を切り替えます。

### ノイズ抑制 (AINS)

ノイズ抑制のオン/オフを切り替えます。

### ノイズ抑制 (AINS) レベル

ノイズ抑制レベルの **[低]**、**[中]**、または **[高]** を切り替えます。

## 6.8.12

### [ソフトウェア] のパラメータ

デバイス タイプに応じて、次の詳細が表示される場合があります。

#### アプリケーションパッケージのバージョン

WAVE PTX ユニットのアプリケーションパッケージのバージョンを表示します。

#### ファームウェアバージョン

WAVE PTX ユニットのファームウェアバージョンを表示します。

#### ソフトウェアダウンロード

指定したソフトウェアコンポーネントが無線アップグレード用にダウンロードされているかどうかを表示します。

#### ソフトウェアスイート

#### ソフトウェアスイートのダウンロード転送

#### Wi-Fi 優先待機時間

## 6.8.13

### [診断] のパラメータ

#### 診断ダウンロード MM を有効にする

USB 経由でデバイスから診断ログを直接抽出できます。無効にすると、ユーザーには USB で抽出する権限が与えられず、エラーメッセージが表示されます。

#### 利用可能な診断パッケージ

診断パッケージがダウンロード可能かどうかを表示します。

## 6.8.14

### [レポートステータス] のパラメータ

[レポートステータス] では、WAVE PTX デバイスのレポートを設定できます。



注: デバイス タイプに応じて、[レポートステータス] 機能が非表示になっている場合があります。

- レポート間隔  
レポートの更新間隔を設定します。
- GPS 座標
- 電池残量レベル
- 携帯型の信号強度
- Wi-Fi 信号強度
- ブルートゥースのステータス
- 携帯電話事業者

### 6.8.15

## [ステータス レポート]のパラメータ

[ステータス レポート]には、[ステータス レポート]のパラメータ ページ 116 で選択したオプションに関する情報を含む最新のレポートが表示されます。



注: デバイス タイプに応じて、[ステータス レポート]機能が非表示になっている場合があります。

電池残量レベル

バッテリー タイプ

充電ステータス

携帯型の信号強度

Wi-Fi 信号強度

GPS 座標

ブルートゥースのステータス

携帯電話事業者

### 6.8.16

## 個々のデバイスのブルートゥース アクセサリの管理

選択したデバイスのブルートゥース アクセサリを表示、編集、ペアリング解除、および削除できます。

手順:

1. 左側のナビゲーション フレームで、[WAVE PTX デバイス] メニューをクリックします。  
[WAVE PTX デバイス] ページが開き、登録されているすべての WAVE PTX デバイスが表示されます。

2. デバイス リストでデバイスを検索し、デバイス名をクリックします。



**ヒント:** [検索] バーにデバイスのシリアル番号を入力できます。デバイスのシリアル番号は、梱包箱のラベルまたはバッテリー コンパートメント内のデバイス ラベルにあります。

3. 選択したデバイスについて、[詳細]→[アクション]→[ブルートゥース アクセサリ]に移動します
4. ブルートゥース アクセサリを登録するには、[フレンドリ名] フィールドに完全なアクセサリ名を入力します。



注: 次は使用しないでください: 特殊文字! # ? \_。また、名前にスペースを残さないでください。フレンドリ名が正しくない場合、ブルートゥース ペアリング プロセスが成功しません。

アクセサリに応じて、フレンドリ名が異なる場合があります。

5. [保存] をクリックします。

入力された情報が有効な場合、ブルートゥース ペアリング プロセスが成功します。アクセサリがリストに表示されます。次の情報列が表示されます。

名前

MAC アドレス

PIN コード

6. 下記のいずれかを実行します。

- アクセサリ情報を削除し、ペアリング解除するには、[削除] をクリックします。
- アクセサリをペアリング解除するには、[ペアリング解除] をクリックします。  
デバイスの MAC アドレスが消えたら、ブルートゥース アクセサリのペアリングは正常にクリアされています。

- アクセサリを編集するには、**[編集]** をクリックします。

## 6.9

# WAVE PTX デバイス ユーザーの編集

WAVE PTX ポータルに WAVE PTX デバイスを追加すると、[ユーザー] メニューにユーザーとして自動的に表示されます。[ユーザー] メニューから、デバイスに関連付けられているグループと連絡先を編集できます。WAVE PTX の [デバイス] メニューから、WAVE PTX デバイスのプロパティを編集できます。

**使用条件:** WAVE PTX デバイスのユーザーを編集するには、次の手順に従います。

### 手順:

1. 顧客アカウントを使用して WAVE PTX ポータルにログインします。
2. 左側のフレームで、**[ユーザー]** メニューをクリックします。
3. **[ユーザー]** リストで、編集する WAVE PTX デバイス ユーザーの **[名前]** をクリックします。
4. 必要に応じて次の設定を編集します。各設定は以下のとおりです。

### 表示名

[WAVE PTX デバイス] メニューと [ユーザー] メニューの両方で、このユーザー/デバイスの名前を指定します。また、他の WAVE PTX デバイス、ディスプレイ付き無線ユニット、およびブロードバンド ユニットに表示されるユーザーのエイリアスもここで指定したものになります。このフィールドは編集できます。



**注:** 連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字! # ? および略語。

### 電子メール

このユーザーのメール通信用の電子メール アドレスを表示します。このフィールドは編集できません。

### パッケージ

選択したパッケージを表示します。このフィールドは編集できます。使用可能なパッケージの詳細については、[サブスクリプションのタイプ ページ 23](#) を参照してください。

### ポータル アクセスを許可しますか?

このユーザーが WAVE PTX ポータルにサインインできるようにするには、**[ポータル アクセスを許可しますか]** を選択します。これにより、ユーザーは、Wi-Fi ネットワーク リストにアクセスして、接続に必要な追加の Wi-Fi アクセス ポイントを設定することができます。

### 連絡先

この WAVE PTX デバイス ユーザーが個別に通信できる連絡先を選択できます。

### 連絡先と機能の管理

このページで **[連絡先と機能の管理]** をクリックすると、この WAVE PTX デバイス ユーザーに関連付けられている連絡先の編集ページに移動します。

### グループの関連付けを管理

このページで **[グループの関連付けの管理]** をクリックすると、この WAVE PTX デバイス ユーザーに関連付けられているグループの編集ページに移動します。グループを選択し、ドロップダウンから位置、優先度の割り当て、および通信許可の変更を行います。[スーパーバイザーとブロードキャスト] チェックボックスをオンにして、グループのスーパーバイザーとブロードキャストを設定することもできます。

### デバイスのプロパティをアップデート

このページで **[デバイスのプロパティ]** をクリックすると、WAVE PTX デバイスのプロパティ ページに切り替わります。デバイス詳細の編集の詳細については、[WAVE PTX デバイスの編集 ページ 107](#) を参照してください。

5. 変更が完了したら、**[保存]** ボタンをクリックして、[ユーザー] ページに戻ります。

## 6.10 グループを管理する

WOC ポータルから 2.0 および 3.0 ソフトウェア デバイスのグループを管理することができます。ソフトウェアのバージョンに応じて、[ユーザー] メニューの [グループ] からのグループ、または [連絡先と機能] を設定できます。

**使用条件:** WAVE PTX デバイスのグループ構成を管理するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. 2.0 ソフトウェア デバイスのグループを設定するには、次の手順に従います。

図 69: グループ構成の管理

TALKGROUP NAME	TYPE	POSITION	PRIORITY	CALL INITIATE	CALL RECEIVE	IN CALL	SUPERVISOR	BROADCASTER
DispatchTG-11	Dispatch	1	No Priority	Allow	Allow	Talk + Listen		
DispatchTG-12	Dispatch	2	No Priority	Allow	Allow	Talk + Listen		
DispatchTG-13	Dispatch	3	No Priority	Allow	Allow	Talk + Listen		
DispatchTG-14	Dispatch	4	No Priority	Allow	Allow	Talk + Listen		
DispatchTG-15	Dispatch	5	No Priority	Allow	Allow	Talk + Listen		
StandardTG-01	Standard	6	No Priority	Allow	Allow	Talk + Listen		
StandardTG-02	Standard	7	No Priority	Allow	Allow	Talk + Listen		
StandardTG-03	Standard	8	No Priority	Allow	Allow	Talk + Listen		
StandardTG-04	Standard		No Priority	Allow	Allow	Talk + Listen		
StandardTG-05	Standard		No Priority	Allow	Allow	Talk + Listen		
StandardTG-06	Standard		No Priority	Allow	Allow	Talk + Listen		
StandardTG-07	Standard		No Priority	Allow	Allow	Talk + Listen		
StandardTG-08	Standard		No Priority	Allow	Allow	Talk + Listen		
StandardTG-09	Standard		No Priority	Allow	Allow	Talk + Listen		

- a. [ユーザー] メニューの [グループ] 列で、[管理] をクリックします。
  - b. グループの管理ページが表示されます。詳細を設定し、[保存] をクリックして変更を適用します。
2. 3.0 ソフトウェア デバイスのグループを設定するには、次の手順に従います。

図 70: グループ構成の管理

Name	Talkgroup Type	Zone	Position	Scan List Priority
DispatchTG-11	Dispatch	1	1	Not in Scan List
DispatchTG-12	Dispatch	1	00	Not in Scan List
DispatchTG-13	Dispatch	1	01	Not in Scan List
DispatchTG-14	Dispatch	1	02	Not in Scan List
DispatchTG-15	Dispatch	1	03	Not in Scan List
StandardTG-01	Standard	1	04	Not in Scan List
StandardTG-02	Standard	1	05	Not in Scan List
StandardTG-03	Standard	1	06	Not in Scan List
StandardTG-04	Standard	Not Assigned	07	Not in Scan List
			08	Not in Scan List
			09	Not in Scan List
			10	Not in Scan List
			11	Not in Scan List
			12	Not in Scan List
			13	Not in Scan List
			14	Not in Scan List
			15	Not in Scan List
			16	Not in Scan List

- a. [ユーザー] メニューの [連絡先と機能] 列で、[管理] をクリックします。

- b. [Central Admin Tool] ページが表示されます。[グループ] タブをクリックし、詳細を設定します。
- c. [保存] をクリックし、変更を保存します。

## 6.11

# デバイスのクローン作成 – デバイス登録後

デバイス登録後のクローン作成では、デバイスの登録後に連絡先、グループ、または構成 (デバイス パラメータ) をコピーできます。連絡先とグループを選択せずにソース デバイスの設定詳細をコピーすることも、ソース デバイスを選択せずに、連絡先とグループのみをクローン先のデバイスにコピーすることもできます。次の手順は、TLK 100、TLK 150、TLK 110、TLK 25、EVOLVE、および SLN 1000 デバイ스에適用されます。TLK 25 クローン作成は、EMEA 地域でのみ使用できます。

### 手順:

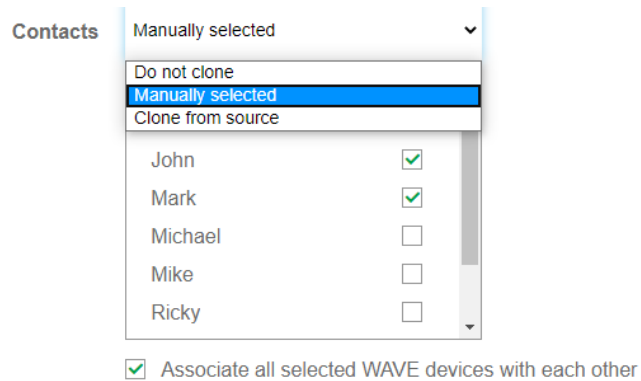
1. [顧客] メニューから [デバイスをクローン] をクリックします。
2. [デバイスのクローン作成元] ドロップダウンから、詳細をコピーするソース デバイスを選択します。

図 71: [デバイスをクローン] ホーム ページ

The screenshot shows the 'Clone Device' interface. On the left is a navigation menu with items like 'Tranz INDUSTRY', 'Users', 'TalkGroups', 'WAVE Devices', 'Clone Devices' (highlighted), 'SLN 1000s', and 'Nitro'. The main content area has a 'Clone Device from' dropdown. Below it is a 'Devices' list with checkboxes for 'Select All', 'John', 'Michael', 'Mike', 'Ricky', and 'Sebastian'. There is a 'Configuration' checkbox. At the bottom, there are 'Contacts' and 'TalkGroups' dropdowns, both set to 'Do not clone'. A green 'SUBMIT' button is at the bottom right.

3. [デバイス] で、詳細をコピーするデバイスの横にあるチェック ボックスをオンにします。
4. ソース デバイスからデバイス パラメータをコピーする場合は、[構成] チェックボックスをオンにします。
5. 選択したすべての WAVE デバイスを相互に関連付ける場合は、[デバイスを関連付ける] チェックボックスをオンにします。
6. [連絡先] ドロップダウンから、次のいずれかを選択します。
  - a. 連絡先を複製先デバイスにコピーしない場合は、[クローンしない] を選択します。
  - b. 登録済みデバイスの連絡先を複製先デバイスに手動でコピーする場合は、[手動で選択済み] を選択します。
  - c. ソース デバイスの連絡先のみをコピーする場合は、[ソースからクローン] を選択します  
[ソースからクローン] はソース デバイスを [デバイスのクローン作成元] から選択した場合にのみ表示されます

図 72: 連絡先の複製



7. **[グループ]** ドロップダウンから、次のいずれかを選択します。
  - a. グループを複製先デバイスにコピーしない場合は、**[クローンしない]** を選択します。
  - b. 登録済みデバイスのグループを複製先デバイスに手動でコピーする場合は、**[手動で選択済み]** を選択します。
  - c. ソース デバイスのグループのみをコピーする場合は、**[ソースからクローン]** を選択します  
**[ソースからクローン]** はソース デバイスを **[デバイスのクローン作成元]** から選択した場合にのみ表示されます
8. **[送信]** をクリックします。
9. 確認ポップアップウィンドウで、**[OK]** をクリックします。

**結果:** **[通知]** には、クローン作成の成功を示すメッセージと通知が表示されます。**[WAVE PTX デバイス]** ページに移動するには、**[マイ デバイスの表示]** をクリックします。

WAVE PTX 2.0 および 3.0 デバイスのグループを表示および管理するには、[グループを管理する ページ 118](#) を参照してください。



## 第 7 章

# グループの関連付けの管理

ユーザーの横にある **[管理]** リンクを使用して、そのユーザーに関連付けられている [Central Admin Tool] (CAT) ページに移動します。または、ユーザーの名前をクリックし、**[グループの関連付けを管理]** リンクを使用して、ユーザーのプロファイルの Central Admin Tool (CAT) に移動することもできます。

### 7.1

## 通信許可の変更

**使用条件:** 通信許可を変更するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. グループに関連付けられている通信中ドロップダウンから、**[通話と聞き取り]** または **[聞き取り専用]** を選択して、**[保存]** ボタンをクリックします。
2. 情報メッセージが表示されます。
3. **[OK]** をクリックして、次に進んでください。

### 7.2

## 通信受信許可の変更

**使用条件:** 通信受信許可を変更するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. グループに関連付けられている通信受信ドロップダウンから、**[許可]** または **[許可しない]** を選択し、**[保存]** ボタンをクリックします。
2. 情報メッセージが表示されます。
3. **[OK]** をクリックして、次に進んでください。

### 7.3

## 通信許可の変更

**使用条件:** 通信許可を変更するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. グループに関連付けられている通信中ドロップダウンから、**[通話と聞き取り]** または **[聞き取り専用]** を選択して、**[保存]** ボタンをクリックします。
2. 情報メッセージが表示されます。
3. **[OK]** をクリックして、次に進んでください。

## 7.4

## Location Watcher の管理

位置情報機能を使用すると、ユーザーはグループメンバーの場所を追跡できます。

**使用条件:** グループのユーザーの Location Watcher 機能を有効にするには、次の手順を実行します。

**手順:**

1. グループチェックボックスをオンにし、そのグループに関連付けられている **[Location Watcher]** チェックボックスをオンにします。
2. **[保存]** ボタンをクリックします。
3. 情報メッセージが表示されます。
4. **[OK]** をクリックして、次に進んでください。

## 7.5

## グループ内のスーパーバイザーの管理

スーパーバイザーは、他のユーザーがフロアを所有している場合でも、ユーザーに、フロアを取得して通信中にいつでも発話する権限を付与できます。

**使用条件:** 任意グループのユーザーのスーパーバイザー機能を有効にするには、次の手順を実行します。

**手順:**

1. グループのチェックボックスをオンにし、そのグループに関連付けられている **[スーパーバイザー]** チェックボックスをオンにします。
2. **[保存]** ボタンをクリックします。
3. 情報メッセージが表示されます。
4. **[OK]** をクリックして、次に進んでください。

## 7.6

## グループ位置の管理

標準グループと管理コンソールグループには、グループ通信用の位置が必要です。1つのグループには1～16の位置を割り当てることができます。

## 7.7

## ディスパッチャとユーザーをグループに関連付ける

管理コンソールグループを作成したら、通信のためにそのグループを使用する管理コンソールに、グループに関連付ける必要があります。

**使用条件:** グループをディスパッチャに関連付けるには、次の手順を実行します。

**手順:**

1. グループ画面で、グループの上にカーソルを置き、**鉛筆**アイコンをクリックします。
2. ここから、ディスパッチャとユーザーを編集できます。

図 73: ユーザーをグループに関連付ける

< TalkGroups CANCEL SAVE

\* Required field

TalkGroup Name\*  
0001\_ALTG  Large TalkGroup

Radio System  
None

Talkgroup Members

Users 0000 100 500 1000

<input type="checkbox"/>	NAME ▲	DEVICE TYPE	USER TYPE	SUPERVISOR	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	+WAVEDevice060IMEI	TLK 100	Broadband	No	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	A_Test Tablet	Tablet	Broadband	No	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Dinesh Samsung	+12015556382	Broadband	No	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	EVO_0002	EVOLVE	Broadband	No	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	EVO_0003	EVOLVE	Broadband	No	<input type="checkbox"/>

3. ディスパッチャグループには、少なくとも1つのディスパッチャが必要です。グループには、最低2人のユーザーが割り当てられている必要があります。

## 第 8 章

## ユーザーと WAVE PTX デバイスの表示

ディストリビュータ、パートナー、および顧客に追加されるユーザーおよび WAVE PTX デバイス ページの表示は、フィルタを適用してカスタマイズできます。

図 74: フィルタとカスタマイズ - [ユーザー] ページ

The screenshot shows a user management interface. At the top, there is a search bar and buttons for 'ADD USER', 'IMPORT', and 'Download Rental Report'. Below this is a summary of license usage. A 'Filters' panel on the left allows selection of 'DEVICE TYPE', 'ASSOCIATED TO', 'STATUS', and 'USER TYPE'. The main table displays user information:

DEVICE TYPE	EMAIL	USER TYPE	STATUS
TLK 150	-	Broadband	Disabled
Tablet	-	Broadband	Disabled
Tablet	-	Broadband	Disabled
Tablet	-	Broadband	Disabled

On the right, a 'Customize' panel shows checkboxes for 'DEVICE TYPE', 'EMAIL', and 'STATUS', all of which are checked. A 'CLOSE' button is at the bottom of the customize panel.

[ユーザー] ページでは、次のフィルタを使用できます。

#### デバイス タイプ

モバイルまたはタブレット、TLK 100、または TLK 150 などのデバイスのタイプを選択して表示できます。

#### [次に関連付ける]

ユーザーが関連付けられるパートナーまたは顧客を選択できます。

#### 状態

[アクティブ] または [無効] のユーザーを選択して表示できます。

#### ユーザー タイプ

[ブロードバンド]、[ディスパッチャ]、または [MOTOTRBO] のユーザー タイプを選択して表示できます。

フィルタを選択したら、[フィルタを適用] をクリックします。[フィルタのリセット] をクリックすると、すべてのフィルタをデフォルトにリセットできます。

[カスタマイズ] では、[ユーザー] ページの列を表示または非表示にできます。列を表示または非表示にするには、[カスタマイズ] をクリックし、[デバイス タイプ]、[電子メール]、または [ステータス] の横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。完了したら、[閉じる] をクリックします。

WAVE PTX デバイス ページでは、列の表示/非表示をカスタマイズすることのみできます。次の画面にカスタマイズ オプションが表示されます。

図 75: カスタマイズ - WAVE PTX ページ

The screenshot shows the WAVE PTX device management interface. At the top, there is a search bar and buttons for 'REGISTER TLK100 / TLK 150' and 'IMPORT RENTAL DEVICES ASSIGNMENT'. Below this is a table of devices:

NAME	DEVICE ID	IMEI NUMBER	SERIAL NUMBER	DEVICE TYPE	LAST CONNECTED	CELL PLAN	SOFTWARE VERSION	SOFTV DOWN
Rental Polaris	WGFLXD-SJAAACHS	352704110000487	341CVU0049	TLK150	2019-10-22T05:30:28.595Z	None	POLARIS_BASE_ENG_D03.00.13_APPS_D03.00.13	No

On the right, a 'Customize' panel shows checkboxes for 'DEVICE ID', 'IMEI NUMBER', 'SERIAL NUMBER', 'CELL PLAN', 'SOFTWARE VERSION', and 'SOFTWARE DOWNLOADED', all of which are checked. A 'CLOSE' button is at the bottom of the customize panel.

列を表示または非表示にするには、**[カスタマイズ]** をクリックして、[デバイス ID]、[IMEI 番号]、[シリアル番号]、[セル プラン]、[ソフトウェア バージョン]、[ソフトウェア ダウンロード] の横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。完了したら、**[閉じる]** をクリックします。

## 第 9 章

# WAVE PTX アプリケーションのダウンロード

クライアントは、iOS または Android のアプリ ストアから入手できます。古い WAVE PTX Mobile Communicator を削除する必要はありませんが、混乱を避けるため、古いアプリケーションを使用しない限り削除することをお勧めします。インストールが完了すると、新しいアプリケーションの次の起動アイコンが表示されます。



注: サポートされている LTE キャリアは AT&T、Verizon、Sprint、および T-Mobile です。

**使用条件:** WAVE PTX クライアント アプリケーションをダウンロードして起動するには、次の手順に従います。

**手順:**

1. 電子メールに記載されている指示に従うか、アプリ ストアで WAVE PTX OnCloud Push-to-Talk を検索します。
2. アプリケーションをダウンロードして起動します。
3. メッセージが表示されたら、アプリケーションにオーディオの録音、デバイスの位置情報へのアクセス、連絡先へのアクセス、電話の発信と管理、写真、メディア、ファイルへのアクセス、デバイスの SMS メッセージの送信と表示を許可する必要があります。

WAVE PTX では、クライアントから連絡先に電話をかける機能を提供するために、連絡先にアクセスする必要があります。WAVE PTX では、電話にアクセスして連絡先に電話をかけ、携帯電話からの着信時の処理を最小化する必要があります。WAVE PTX では、メディア ファイルにアクセスして、アプリケーション経由で転送できるようにする必要があります。

4. メッセージが表示されても、バッテリーの使用は最適化しないでください。この操作は、バックグラウンド操作の妨げになります。
5. [エンド ユーザー使用許諾契約 (EULA)] ページが表示されます。電話機で PTT サービスをアクティブ化するには、EULA を読み、同意してください。
6. **[はい]** をタップしてアクティブ化を確認します。
7. プロンプトが表示されたら、顧客またはオペレータから提供されたアクティベーション コードを入力して、PTT アプリケーションをアクティブにします。アクティベーション コードはこの電子メールまたは SMS 経由で送信されます。アクティベーション パスコードを受け取っていない場合は、このアカウントを所有している顧客に連絡し、アクティベーション パスコードを生成するように依頼します。
8. WAVE PTX PTT アプリケーションは、サーバーに接続して、ログインする前に連絡先とグループ (存在する場合) を取得します。情報通知を受け取った場合は、手順 9 を参照してください。情報通知を受け取っていない場合は、手順 10 に進みます。
9. 電話番号がシステムに存在しない場合は、試用版アカウントを作成するように求められます。
  - 顧客として無料試用版アカウントを開始する場合は、**[無料試用版]** をクリックし、画面の指示に従います。30 日間の無料試用版ライセンスが付与され、独自のグループを作成して、独自のユーザーを招待できます。
  - **[無料試用版]** をタップします。
  - 必要な情報を入力して、**[サインアップ]** ボタンをタップします。

- ユーザーを招待するには、ユーザーの電話番号を入力して、**[招待]** ボタンをクリックします。最大 10 名まで招待できます。ユーザーとしてアカウントに登録するための SMS の指示が送信されます。
  - アカウントの WAVE PTX カスタマー ポータルを開くには、**[ホーム ダッシュボードに移動]** ボタンをクリックします。
10. WAVE PTX アプリケーションが起動すると、使い方ヒントを表示できます。**[使い方ヒントのスキップ]** をクリックすると、アプリケーションのメイン ページが表示されます。使い方ヒントは、メニューからいつでも起動できます。
  11. アプリケーションが起動すると、画面上部に「利用可能」と表示されます。これで、新しい WAVE PTX Communicator の使用を開始する準備ができました。

## 第 10 章

# 無線システムの追加

サポートされている Motorola 無線システム用の WAVE PTX 無線システムを作成し、グループとの通信を統合するには、次の操作を実行します。

**前提条件:** WAVE PTX ゲートウェイと無線システム ハードウェアを接続していることを確認します。

- Capacity Max ハードウェアのインストールについては、[Capacity Max ハードウェアへの接続 ページ 128](#) を参照してください。
- [WAVE PTX ゲートウェイ ページ 146](#)

**手順:**

1. 必要なパラメータを記録します。[必要な無線機情報 ページ 130](#) を参照してください。
2. 無線システムのタイプに応じて、次のいずれかの手順に従います。
  - [Connect Plus 無線システム \(製造中止製品\) の登録 ページ 131](#)
  - [Capacity Plus 無線システムの登録 ページ 132](#)
  - [Capacity Max 無線システムの登録 ページ 134](#)
  - [IPSite 無線システムの登録 ページ 136](#)
3. オプション: 無線システムを追加した後、[無線サブスクリバの追加 ページ 139](#) を参照してください。
4. オプション: 無線システムを追加した後、[無線システムとグループの関連付け ページ 139](#) を参照してください。
5. オプション: 無線システムを追加した後、[無線送信機能のテスト ページ 142](#) を参照してください。

### 10.1

## Capacity Max ハードウェアへの接続

このセクションの手順は、Capacity Max 無線システムと個別に統合する際の一般的な参考資料として提供されています。

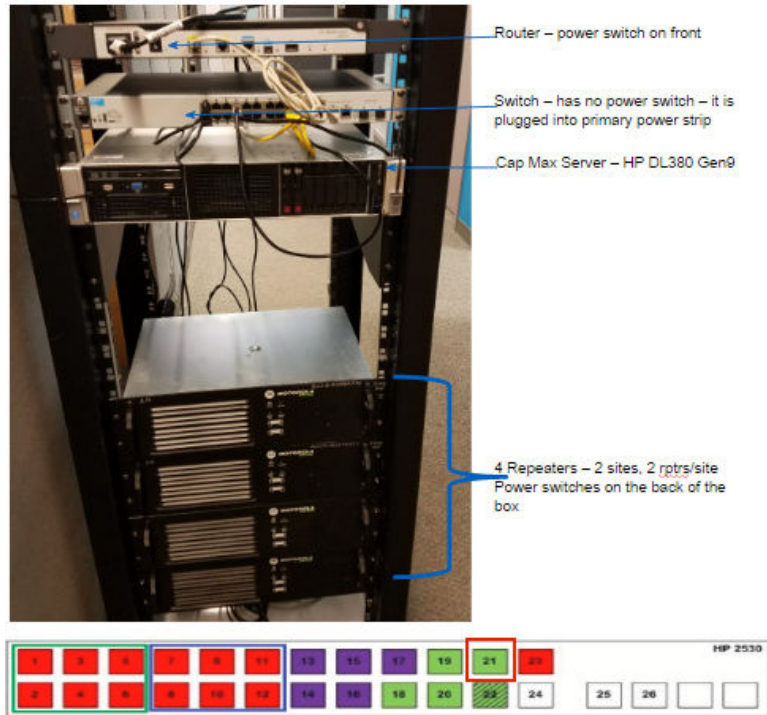
Ethernet ケーブルを使用して、WAVE PTX ゲートウェイをスイッチ ポート 21 に接続します。



**重要:** WAVE ゲートウェイでは、WAVE PTX システムに接続するためにインターネット アクセスが必要です。無線システムを分離する必要がある場合は、Capacity Max と WAVE PTX ゲートウェイの間にセカンダリ スイッチを配置し、セカンダリ スイッチをインターネットに接続します。

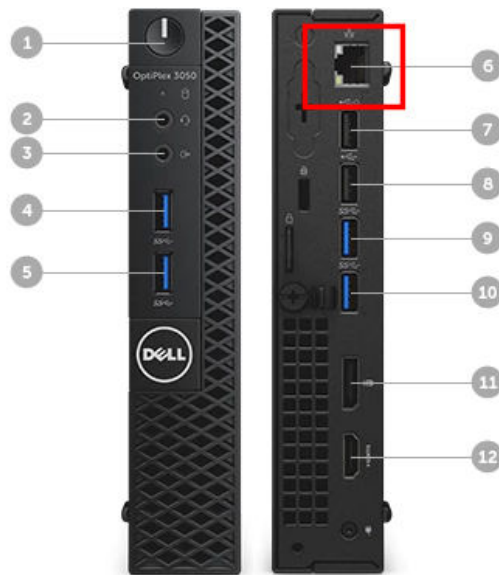


図 76: Capacity Max ハードウェア



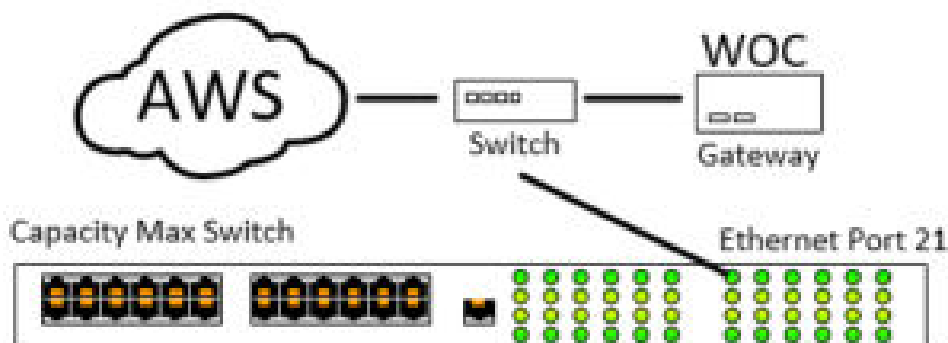
WAVE PTX ゲートウェイの背面にあるイーサネット ジャックを使用します。イーサネット ケーブルを Capacity Max スイッチの背面にあるイーサネット ポート 21 に接続します。

図 77: 光学ジャック



無線システムをインターネットから分離する必要がある場合は、次の図に示すように、インターネット接続の中間スイッチを使用します。

図 78: 代替スイッチ - Capacity Max



## 10.2


### 必要な無線機情報

MOTOTRBO CPS バージョン 2.0 以降、リピータ構成ファイル、ならびに データ MNIS および DDMS ツールを使用します。これらのツールは、<https://myview.motorolasolutions.com/> で入手できます。アクセスできない場合は、Motorola Solutions サポートにお問い合わせください。

MOTOTRBO 顧客プログラミング ソフトウェア (CPS) を使用して、MOTOTRBO 無線システム パラメータを [WAVE PTX ゲートウェイ接続情報] ウィンドウにコピーします。

MOTOTRBO CPS アプリケーションから、リピータ構成ファイルを開いて MOTOTRBO 無線システム パラメータを表示します。パラメータの場所は、[表 1: CPS ツールのリピータ パラメータ ページ 130](#) で確認できます。

表 1: CPS ツールのリピータ パラメータ


パラメータ	CPS の位置
購入した機能	メイン ページで使用できます。[構成] をクリックします。
デバイス ファームウェア バージョン	[構成] → [デバイス情報] → [ファームウェア バージョン] に移動します  注: ファームウェア バージョンが R02.70.xx より前の場合は、Network Application Interface Voice および Network Application Interface Data のライセンスを購入します。複数のリピータがある場合、すべてのファームウェア バージョンは同じです。
Primary IP アドレス	[全般] → [リンク確立] → [ネットワーク設定] → [Primary IP] に移動します
Primary UDP Port	[全般] → [リンク確立] → [ネットワーク設定] → [Primary UDP Port] に移動します
MNIS 無線機 ID またはゲートウェイ ピア ID	MNIS 無線機 ID またはゲートウェイ ピア ID は、無線システムでは発生しない一意の ID です。無線システムへの WAVE PTX ゲートウェイを LE (Link Establishment) ピアとして識別するために使用されます。無線機とリピータはすべて、固有の ID を持ちます。WAVE PTX ゲートウェイには、無線システムの他の ID と同じ ID を設定できません。 [全般] → [リンク確立] → [ネットワーク設定] → [MNIS 無線機 ID/ゲートウェイ ピア ID] に移動します
MNIS リンク確立 UDP ポート	[MNIS リンク確立 UDP ポート] フィールドで、LE (Link Establishment) ドメインへのゲートウェイとしての UDP ポートを入力します。WAVE PTX ゲートウェイはこのポートを使用して、無線システムからの音声およびキープアライブ メッセージを送受信します

パラメータ	CPS の位置
	す。[全般]→[リンク確立]→[ネットワーク設定]→[MNIS リンク確立 UDP ポート] に移動します
ゲートウェイ CAI ID	[全般]→[ネットワーク]→[全般ネットワーク]→[CAI ID] に移動します
ゲートウェイ CAI グループ ネットワーク ID	[全般]→[ネットワーク]→[全般ネットワーク]→[CAI グループ ネットワーク ID] に移動します
DDMS サーバー IP アドレス	これは、無線システムでネットワーク アプリケーション インタフェース (NAI) データが有効になっている場合にのみ必要です。無線システムで NAI データを使用しない場合は、IP アドレスに 127.0.0.1 を入力します。
DDMS Watcher Port	これは、無線システムで NAI データが有効になっている場合にのみ必要です。システムで NAI データを使用しない場合は、このフィールドを空白にします。

### 10.3

## Connect Plus 無線システム (製造中止製品) の登録

#### 手順:

1. [顧客] ページで、[無線システム] をクリックします。[無線システム] ページが開きます。最初はページが空白になっています。
2. 白い四角形の中の [大きいプラス] 記号をクリックして、無線システムを追加します。WAVE PTX ゲートウェイ ウィザードが開きます。
3. [ゲートウェイの作成] で、次の手順を実行します。
  - a. 既存の WAVE PTX ゲートウェイがすでにネットワークにインストールされている場合は、[既存のゲートウェイ] リストでそのゲートウェイを選択します。まだない場合は、手順 3 で追加します。この手順は、既存の WAVE PTX ゲートウェイをリセットし、Connect Plus で使用できるようにするためのものです。同じゲートウェイを 2 つの無線システムで使用することはできません。
  - b. [デバイス コード] に WAVE PTX ゲートウェイ ハードウェアのデバイス コードを入力します。これは、WAVE PTX ゲートウェイを設定したときに使用したコードです。
  - c. [デバイス名] に WAVE PTX ゲートウェイの名前を入力します。この名前は管理目的で使用され、WAVE PTX ポータル外部には表示されません。  
 連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字!#? および略語。
  - d. [次へ] をクリックします。[無線機の作成] ページが開きます。
4. [無線機の作成] で、次の手順を実行します。
  - a. 新しい無線システムを定義する場合は、[既存の無線] を [なし] のままにします。以前に無線システムを作成し、その設定を複製する場合は、[既存の無線システム] を選択できます。
  - b. [新しい無線システム タイプ] メニューで、新しい無線システムのタイプとして [Connect Plus] を選択します。
  - c. [名前] に、新しい無線システムの名前を入力します。入力した名前は WAVE PTX ポータルにのみ表示され、管理目的で使用されます。  
 **注:** 連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字!#? および略語。
  - d. [Private Call Inactivity Timeout (ms)] に、XRT 9000/9100 の関連する個別通信の非アクティブ タイムアウトに一致する値を入力します (製造中止製品)。

- e. **[Max PTT 所要時間 (ミリ秒)]** に、XRT 9000/9100 の関連する PTT 持続時間に一致する値を入力します。
  - f. **[匿名ユニット ID]** に、無線システムの匿名ユニット ID を入力します。
  - g. **[次へ]** をクリックします。**[無線への接続ゲートウェイ]** ページが開きます。
5. **[無線への接続ゲートウェイ]** で、次の手順を実行します。



注: 必要なシステム パラメータについては、**必要な無線機情報 ページ 130** を参照してください。

- a. **[IP アドレス]** に、XRT 9000/9100 ゲートウェイの IP アドレスを入力します。
- b. **[IP ポート]** に XRT のポート番号を入力します。デフォルトのポートは 10001 です。このポートは、XRT 9000/9100 ゲートウェイ コンソールの **[設定] > [サイト構成]** の下に、**[クライアント TCP ポート]** として示されています。
- c. **[ユーザー名]** に、XRT 9000/9100 への WRG を識別するために XRT で作成したユーザー名を入力します。
- d. **[パスワード]** に、XRT 9000/9100 への WRG を識別するために XRT で作成したユーザー名のパスワードを入力します。
- e. 使用可能な NAI 音声機能があるかどうかを確認するには、リピータ用の CPS ツールの **[デバイス機能]** に移動し、**[Status of Network Application Interface (NAI) Voice]** をチェックし、ステータスが **[購入済み]** であることを確認します。



注: NAI 音声は、リピータがバージョン R02.07.00.04 以降にアップグレードされていない場合にのみ必要です。NAI 音声を使用していない場合、またはリピータがアップグレードされている場合は、値をデフォルトのままにします。ポート 3000、IP アドレス 127.0.0.1。

6. **[次へ]** をクリックします。


**結果:** **[完了]** ページが開き、無線システムを管理する準備ができます。**[ホーム ダッシュボードに移動]** ボタンをクリックします。

## 10.4

# Capacity Plus 無線システムの登録

手順:

1. **[顧客]** ページで、**[無線システム]** をクリックします。**[無線システム]** ページが開きます。最初はページが空白になっています。
2. 白い四角形の中の **[大きいプラス]** 記号をクリックして、無線システムを追加します。WAVE PTX ゲートウェイ ウィザードが開きます。
3. **[ゲートウェイの作成]** で、次の手順を実行します。
  - a. 既存の WAVE PTX ゲートウェイがすでにネットワークにインストールされている場合は、**[既存のゲートウェイ]** リストでそのゲートウェイを選択します。まだない場合は、手順 3 で追加します。この手順は、既存の WAVE PTX ゲートウェイをリセットし、Capacity Plus で使用できるようにするためのものです。同じゲートウェイを 2 つの無線システムで使用することはできません。
  - b. **[デバイス コード]** に WAVE PTX ゲートウェイ ハードウェアのデバイス コードを入力します。これは、WAVE PTX ゲートウェイを設定したときに使用したコードです。
  - c. **[デバイス名]** に WAVE PTX ゲートウェイの名前を入力します。この名前は管理目的で使用され、WAVE PTX ポータル外部には表示されません。  
連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字 ! # ? および略語。
  - d. **[次へ]** をクリックします。**[無線機の作成]** ページが開きます。

4. **[無線機の作成]** で、次の手順を実行します。
  - a. 新しい無線システムを定義する場合は、**[既存の無線]** を **[なし]** のままにします。以前に無線システムを作成し、その設定を複製する場合は、**[既存の無線システム]** を選択できます。
  - b. **[新しい無線システム タイプ]** メニューで、新しい無線システムのタイプを選択します。この手順では、**[Capacity シングルサイト]** または **[Capacity マルチサイト]** のいずれかを選択していることを前提としています。
  - c. **[名前]** に、新しい無線システムの名前を入力します。入力した名前は WAVE PTX ポータルにのみ表示され、管理目的で使用されます。  
 **注:** 連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字! # ? および略語。
  - d. **[次へ]** をクリックします。
5. **[Capacity Plus シングルサイト]** または **[Capacity Plus マルチサイト]** を選択した場合は、**[無線システムの設定]** で次の手順を実行します。
  - a. **[グループ ID 範囲開始]** で、Capacity Plus 無線システムに登録するグループ ID の開始範囲を入力します。範囲内の指定されたすべての ID は、無線システムへの登録を試みます。WAVE PTX では、この範囲外のグループを作成できません。
  - b. **[グループ ID 範囲終了]** で、Capacity Plus 無線システムに登録するグループ ID の終了範囲を入力します。
  - c. **[個別通信のハングタイム (ミリ秒)]** に、個別通信の終了に必要な無通信の時間をミリ秒単位で入力します。この値は、Capacity Plus システムで指定された個別通信ハング タイマーの値と一致している必要があります。無線機とブロードバンド クライアントの間の個別通信転送ごとに、このタイマーがリセットされます。タイマーの期限が切れると、個別通信セッションが終了します。
  - d. **[グループ通信のハングタイム (ミリ秒)]** に、グループ通信の終了に必要な無通信の時間をミリ秒単位で入力します。この値は、Capacity Plus システムで指定されたグループ通信ハング タイマーの値と一致している必要があります。無線機とブロードバンド クライアントの間のグループ通信転送ごとに、このタイマーがリセットされます。タイマーの期限が切れると、グループ通信セッションが終了します。
  - e. **[Emergency Call HangTime (ms)]** に、緊急通信の終了に必要な無音で無通信の時間をミリ秒単位で入力します。(注: WAVE PTX は現在、緊急通信をサポートしていませんが、無線システムにはこの値が必要です)。
  - f. **[Private Call Inactivity Timeout (ms)]** に、個別通信の終了に必要な無音で無通信の時間をミリ秒単位で入力します。
  - g. **[Max PTT 所要時間 (ミリ秒)]** に、WAVE PTX クライアントのみのグループ通信を終了する最大送信時間を入力します。このタイマー設定値を超過すると、WAVE PTX クライアントは送信を停止し、ユーザーはエラー トーンを受信します。
  - h. **[プライバシー タイプ]** に、無線システムに表示されるプライバシー タイプを入力します。プライバシー キーの詳細については、[プライバシー キーの作成と割り当て ページ 143](#) を参照してください。
  - i. **[WAVE PTX サブスクライバ無線 ID 範囲の開始]** に、ブロードバンド WAVE PTX ユーザーの開始範囲を入力します。
  - j. **[WAVE PTX サブスクライバ無線 ID 範囲の終了]** に、ブロードバンド WAVE PTX ユーザーの終了範囲を入力します。
  - k. **[匿名ユニット ID]** に、特定のユニット ID を受信しない匿名ブロードバンド WAVE PTX ユーザーを表す ID (上記で指定した範囲から) を入力します。
  - l. **[次へ]** をクリックします。**[無線への接続ゲートウェイ]** ページが開きます。

6. **[無線への接続ゲートウェイ]** で、次の手順を実行します。



注: 必要なシステム パラメータについては、[必要な無線機情報 ページ 130](#) を参照してください。

- a. **[Primary Repeater IP]** に、無線システムの Primary Repeater IP アドレスを入力します。
- b. **[Primary Repeater UDP Port]** に、無線システムのプライマリ リピータ ユーザー データグラム プロトコル (UDP) ポートを入力します。
- c. **[MNIS 無線機 ID]** に、無線システムへの WAVE PTX ゲートウェイを識別するための MNIS 無線機 ID を入力します。

**MNIS 無線 ID** は、無線システムでは発生しない、一意の ID です。無線システムへの WAVE PTX ゲートウェイを Link Establishment (LE) ピアとして識別するために使用されます。無線機とリピータはすべて、それぞれ固有の ID を持ちます。WAVE PTX ゲートウェイには、無線システムの ID と重複する ID を設定できません。

- d. **[MNIS Link Establishment UDP Port]** フィールドで、LE (Link Establishment) ドメインへのゲートウェイとして機能する UDP ポートを入力します。

WAVE PTX ゲートウェイはこのポートを使用して、無線システムからの音声およびキープ アライブメッセージを送受信します。

- e. **[Link Establishment Authentication Key]** に、Link Establishment 認証キーを入力します。
- f. **[CAI Network and CAI Group Network]** に、無線システムからの CAI Network and CAI Group Network 値を入力します。
- g. **[DDMS サーバー IP アドレス]** に、無線システムのプレゼンス通知の IP アドレスを指定します。これは、無線システムで NAI データが有効になっている場合にのみ必要です。無線システムで NAI データを使用しない場合は、IP アドレスに 127.0.0.1 を入力します。
- h. **[DDMS Watcher Port]** に、Capacity Plus プレゼンス通知の受信ネットワーク ポートを入力します。これは、Capacity Plus 無線システムで NAI データが有効になっている場合にのみ必要です。Capacity Plus 無線システムで NAI データを使用しない場合は、このフィールドを空白にします。
- i. 使用可能な NAI 音声機能があるかどうかを確認するには、リピータ用の CPS ツールの **[デバイス機能]** に移動し、**[Status of Network Application Interface (NAI) Voice]** をチェックし、ステータスが **[購入済み]** であることを確認します。



注: NAI 音声は、リピータがバージョン R02.07.00.04 以降にアップグレードされていない場合にのみ必要です。NAI 音声を使用していない場合、またはリピータがアップグレードされている場合は、値をデフォルトのままにします。ポート 3000、IP アドレス 127.0.0.1。

- j. **[次へ]** をクリックします。




**結果:** **[完了]** ページが開き、無線システムを管理する準備ができます。**[ホーム ダッシュボードに移動]** ボタンをクリックします。

## 10.5

# Capacity Max 無線システムの登録

### 手順:

1. **[顧客]** ページで、**[無線システム]** をクリックします。**[無線システム]** ページが開きます。最初はページが空白になっています。
2. 白い四角形の中の **[大きいプラス]** 記号をクリックして、無線システムを追加します。WAVE PTX ゲートウェイ ウィザードが開きます。ウィザードでは、WAVE PTX ゲートウェイに Capacity Max 無線システムを追加する手順を説明します。
3. **[ゲートウェイの作成]** で、次の手順を実行します。

- a. 既存の WAVE PTX ゲートウェイがすでにネットワークにインストールされている場合は、**[既存のゲートウェイ]** リストでそのゲートウェイを選択します。
  - b. **[デバイスコード]** に WAVE PTX ゲートウェイ ハードウェアのデバイスコードを入力します。これは、WAVE ゲートウェイを設定したときに使用したコードです。
  - c. **[デバイス名]** に WAVE PTX ゲートウェイの名前を入力します。この名前は管理目的で使用され、WAVE PTX ポータル外部には表示されません。  
連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字!#? および略語。
  - d. **[次へ]** をクリックします。**[無線機の作成]** ページが開きます。
4. **[無線機の作成]** で、次の手順を実行します。
- a. 新しい無線システムを定義する場合は、**[既存の無線]** を **[なし]** のままにします。以前に無線システムを作成し、設定を複製する場合は、**[既存の無線]** システムを選択できます。
  - b. **[新しい無線システムタイプ]** メニューで、新しい無線システムのタイプとして **[Capacity Max]** を選択します。
  - c. **[名前]** に、新しい無線システムの名前を入力します。入力した名前は WAVE PTX ポータルにのみ表示され、管理目的で使用されます。  
 **注:** 連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字!#? および略語。
  - d. **[次へ]** をクリックします。
5. **[無線システムの設定]** で、次の手順を実行します。
- a. WRG に対し、LMR-Broadband 緊急相互運用シナリオで緊急事態キャンセルをトリガーするには、**[緊急アラート キャンセル時間 (ミリ秒)]** パラメータを設定する必要があります。緊急アラームは、**[緊急アラート キャンセル時間]** が切れると、自動的に停止します。  
 **注:** [緊急アラート キャンセル時間] 機能は、CapMax 以外のシステムにのみ適用されます。
  - b. **[Private Call Inactivity Timeout (ms)]** に、個別通信の終了に必要な無通信の時間をミリ秒単位で入力します。この値は、無線システムで指定された個別通信ハング タイマーの値と一致している必要があります。無線機とブロードバンド クライアントの間の個別通信転送ごとに、このタイマーがリセットされます。タイマーの期限が切れると、個別通信セッションが終了します。
  - c. **[システム ID]** フィールドに、Capacity Max インタフェースからネットワーク ID を入力します。
  - d. **[Max PTT 所要時間 (ミリ秒)]** に、WAVE PTX クライアントのみのグループ通信を終了する最大送信時間をミリ秒単位で入力します。このタイマー設定値を超過すると、WAVE PTX クライアントは送信を停止し、ユーザーはエラー トーンを受信できなくなります。
  - e. **[プライバシー タイプ]** に、無線システムに表示されるプライバシー タイプを入力します。プライバシー キーの詳細については、[プライバシー キーの作成と割り当て ページ 143](#) を参照してください。
6. **[無線システムの WAVE ユーザー]** セクションで、**[匿名ユニット ID]** を入力します。Capacity Max 無線システム インタフェースで、匿名ユニットの「デバイス」を作成する必要があります。Capacity Max インタフェースから、WAVE PTX ポータルの **[匿名ユニット ID]** フィールドにデバイス ID を入力します。
7. **[次へ]** ボタンをクリックします。**[ゲートウェイに接続]** ページが開きます。次の手順を実行します。  
 **注:** 必要なシステム パラメータについては、[必要な無線機情報 ページ 130](#) を参照してください。
- a. **[MNIS Voice Manager IP Address]** に、MNIS 音声マネージャの IP アドレスを入力します。Capacity Max では、これは VRC ゲートウェイ IP です。

- b. **[MNIS 音声マネージャの IP ポート]** に、MNIS 音声マネージャのポート番号を入力します。Capacity Max では、これはサーバーの TCP ポートです。
- c. 使用可能な NAI 音声機能があるかどうかを確認するには、リピータ用の CPS ツールの **[デバイス機能]** に移動し、**[Status of Network Application Interface (NAI) Voice]** をチェックし、ステータスが **[購入済み]** であることを確認します。



**注:** NAI 音声は、リピータがバージョン R02.07.00.04 以降にアップグレードされていない場合にのみ必要です。NAI 音声を使用していない場合、またはリピータがアップグレードされている場合は、値をデフォルトのままにします。ポート 3000、IP アドレス 127.0.0.1。

8. **[次へ]** をクリックします。**[完了]** ページが開き、無線システムを管理する準備ができます。**[ホームダッシュボードに移動]** ボタンをクリックします。

## 10.6

# IPSite 無線システムの登録


### 手順:

1. **[顧客]** ページで、**[無線システム]** をクリックします。**[無線システム]** ページが開きます。最初はページが空白になっています。
2. 白い四角形の中の **[大きいプラス]** 記号をクリックして、無線システムを追加します。WAVE PTX ゲートウェイウィザードが開きます。
3. **[ゲートウェイの作成]** で、次の手順を実行します。
  - a. 既存の WAVE PTX ゲートウェイがすでにネットワークにインストールされている場合は、**[既存のゲートウェイ]** リストでそのゲートウェイを選択します。まだない場合は、手順 3 で追加します。この手順は、既存の WAVE PTX ゲートウェイをリセットし、IPSite で使用できるようにするためのものです。同じゲートウェイを 2 つの無線システムで使用することはできません。
  - b. **[デバイスコード]** に WAVE PTX ゲートウェイハードウェアのデバイスコードを入力します。これは、WAVE PTX ゲートウェイを設定したときに使用したコードです。
  - c. **[デバイス名]** に WAVE PTX ゲートウェイの名前を入力します。この名前は管理目的で使用され、WAVE PTX ポータル外部には表示されません。
  - d. **[次へ]** をクリックします。**[無線機の作成]** ページが開きます。
4. **[無線機の作成]** で、次の手順を実行します。
  - a. 新しい無線システムを定義する場合は、**[既存の無線]** を **[なし]** のままにします。以前に無線システムを作成し、その設定を複製する場合は、**[既存の無線システム]** を選択できます。
  - b. **[新しい無線システムタイプ]** ドロップダウンリストから、**[IPSite]** を選択します。
  - c. **[名前]** に、新しい無線システムの名前を入力します。入力した名前は WAVE PTX ポータルにのみ表示され、管理目的で使用されます。
 

**注:** 連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字!#?および略語。
  - d. **[次へ]** をクリックします。
5. **[無線システムの設定]** で、次の手順を実行します。
  - a. **[TalkGroup ID Range Start]** で、無線システムに登録するグループ ID の開始範囲を入力します。範囲内の指定されたすべての ID は、無線システムへの登録を試みます。WAVE PTX では、この範囲外のグループを作成できません。
  - b. **[TalkGroup ID Range End]** で、無線システムに登録するグループ ID の終了範囲を入力します。
  - c. **[個別通信のハングタイム (ミリ秒)]** に、個別通信の終了に必要な無通信の時間をミリ秒単位で入力します。この値は、システムで指定された個別通信ハングタイマーの値と一致している必要があります。



ります。無線機とブロードバンド クライアントの間の個別通信転送ごとに、このタイマーがリセットされます。タイマーの期限が切れると、個別通信セッションが終了します。

- d. **[グループ通信のハングタイム (ミリ秒)]** に、グループ通信の終了に必要な無通信の時間をミリ秒単位で入力します。この値は、システムで指定されたグループ通信ハング タイマーの値と一致している必要があります。無線機とブロードバンド クライアントの間のグループ通信転送ごとに、このタイマーがリセットされます。タイマーの期限が切れると、グループ通信セッションが終了します。
  - e. **[Emergency Call HangTime (ms)]** に、緊急通信の終了に必要な無音で無通信の時間をミリ秒単位で入力します。無線機で発信された緊急アラートは、このタイマーの期限が切れると、ブロードバンド側で解除されます。
  - f. **[Private Call Inactivity Timeout (ms)]** に、個別通信の終了に必要な無音で無通信の時間をミリ秒単位で入力します。
  - g. **[Max PTT 所要時間 (ミリ秒)]** に、WAVE PTX クライアントのみのグループ通信を終了する最大送信時間を入力します。タイマーの期限が切れると、WAVE PTX クライアントは送信を停止し、ユーザーはエラー トーンを受信します。
  - h. **[プライバシー タイプ]** に、無線システムに表示されるプライバシー タイプを入力します。プライバシー キーの詳細については、[プライバシー キーの作成と割り当て ページ 143](#) を参照してください。
  - i. **[WAVE PTX サブスクリバ無線 ID 範囲の開始]** に、ブロードバンド WAVE PTX ユーザーの開始範囲を入力します。
  - j. **[WAVE PTX サブスクリバ無線 ID 範囲の終了]** に、ブロードバンド WAVE PTX ユーザーの終了範囲を入力します。
  - k. **[匿名ユニット ID]** に、特定のユニット ID を受信しない匿名ブロードバンド WAVE PTX ユーザーを表す ID (上記で指定した範囲から) を入力します。
  - l. **[スロット ID]** ドロップダウンから、ブロードバンド WAVE PTX ユーザーの終了範囲を選択します。
  - m. **[次へ]** をクリックします。**[無線への接続ゲートウェイ]** ページが開きます。
6. **[無線への接続ゲートウェイ]** で、次の手順を実行します。
- a. **[Primary Repeater IP]** に、無線システムの Primary Repeater IP アドレスを入力します。
  - b. **[Primary Repeater UDP Port]** に、無線システムの Primary Repeater UDP Port を入力します。
  - c. **[MNIS 無線機 ID]** に、無線システムへの WAVE PTX ゲートウェイを識別するための MNIS 無線機 ID を入力します。無線システム、またはその他の接続された CAI デバイスでは発生しない、一意の ID であることを確認してください。
  - d. **[MNIS Link Establishment UDP Port]** フィールドで、LE (Link Establishment) ドメインへのゲートウェイとして機能する UDP ポートを入力します。WAVE PTX ゲートウェイはこのポートを使用して、無線システムからの音声およびキープ アライブ メッセージを送受信します。
  - e. **[Link Establishment Authentication Key]** に、Link Establishment 認証キーを入力します。
  - f. **[CAI ネットワーク]** に、無線システムからの CAI ネットワーク値を入力します。
  - g. **[DDMS サーバー IP アドレス]** に、無線システムのプレゼンス通知の IP アドレスを指定します。これは、無線システムで NAI データが有効になっている場合にのみ必要です。無線システムで NAI データを使用しない場合は、IP アドレスに 127.0.0.1 を入力します。  
 **注:** 個別通信サポート用にシステムを構成する場合、このフィールドは必須です。グループ通信サポートの場合、オプションです。
  - h. 使用可能な NAI 音声機能があるかどうかを確認するには、リピータ用の CPS ツールの **[デバイス機能]** に移動し、**[Status of Network Application Interface (NAI) Voice]** をチェックし、ステータスが **[購入済み]** であることを確認します。

NAI データ ライセンスが使用可能な場合は、マスタ リピータと WAVE PTX ゲートウェイへの接続が必要である VM にデータ MNIS および DDMS アプリケーションをインストールできます。

- i. オプション: 個別通信用にシステムを構成する場合は、データ MNIS ツールおよび Radio CPS ツールで構成を確認します。個別通信サポート用の IP Site システムの構成 ページ 138 を参照してください。
- j. **[DDMS Watcher Port]** に、Presence Notifier の受信ネットワーク ポートを入力します。  
これは、無線システムで NAI データが有効になっている場合にのみ必要です。無線システムで NAI データを使用しない場合は、このフィールドを空白にします。
- k. **[次へ]** をクリックします。

**結果:** [完了] ページが開き、無線システムを管理する準備ができます。**[ホーム ダッシュボードに移動]** ボタンをクリックします。

### 10.6.1

## 個別通信サポート用の IP Site システムの構成

無線機から WAVE PTX ユーザーへの個別通信、およびその逆をサポートするには、Data MNIS および DDMS アプリケーションをインストールする追加の VM が必要です。

**前提条件:** NAI 音声機能が使用可能かどうかを確認してください。リピータ用の CPS ツールの **[デバイス機能]** に移動し、**[Status of Network Application Interface (NAI) Voice]** をチェックし、ステータスが **[購入済み]** であることを確認します。

#### 手順:

1. マスタ リピータおよび WAVE PTX ゲートウェイへの接続がある VM に、Data MNIS および DDMS アプリケーションをインストールします。  
これらのツールは、<https://myview.motorolasolutions.com/> で入手できます。アクセスできない場合は、Motorola Solutions サポートにお問い合わせください。
2. **[DDMS サーバー IP アドレス]** に、無線システムのプレゼンス通知の IP アドレスを指定します。
3. **[DDMS Watcher Port]** に、Presence Notifier の受信ネットワーク ポートを入力します。
4. 無線機の ARS ID が Data MNIS アプリケーション ID として設定されていることを確認します。次の操作を実行します。
  - a. MNIS データ ゲートウェイ構成ユーティリティを開きます。
  - b. **[フォルダを開く]** アイコンをクリックし、構成ファイルを選択します。
  - c. ナビゲーション ペインから **[全般]** をクリックし、MNIS アプリケーション ID 値を確認します。
  - d. CPS ツールでアプリケーション ID 値を設定するには、構成ファイルを開きます。
  - e. **[全般]** → **[ネットワーク]** → **[サービス]** に移動し、ARS 無線機 ID の値を確認します。

## 10.7

# 無線システムとグループの関連付け

グループはデフォルトでブロードバンドのみです。現在のグループを既存の無線システムに関連付けることも、新しいグループを作成することもできます。無線システムに関連付けられたグループのすべての送信は、無線システムのブロードバンド ユーザーと、関連付けられたグループの無線機ユーザー間で共有されます。



**注:** 次の手順では、グループに関連付ける無線システムがすでに作成されていることを前提としています。無線システムを作成していない場合は、[無線システムの追加 ページ 128](#) を参照してください。

### 手順:

1. **[グループ]** ページを開きます。
2. 無線システムに関連付けるグループにマウスを合わせて、**[編集]** アイコンをクリックします。グループ編集ページが開きます。
3. **[無線システム]** リストで、このグループに関連付ける無線システムを選択します。ページが展開され、追加のフィールドが表示されます。次の情報を入力します。
  - a. **[グループ ID]** に、無線システムに表示されているとおりにグループ ID を入力します。グループ ID は、ブロードバンド クライアントとの通信のため、Motorola 無線システム内のどのグループをこのグループと統合するかを制御します。
  - b. **[サイト]** でグループのサイトを選択します。または、グループがサイト間で送信する必要がある場合には、**[ワイド]** のままにします。
  - c. **IPSite 無線システムの場合のみ: [スロット ID]** ドロップダウンから、目的の値を選択します。
  - d. **[プライバシータイプ]** に **[拡張]** を使用している場合は、**[プライバシー キー]** で無線システムのプライバシー キーを選択します。サイトが暗号化されていない場合、設定は **[クリア]** のままにします。**[無線システム]** で **[プライバシー タイプ]** が **[ベーシック]** の場合は、プライバシー キー インデックス値を入力する必要があります。詳細については、[プライバシー キーの作成と割り当て ページ 143](#) を参照してください。
4. **[保存]** ボタンをクリックします。

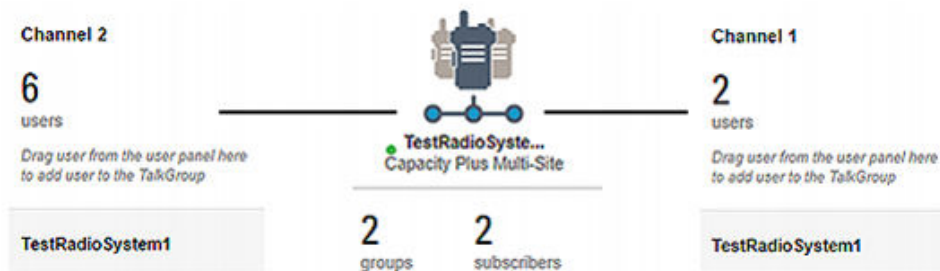
## 10.8

# 無線サブスクライバの追加

サブスクライバは、無線ユニット ID を WAVE PTX 無線システムに関連付けるために存在します。この関連付けにより、ブロードバンドと無線機間の個別通信が可能になり、無線ユニットの送信時にブロードバンド クライアントにユーザー エイリアス (表示名) を表示できます。

無線システムのサブスクライバは、ライセンスにカウントされません。無線システムを統合するために必要な数だけを作成できます。無線システムは、グループ画面でグループに関連付けられます。1 つのグループに一度に関連付けることができる無線システムは 1 つだけです。次の図では、TestRadioSystem1 がグループ「Channel 1」および「Channel 2」に関連付けられています。TestRadioSystem1 のサブスクライバが送信すると、両方のグループのブロードバンド ユーザーに音声が届きます。同様に、無線サブスクライバは、各グループで設定されたグループ ID に応じて、グループからの送信を受信します。

図 79: 無線送信テスト



たとえば、グループ「Channel 2」はグループ ID 22 に設定されます。WAVE PTX ゲートウェイでグループ 22 に設定された WAVE PTX に接続された無線機は、Channel 2 ブロードバンド ユーザーからの音声を受信できるはずですが、

図 80: グループ ID をグループにリンクする

TalkGroup Name	<input type="text" value="Channel 2"/>	<input checked="" type="checkbox"/> Active
Radio System	<input type="text" value="TestRadioSystem1"/>	
TalkGroup ID	<input type="text" value="22"/>	

手順:

1. メインメニューで [無線システム] をクリックします。[無線システム] ページが開きます。
2. [無線システム] で [編集] ボタンをクリックします。[無線システム] ページが開きます。


図 81: 無線システムを編集します



3. [無線サブスクリバ] セクションで [サブスクリバリスト] リンクをクリックします。[サブスクリバ] ページが開きます。
4. [サブスクリバを追加] をクリックします。
5. 無線サブスクリバを追加するには、次の情報を入力します。

図 82: 無線サブスクリバの追加

WAVE User*	<input type="text" value="None"/>
Radio Subscriber Name*	<input type="text"/>
Unit ID*	<input type="text"/>
Privacy Key*	<input type="text" value="Clear"/>

- a. 無線ユニットを追加する場合は、**[WAVE PTX ユーザー]** を **[なし]** のままにします。
  - b. **[無線サブスクライバ名]** に、無線サブスクライバの名前を入力します。PTT、テキスト受信、および個別通信中に WAVE PTX ユーザーに表示される名前になります。  
 **注:** 連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字! # ? および略語。
  - c. **[ユニット ID]** に、接続中の無線システムに表示されているとおりに、無線の ID を入力します。
  - d. **IPSite 無線システムの場合のみ: [スロット ID]** ドロップダウンから、目的の値を選択します。
  - e. **[プライバシー キー]** で、この無線システムで使用するプライバシー キーを選択します (設定されている場合)。
6. WAVE PTX サブスクライバを追加するには、最初に WAVE PTX ユーザー リストから、加入者として追加するユーザーの名前を選択します。
  7. 次のフィールドを変更します。
    - a. **[ユニット ID]** に、この WAVE PTX ユーザーが識別のため無線システムに送信する ID を入力します。入力する ID は、無線システムで設定された WAVE PTX サブスクライバ無線 ID の開始/終了範囲に含まれている必要があります。範囲外のユニット ID を使用した場合、または入力したユニット ID がすでに使用中の場合は、WAVE PTX ポータルからエラーが通知されます。
    - b. この WAVE PTX ユーザーが無線機サブスクライバを使用して個別通信を開始または受信できるようにするには、**[個別通信を許可]** を選択します。
  8. **[保存]** ボタンをクリックします。

#### 10.8.1

## ワイドおよびローカル グループ サポートの構成

### 手順:

1. CPS ツールで、リピータ構成ファイルを開きます。  
これらのツールは、<https://myview.motorolasolutions.com/> で入手できます。アクセスできない場合は、Motorola Solutions サポートにお問い合わせください。
2. 左側のナビゲーション パネルから、**[ゾーン/チャンネルの割り当て]** をクリックします。
3. **[全般]** で、**[IIP Site Connect (Repeater)]** を選択し、ドロップダウン リストから目的のスロットを選択します。
4. リピータ用に割り当てられている特定のグループの無線機構成でこれを実現するために、**[Repeater]** タイム スロットを適切に定義して、ワイド エリア グループ通信とローカル エリア グループ通信を区別できます。次の操作を実行します。
  - a. CPS ツールで、無線機構成ファイルを開きます。
  - b. 左側のナビゲーション パネルから、**[ゾーン/チャンネルの割り当て]** をクリックします。
  - c. IPSite 用に構成されているゾーンを選択します。
  - d. **[ゾーン項目]** で、**[位置]** を選択します。
  - e. **[編集]** アイコンをクリックします。
  - f. **[全般]** で、**[リピータ/タイム スロット]** を選択し、値を変更します。  
ローカル グループ通信の場合は、**[サイト ID]** を **[Repeater Radio ID]** 値にする必要があります。

## 10.9

# 割り当てられたゲートウェイのアップデート

無線システムにゲートウェイが割り当てられている場合は、利用可能な最新のアップグレードにアップデートできます。

### 手順:

1. 左側のナビゲーションペインで、**[無線システム]** をクリックします。  
**[無線システム]** ウィンドウが表示されます。右側のペインに、割り当てられたすべてのゲートウェイが表示されます。
2. アップデートするゲートウェイ名の横にある **[デバイスをアップデート]** をクリックします。
3. アップデートを確定するために、**[OK]** をクリックします。  
次のメッセージが表示されます。  
デバイスの構成アップデート リクエストが送信されました。オンラインに接続されるとすぐにアップデートされます。  
ゲートウェイ デバイスが、利用可能な最新のアップグレード バージョンにアップデートされます。

**後行条件:** アップデートを確認するには、左側のナビゲーションパネルから **[ゲートウェイ]** タブに移動し、ゲートウェイ デバイスを検索し、**[編集]** をクリックします。**[デバイス構成]** ウィンドウが表示されます。**[Device Agent のバージョン]** には、ゲートウェイのデバイス バージョンが表示されます。

## 10.10

# 無線送信機能のテスト

### 手順:

1. ブロードバンド ユーザーがブロードバンド クライアントを使用して WAVE PTX にサインインしていることを確認します。送信機能が正しく動作することを確認します。
2. 同じグループで 2 台の無線機を使用すると、無線機を介して送信されます。送信機能からの音声は、他の無線機とブロードバンド クライアントを経由するものである必要があります。
3. クライアントの音声が無線機に送信されていることを確認するために、ブロードバンド クライアント経由で送信します。

## 第 11 章

# プライバシー キーの作成と割り当て

プライバシー キーは、プライバシー キー暗号化をサポートする無線システムで使用されます。WAVE PTX は、プライバシー キーをグループに関連付けます。

作成するプライバシー キーの値は、無線システムの値と一致する必要があります。プライバシー キーは、プライバシー キー タイプが [拡張] の場合にのみ必要です。プライバシー キー タイプが [ベーシック] の場合は、無線システムに関連付けられたグループのプライバシー キー インデックスを入力する必要があります。プライバシー キーを作成する必要はありません。次の図は、ベーシック プライバシーを使用するグループの一般的なプライバシー キー インデックス エントリを示しています。

図 83: ベーシック プライバシー キー インデックス



### 11.1

## 拡張プライバシーのためのプライバシー キーの追加

**使用条件:** 拡張プライバシーのプライバシー キーを追加するには、次の手順を実行します。

**手順:**

1. 無線システムを編集します。[プライバシー タイプ] リストがページの下部に表示されます。
2. [プライバシー キーの管理] をクリックします。この無線システムの [プライバシー キー] のリストが表示されます。
3. [キーの追加] をクリックして、次の情報を入力します。
  - a. [キー名] に、プライバシー キーの名前を入力します。これは管理用であり、WAVE PTX の外部には表示されません。
  - b. [キー値] に、無線システムで割り当てられたプライバシー キーの値を入力します。最大 10 桁です。
  - c. [キー ID] に、無線システムに割り当てられているプライバシー キーの ID を入力します。最大値は 255 です。この無線システムに固有のものである必要があります。
4. 完了したら、**緑色のチェックボックス** をクリックします。新しいプライバシー キーがページに表示されます。

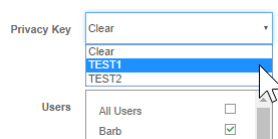
### 11.2

## グループへのプライバシー キーの割り当て

**手順:**

1. [グループ] をクリックします。[グループ] ページが開きます。
2. 無線システムがすでに割り当てられているグループにマウスを重ねます。(ブロードバンドのみのグループにはプライバシー キーがなく、デフォルトで暗号化されています)。**[編集]** アイコンをクリックします。
3. [プライバシー キー] リストで、事前に作成されたリストからプライバシー キーのいずれかを選択します。

図 84: グループへのプライバシー キーの割り当て



4. 完了したら、**緑色のチェックボックス**をクリックします。



## 第 12 章

# ユニバーサル ゲートウェイ (UGW) ポータルへの同期

オペレータは、WOC カスタマー リソースを UGW に手動で同期できます。WOC の顧客が無線システムを設定し、新しいユーザーとグループのリソースを追加している場合、UGW 同期機能は、UGW ポータルへのマッピング操作を提供します。UGW は、無線システムのユーザーとグループを自動的にオンボードします。

### 手順:

1. ポータルから **[すべての顧客]** メニューを選択します。顧客リストが表示されます。
2. UGW ポータルに同期する顧客の横にあるチェックボックスをオンにします。同期操作では、一度に 1 人の顧客のみを選択できます。
3. **[アクション]** ドロップダウンリストから **[UGW へ同期]** を選択します。 **[リソースの同期]** 開始情報ポップアップが表示されます。
4. **[OK]** をクリックします。同期操作が成功したか、エラーが生じたかについては、 **[通知]** の下に表示されます。
  - a. エラー通知をクリックすると、エラーの詳細が表示されます。
  - b. エラー メッセージの **[ここをクリック]** リンクを選択して、CSV ファイルをダウンロードします。CSV ファイルを開いて、マッピングの問題があるリソースを確認します。

## 第 13 章

# WAVE PTX ゲートウェイ

## 13.1

### LMR 統合のためのネットワークのセットアップ

WAVE PTX ゲートウェイでは、顧客の無線システムと、Amazon Web Services (AWS) クラウドで実行される WAVE PTX サービスの両方への有線ネットワーク アクセスが必要です。サービスが正常に動作するためには、カスタマー ネットワークで次のポートを開きます。これらのポートにより、WAVE PTX ゲートウェイ デバイスは、WAVE PTX サーバーおよびローカル ネットワーク上の無線システムに接続できます。

#### WAVE PTX ゲートウェイと WAVE PTX サービスの接続

WAVE PTX ゲートウェイを WAVE PTX サービスに接続するには、インターネットへのアウトバウンド ポートが必要です。

##### ポート 8883 (TCP):

デバイス管理のために、TCP/UDP ポートを介して AWS IoT サービスに MQTT メッセージを安全に送信するために必要です。

##### すべての顧客に関連付けられた URL:

[a2o5gr8ddd3eaj.iot.us-west-2.amazonaws.com](https://a2o5gr8ddd3eaj.iot.us-west-2.amazonaws.com)  
[2o5gr8ddd3eaj.iot.us-west-2.amazonaws.com](https://2o5gr8ddd3eaj.iot.us-west-2.amazonaws.com)

##### 米国:

[data.iot.us-west-2.amazonaws.com](https://data.iot.us-west-2.amazonaws.com)

##### ポート 443 (TCP):

WAVE PTX ゲートウェイが WAVE PTX サービスに接続するために必要です。

##### 関連 URL:

サブドメイン内の任意のエントリ。

- 米国およびカナダ:
  - [ugw.gw.kodiakgw.com](https://ugw.gw.kodiakgw.com)
  - [wocgw.gw.kodiakgw.com](https://wocgw.gw.kodiakgw.com)
  - [us-west-2-kodiakvoice-prod-001.waveoncloud.com](https://us-west-2-kodiakvoice-prod-001.waveoncloud.com)
- ブラジル:
  - [wrg.br.msiwoc.com](https://wrg.br.msiwoc.com)
  - [ugw.br.msiwoc.com](https://ugw.br.msiwoc.com)
  - [us-west-2-kodiakvoice-prodmx-001.waveoncloud.com](https://us-west-2-kodiakvoice-prodmx-001.waveoncloud.com)
- EMEA:
  - [wrg.eu.msiwoc.com](https://wrg.eu.msiwoc.com)
  - [ugw.eu.msiwoc.com](https://ugw.eu.msiwoc.com)
  - [us-west-2-kodiakvoice-prodemea-001.waveoncloud.com](https://us-west-2-kodiakvoice-prodemea-001.waveoncloud.com)
- 日本:
  - [wrg.jp.msiwoc.com](https://wrg.jp.msiwoc.com)
  - [ugw.jp.msiwoc.com](https://ugw.jp.msiwoc.com)
  - [us-west-2-kodiakvoice-prodjp-001.waveoncloud.com](https://us-west-2-kodiakvoice-prodjp-001.waveoncloud.com)
- 韓国:
  - [wrg.kr.msiwoc.com](https://wrg.kr.msiwoc.com)

[ugw.kr.msiwoc.com](http://ugw.kr.msiwoc.com)

[us-west-2-kodiakvoice-prodkorea-001.waveoncloud.com](http://us-west-2-kodiakvoice-prodkorea-001.waveoncloud.com)

- オーストラリアおよびニュージーランド:  
[wrg-pr-wocausnz.anz.msiwoc.com](http://wrg-pr-wocausnz.anz.msiwoc.com)  
[ugw-pr-wocausnz.anz.msiwoc.com](http://ugw-pr-wocausnz.anz.msiwoc.com)  
[us-west-2-kodiakvoice-prodausnz-001.waveoncloud.com](http://us-west-2-kodiakvoice-prodausnz-001.waveoncloud.com)
- シンガポール:  
[wrg.sg.msiwoc.com](http://wrg.sg.msiwoc.com)  
[ugw.sg.msiwoc.com](http://ugw.sg.msiwoc.com)  
[us-west-2-kodiakvoice-prodsgmy-001.waveoncloud.com](http://us-west-2-kodiakvoice-prodsgmy-001.waveoncloud.com)
- インド:  
[wrg.in.msiwoc.com](http://wrg.in.msiwoc.com)  
[ugw.in.msiwoc.com](http://ugw.in.msiwoc.com)  
[us-west-2-kodiakvoice-prodindia-002.waveoncloud.com](http://us-west-2-kodiakvoice-prodindia-002.waveoncloud.com)

#### すべての顧客:

[s3-us-west-2.amazonaws.com](http://s3-us-west-2.amazonaws.com)

[956b302mzf.execute-api.us-west-2.amazonaws.com](http://956b302mzf.execute-api.us-west-2.amazonaws.com)

## WAVE PTX ゲートウェイから無線システムへの接続

WAVE PTX ゲートウェイから無線システムに接続するには、ネットワーク接続が必要です。

### ポート (プライマリ リピータ ポート) UDP – アウトバウンド)

ポート UDP は、プライマリ リピータのポートです。リンク確立に使用され、WAVE PTX ゲートウェイから無線システムに開いている必要があります。これは、各無線システムが構成可能です。

### ポート (VRC ポート) TCP および UDP – インバウンドおよびアウトバウンド)

これは、認証および音声用の VRC のポートです。WAVE PTX ゲートウェイから無線システムへの通信に開いている必要があります。これは Capacity Max 無線システムで設定できます。

### ポート 50100 UDP – インバウンド (Gateway Link Establishment Port)

このポートは、リピータが WOCG と通信するために使用され、無線システムから WOCG にインバウンドで開いている必要があります。このポートは、ゲートウェイの構成の一部として指定されます。

## Mobile および Web Communicator の接続

Mobile および Web Communicator に接続するために必要なネットワーク接続 (顧客のネットワーク内で使用されている場合)。

### ポート 443 (TCP):

WAVE PTX アプリおよび Web Communicator がどこからでもサーバーに接続できるようにするために必要です。

### ポート 4000 ~ 4999 (TCP、UDP):

WAVE PTX アプリがどこからでも音声サーバーに接続するために必要です。

## 13.2

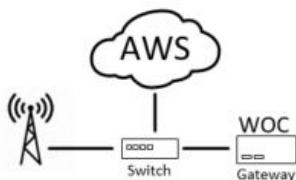
# WAVE PTX ゲートウェイのセットアップ

このセクションでは、サポートされている無線システムを統合するために必要な WAVE PTX ゲートウェイ ハードウェアの初期セットアップと設定について説明します。このセクションは、WAVE PTX ゲートウェイの箱に記載されている手順と同じで、トラブルシューティング用のコピーとして提供されています。



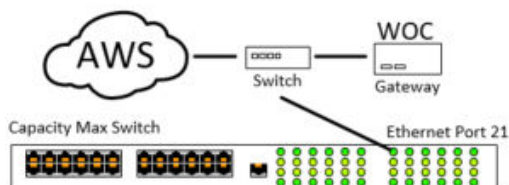
**注:** WAVE PTX ゲートウェイにはインターネット接続が必要です。ゲートウェイと無線システムの間にはスイッチを配置して無線システムを分離できます。


図 85: ゲートウェイと無線システム間のスイッチの配置



Capacity Max システムでは、WAVE PTX ゲートウェイが無線システム ハードウェアに直接接続されていることを確認します。

図 86: WAVE PTX ゲートウェイと Capacity Max 無線システム ハードウェアの接続



 **注:** スイッチがすでにインターネットに接続されている場合、中間スイッチは不要です。


### 13.2.1

## 無線リピータのアップグレード (オプション)

無線システムにアクティブな NAI 音声ライセンスが含まれている場合は、以前のバージョンのリピータ ファームウェアを実行できます。

無線リピータのアップグレード詳細は、次のとおりです。

- リピータ ファームウェアは Motorola オンラインで入手できます。
- ファームウェアのアップグレードは、CPS の [デバイス]→[アップデート] オプションを通じて実行します。

 **注:** 無線システムはディーラー ネットワークを通じて販売されます。システムのアップグレードと保守はディーラーの責任です。アップグレードが必要な場合は、ディーラーにお問い合わせください。NAI 音声ライセンスなしでのリピータのアップグレードが必要です。

### 13.2.2

## WAVE PTX ゲートウェイへの接続

使用条件:

手順:

1. WAVE PTX ゲートウェイ ハードウェアを開梱します。
2. イーサネット (LAN) ケーブルをゲートウェイの背面に差し込み、もう一方の端をアクティブなイーサネット ジャックに差し込みます。この接続は、インターネットでルーティング可能であり、<https://aws.amazon.com/>に到達可能である必要があります。
3. WAVE PTX ゲートウェイの電源を入れます。
4. WAVE ゲートウェイには、初期構成用の Wi-Fi 接続が装備されています。Wi-Fi 機能を使用して PC にログインします。Wi-Fi がオンになっていることを確認します。右下隅にある [ワイヤレス] アイコンをクリックします。  
使用可能な接続のリストが表示されます。
5. 次の Wi-Fi SSID (サービス セット ID) を検索します。

Wi-Fi SSID: WOCG-%SERIAL NO%

6. パスワードとして *MotoGateway* を使用して Wi-Fi SSID に接続します。
7. PC で Web ブラウザを開き、「<http://192.168.137.1/>」と入力します。
8. ユーザー名とパスワードの入力を求められたら、*admin/MotoGateway* を使用します。  
ログイン後にこれを変更するオプションがあります。



注: パスワードを忘れた場合は、サポートにお問い合わせください。

WAVE PTX ゲートウェイのメイン インタフェースが Web ブラウザで開きます。

9. ゲートウェイ デバイス コードとマシン名を記録します。

WAVE PTX ゲートウェイを無線システムに関連付けるには、これらの値が必要です。デバイス コードとマシン名は安全な場所に保管してください。

図 87: デバイス コード

The screenshot displays the WAVE PTX gateway web interface. At the top, the 'Device Code' is shown as 'FAWMFWNA'. Below this, there are two main sections: 'Network Health Status' and 'System Information'.

Description	Status	Last Successful
Internet Accessible	✔	12/14/2023 10:43:40 AM
Local Network Accessible	✔	12/14/2023 10:43:40 AM
Device Agent Connected	✔	12/14/2023 6:44:12 PM
Network Card Configuration	✔	12/14/2023 10:43:40 AM

Software	Hardware
Software Versions	Machine Name
- Helix Firmware Version: 617	WGPRD-WGGCSLTY
- WAVE OnCloud Gateway Service: deviceagent@3.0.0-5	Service Tag: MXL32838PK
	Drive Encrypted: Yes

© 2023 - WAVE OnCloud Gateway Device

10. [ネットワークカードの構成] の横に赤色の十字記号がある場合は、[ネットワークカードの構成] をクリックします。

[IP アドレスの変更] ページが開きます。

図 88: IP アドレスの変更 - ネットワークカードの構成

The screenshot shows the 'Change IP Address' configuration page. It has two radio buttons: 'Static IP Address' and 'DHCP IP Address', with 'DHCP IP Address' selected. Below this is the 'DHCP IP Address Info' section, which displays the following information:

IP Address : 10.100.10.118  
Subnet Mask : 255.255.255.0  
Default Gateway : 10.100.10.5  
Primary Dns : 10.100.10.6  
Secondary Dns : 10.100.30.6

At the bottom of the section are 'Save' and 'Cancel' buttons.

© 2017 - WAVE OnCloud Gateway Device

11. デフォルトでは、WAVE PTX ゲートウェイはローカル ネットワークから DHCP IP アドレスを取得しようとしています。必要に応じて、静的 IP アドレスを設定する場合は、[静的 IP アドレス] をクリックし、次のオプションを設定します。

図 89: IP アドレスの変更 - 静的 IP

The screenshot shows a web interface titled "Change IP Address". At the top, there are two radio buttons: "Static IP Address" (which is selected) and "DHCP IP Address". Below this is a section titled "Static Ip Address Info". It contains several input fields with labels and example values in parentheses: "IP Address" (10.100.10.110), "Subnet Mask" (255.255.255.0), "Default Gateway" (10.100.10.5), "Primary Dns" (10.100.10.6), and "Secondary Dns" (10.100.30.6). At the bottom of the form are "Save" and "Cancel" buttons. A copyright notice "© 2017 - WAVE OnCloud Gateway Device" is visible at the very bottom.

12. [保存] ボタンをクリックします。

### 13.3

## WAVE PTX ゲートウェイの仕様

次のリストは、WAVE PTX ゲートウェイ ハードウェアの最小仕様を示しています。

#### 標準ハードウェア:

HP Prodesk

#### 最小要件

- CPU: インテル i5-9500T (第 12 世代 Intel(R) Core (TM) i5-12500T 2.00GHz)
- RAM: 8 GB DDR4
- HHD: 256GB SSD (120GB)
- OS: Windows 11

### 13.4

## WAVE PTX ゲートウェイの作成

**使用条件:** WAVE PTX ゲートウェイ仕様を作成するには、次の手順を実行します。

#### 手順:

1. 画面の右側にある、新規ゲートウェイ作成用の**プラス** アイコンをクリックします。[ゲートウェイ構成] 画面が開きます。
2. [デバイスコード] に、WAVE PTX ゲートウェイ ハードウェアの設定時に記録したデバイス コードを入力します。
3. [デバイス名] に、ゲートウェイの名前を入力します。



**注:** 連絡先とグループには英数字で、一意の、発音に適した名前を使用します。次は使用しないでください: 特殊文字!#?および略語。

この名前は管理用であり、WAVE PTX の外部には表示されません。

4. **[作成]** をクリックします。

新しく作成されたゲートウェイは、ページの右側にある **[ゲートウェイ]** セクションの下に表示されま  
す。

ゲートウェイのタイプに応じて、プロパティが異なる場合があります。

### 13.5



## ゲートウェイのアップデート

ゲートウェイ デバイスのファームウェア バージョン、デバイス エージェント バージョン、およびログ レベ  
ルをアップデートできます。

#### 手順:

1. 左側のナビゲーションパネルから、**[ゲートウェイ]** をクリックします。
2. アップデートするゲートウェイを検索します。
3. 次のいずれかの操作を実行します。

条件...	対処...
1 つのゲートウェイ デバイス をアップデートする場合は、	次の操作を実行します。 <ol style="list-style-type: none"><li>a. デバイス名をクリックします。 <b>[デバイス情報]</b> ウィンドウが表示されます。</li><li>b. <b>[デバイス構成]</b> セクションで、<b>[デバイスをアップデート]</b> ボタ ンをクリックします。 <b>[デバイスのプロパティをアップデート]</b> ウィンドウが表示され ます。</li><li>c. <b>[ファームウェア バージョン]</b> ドロップダウンから、目的のフ ームウェア バージョンを選択します。</li><li>d. <b>[Device Agent のバージョン]</b> ドロップダウンから、目的のデ バイス バージョンを選択します。</li><li>e. <b>[ログ レベル]</b> ドロップダウンから、次のいずれかを選択しま す。<ul style="list-style-type: none"><li>● アップデートしない</li><li>● 低</li><li>● ふつう</li><li>● 高</li></ul>設定に応じて、<b>[ログ レベル]</b> ドロップダウンが表示されない 場合があります。</li><li>f. <b>[アップデート]</b> をクリックします。</li></ol>

条件...	対処...
2 台以上のデバイスを同時にアップデートする場合は、	<p>次の操作を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>a. アップデートするすべてのゲートウェイ デバイスの名前の横にあるチェックボックスをオンにします。  <b>注:</b> 同時にアップデートできるのは、同じデバイス タイプのみです。</li><li>b. 右上隅で、[アクション]→[構成をアップデート] をクリックします [デバイスのプロパティをアップデート] ウィンドウが表示されます。</li><li>c. [ファームウェア バージョン] ドロップダウンから、目的のファームウェア バージョンを選択します。</li><li>d. [Device Agent のバージョン] ドロップダウンから、目的のデバイス バージョンを選択します。</li><li>e. [アップデート] をクリックします。  <b>注:</b> 異なるデバイス タイプを同時にアップデートしようとした場合、次のエラーメッセージが表示されます。 デバイス エージェントのバージョンはデバイス タイプによって異なります。構成を更新するデバイス タイプは 1 種類のみ選択してください。</li></ol>


**後行条件:** アップデートを確認するには、左側のナビゲーションパネルから [ゲートウェイ] タブに移動し、ゲートウェイ デバイスを検索し、[編集] をクリックします。[デバイス構成] ウィンドウが表示されます。[Device Agent のバージョン] には、ゲートウェイのデバイス バージョンが表示されます。



## 付録 A

# XRT 9000/9100 ゲートウェイへのアクセス

WAVE PTX ゲートウェイのユーザーと XRT (製造中止製品) へのアクセスを構成するには、XRT ゲートウェイにアクセスします。このセクションでは、PC を使用して XRT にアクセスする方法について説明します。次のセクションでは、XRT へのアクセス後に必要な変更と場所について説明します。

 **注:** Microsoft .NET Framework の要件: 1 台の PC に複数バージョンの Microsoft .NET Framework がインストールされていることがよくあります。Connect Plus システム リリース 1.3 (以降) の MOTOTRBO Connect Plus XRT 9000/9100 構成ツール ソフトウェアでは、PC に .NET Framework バージョン 4.0 がインストールされている必要があります。PC にインストールされているバージョンを調べるには、[コントロール パネル] > [プログラムの追加と削除] を確認します。

### 手順:

1. MOTOTRBO Connect Plus XRT 9000/9100 ゲートウェイにアクセスするには、MOTOTRBO Connect Plus XRT 9000/9100 構成ツール (製造中止製品) をインストールします。MOTOTRBO Connect Plus XRT 9000/9100 構成ツール ソフトウェアをダウンロードします。
2. 実行可能ファイルを実行して、Windows PC にソフトウェアをインストールします。すべてのプロンプトに従って、インストールを完了します。
3. [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [Motorola Solutions] を選択し、[MOTOTRBO Connect Plus XRT 9000/9100 構成ツール] をクリックします。
4. リモートで接続する場合は [接続] メニューで [ソケット] をクリックします。XRT に直接シリアルケーブル接続する場合は [シリアル] をクリックします。
5. XRT 9000/9100 ゲートウェイのホスト IP アドレスを入力します。正確なポートがわからない場合は、[ポート] フィールドを空白のままにします。ポート 4445 は標準のデフォルトポートです。
6. シリアル接続を使用している場合は、[ポート名] に [COM 1] を入力し、ボーレートを 57600 に設定します。
7. [パスワード] を入力します。デフォルトのパスワードは admin です。パスワードは、[パスワードの変更] 画面 ([Site Control] → [パスワードの変更]) を使用して変更できます。コンソール接続タイマーが表示されます。

接続タイマーが完了すると、[接続] メニューが [切断] に変わり、XRT 9000/9100 ゲートウェイに接続されます。

### A.1

## Connect Plus (シングルサイトおよびマルチサイト) 無線システムの接続

以下は、Connect Plus 無線システム (製造中止製品) を接続する際の制限と要件です。

- **XRT 9000 (製造中止製品) では、最大 30 の同時通信が可能です。**  
XRT 9000 では、WAVE PTX クライアントを使用して、最大 30 の同時 LMR 通信、グループ通信、または個別通信を実行できます。WAVE ユーザーがグループ経由で送信しようとした場合、または個別通信を開始しようとした場合、WAVE PTX は XRT 9000 上の 30 の接続リソースの 1 つを要求します。送信が停止すると、リソースは解放され、別の個別通信またはグループが要求できます。ブロードバンド間通信では、30 の通信キャパシティのいずれも消費されません。
- **XRT 9100 では、最大 50 の同時通信が可能です。**

XRT 9100 では、WAVE PTX クライアントを使用して、最大 50 の同時 LMR 通信、グループ通信、または個別通信を実行できます。ユーザーがグループ経由で送信しようとした場合、または個別通信を開始しようとした場合、WAVE PTX は XRT 9100 上の 50 の接続リソースの 1 つを要求します。送信が停止すると、リソースは解放され、別の個別通信またはグループが要求できます。ブロードバンド間通信では、50 の通信キャパシティのいずれも消費されません。

- XRT 9000/9100 への IP 接続が必要です。